

令和2年度

青森県すこやか福祉事業団事業報告書

社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団  
(令和3年3月31日現在)

# 目 次

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| 第1  | 事務局              | 1  |
| 第2  | 障害児入所施設八甲学園      | 13 |
| 第3  | 養護老人ホーム安生園       | 27 |
| 第4  | 障害者総合福祉センターなつどまり | 35 |
| 第5  | 青森県長寿社会振興センター    | 55 |
| 第6  | 青森県発達障害者支援センター   | 59 |
| 第7  | ライフサポートあおば       | 62 |
| 第8  | 就労サポートセンターさつき    | 73 |
| 第9  | 特別養護老人ホームすこやか苑   | 78 |
| 第10 | 就労サポートセンターはくちょう  | 85 |

## 第1 事務局（法人本部）

### I 事務局（総務課・キャリア支援課）

#### 1 概況

令和2年度は、前年度末頃から広がった新型コロナウイルス感染症に大きく影響された1年だった。

法人全体として、マスク・消毒液等の衛生物品の購入や、感染症発生を想定した場合のゾーニングに係る施設整備等の負担が増加した。利用者にとっても、外出の自粛や行事の縮小等の影響があり、職員も、自身の体調管理に始まり、研修等自己研鑽の機会の縮小があった。

そのようなコロナ禍においても、事務局主導で、衛生用品購入に係る自治体の補助金の活用、内部研修の少人数での分散開催、対面ではなくオンラインを活用した所属長会議や職員採用試験の実施等、その時々状況に合わせた対応を行った。

このような状況を背景に、「青森県すこやか福祉事業団基本計画」に則り、事業の実施や見直し、人材確保に繋げた取組等を実施した。

#### 2 重点事項の実施状況

##### (1) 事務局総務課

###### ① 安定した経営基盤の強化

令和2年度より、今後3か年における「青森県すこやか福祉事業団基本計画」に則った事業運営が始まった。初年度となる令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業運営への影響が懸念され、マスク等の衛生用品購入や、なつどまり旧館の施設整備等、感染症対策のための経費がかさんだ。一方、県や市の補助金等を申請し、一部この経費に充て、大幅な収支差額が出ることをないように努めた。

令和2年度からの新給与制度や同一労働同一賃金制度開始による、いわゆる「移行ショック」の影響等による人件費の増は約50,000千円（特定処遇改善手当支給開始による増は除く）となった。また、以前より老朽化が心配されていたあおぼの賃借物件については、青森市緑地区の物件を31,000千円で購入、移転することとし、法人本部の前期末支払資金残高を充てた。これらの影響により、法人全体の収支差額は単年度で約2,000千円の赤字になるほどの大幅な減少となった。積立金（就労関係を除く）も施設整備等積立金5,000千円（安生園）のみとなり、30,000千円としていた収支目標や段階的な施設整備等積立金、修繕積立金の実施には及ばなかった。

なお、新給与制度の移行ショックによる人件費の増は想定どおりであり、今後は数年間に渡って人件費の増額傾向は減少し、約5年後を目途に旧給与制度と比較して抑制された人件費になる見込みである。これについては、今後も新給与制度後の人件費の動向を注意深く見守る必要がある。

###### ② 新給与制度の確立

令和2年度より新給与制度が施行となった。「頑張った人が正当に評価される給料表」をコンセプトにした新給料表を適用し、資格手当や業務手当も創設することで、責任度や業務の実態に沿った給与制度を開始した。

同一労働同一賃金制度についても、準職員は日額ではなく月額での支給とし、この月額も勤務年数に沿って上昇する給料表を新たに制定するとともに、扶養手当や住居手当についても正職員と同様の支給とすることで、待遇改善を図った。

新設の特定処遇改善手当については、既存の処遇改善手当と同様、加算収入との兼ね合いを図りながら支給した。支給にあたっては、国の支給基準に則り、直接支援に係る課長職やサービス管理責任者等を中心に手厚く支給し、また特定処遇改善手当対象外になっているサービスの職員についても、法人持ち出しで支給した。

これらの新給与制度については、特に大きな混乱もなく、旧制度から移行または実施することができた。

また、令和2年度中に、職員のライフスタイルに合った勤務体制を構築するために、異動地域を限定した「地域職給与制度」についても、法人内経営会議において検討した。これについては、希望職員を対象に10月に説明会を実施し、質問に回答したうえで理解を求めた。その後、正職員については希望調書を取り、正職員を目指す準職員については内部登用試験において希望をとったうえで選考し、令和3年度から正職員7人を「地域職給与制度」対象者に決定した。今後も多様な働き方に対応できるよう、人事との調整を図りながら、「地域職給与制度」を進める。

### ③ 人事考課制度導入に向けた体制作り

令和元年度に新たな「能力評価基準書」を作成し、人事評価の内容を階級ごとに求められる項目へと精査し、令和2年度はこれに則って昇格対象者の評価を実施した。

令和2年度には法人内経営会議において、今までの「能力評価基準書」を基に、昇格対象者だけでなく全正職員を対象とする新たな「人事考課制度」を検討した。これについては階級により求める職員像を具体化し、評価のみならず、上席者との面談によるフィードバックによって人材育成も兼ね備える制度とし、令和3年度から実施することとした。

今後、考課者及び被考課者の研修も早期に実施し、制度の理解と促進を進める。

## (2) 事務局キャリア支援課

ここ数年、当事業団では人材確保が極めて困難な状況が続いたため、人材の「確保」だけではなく、確保した人材の「育成」と「定着」を重点目標に掲げ、今後の持続可能な組織づくりに向けた取組をした。

### ① 人材確保

学生や求職者に向けて積極的な情報発信をすることを目標に掲げ、ここ数年学校や関係機関が主催する就職説明会へ積極的に参加してきた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の関係機関主催の説明会の機会が大きく減少したことを受け、当事業団独自の説明会を3回実施した。またオンラインによる説明会にも参加するなど、新しい就職活動スタイルにも積極的に取組み、情報発信に努めた。就職説明会の参加実績では、令和元年度の実績値（10回参加、1回当たりの平均訪問者数9.3人）に対して、参加者は減少した（11回参加（うち自主開催3回含む）、1回当たりの平均訪問者数6.1人）が、令和2年度の事業計画に掲げた目標値である「1回当たりの平均訪問者数5人以上」は達成できた。

採用試験については、募集対象に応じて試験実施形態を見直した。その結果、下記のとおり採用者を確保することができ、人材不足の解消につながった。

なお、事業計画で目標に掲げた「令和3年度採用予定者数(内部登用を除く)10人」については、目標を上回る11人(合格者総数14人、うち3人が辞退)を採用し目標を達成することができた。

■一般公募試験の実施状況

(単位:人)

| 種別         | 区分   | 応募者数 | 合格者数                  | 辞退者数 | 備考                   |
|------------|------|------|-----------------------|------|----------------------|
| 一般公募Ⅰ      | 一次募集 | 9    | 9                     | 3    | R2.5/16、5/30 実施      |
|            | 二次募集 | 12   | 2                     | 0    | R2.9/19、10/3 実施      |
|            | 三次募集 | 5    | 1                     | 0    | R3.2/13、2/20 実施      |
| 一般公募Ⅱ      | —    | 2    | 2                     | 0    | R2.9/19、10/3 実施      |
| 一般公募Ⅰ・Ⅱ合計① |      | 28   | 14                    | 3    | 令和3年度採用者は11人         |
| 一般公募Ⅲ      | —    | 4    | 1                     | 0    | 八甲学園事務員(R2.4/7 実施)   |
|            |      | 1    | 0                     | 0    | さつき寮支援員(R2.4/7 実施)   |
|            |      | 1    | 1                     | 0    | さつき寮看護師(R2.4/10 実施)  |
|            |      | 1    | 1                     | 1    | しらかば寮支援員(R2.5/8 実施)  |
|            |      | 1    | 1                     | 0    | しらかば寮支援員(R2.6/5 実施)  |
|            |      | 1    | 1                     | 0    | すこやか苑支援員(R2.6/26 実施) |
|            |      | 1    | 1                     | 0    | さつき寮支援員(R2.7/9 実施)   |
|            |      | 2    | 2                     | 0    | すこやか苑看護師(R2.7/9 実施)  |
| 1          | 0    | 0    | 安生園介護支援専門員(R2.9/3 実施) |      |                      |
| 一般公募Ⅲ合計②   |      | 13   | 8                     | 1    |                      |
| 総計(①+②)    |      | 41   | 22                    | 4    |                      |

【種別の説明】

| 種別    | 内容                                      |
|-------|---|
| 一般公募Ⅰ | 令和3年度採用予定の、大卒・短大卒・専門学校卒・高等学校既卒者対象の採用試験。 |
| 一般公募Ⅱ | 令和3年度採用予定の、高等学校新卒者対象の採用試験。              |
| 一般公募Ⅲ | 令和2年度中に採用する欠員補充のための正職員採用試験。             |

■内部登用試験の実施状況

(単位:人)

| 試験種別 | 応募者数 | 合格者数 | 備考                |
|------|------|------|-------------------|
| 内部登用 | 15   | 7    | R2.12/21、12/23 実施 |

② 人材育成

「青森県すこやか福祉事業団人材育成計画」に基づき、新任職員研修、階層別研修、専門分野別研修など、カテゴリーに応じた研修を計画的に開催し、職員の資質向上に努めた。また、新任職員に対しては「新任職員育成研修プログラム」による人材育成を推進した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部予定どおりに実施できなかった研修もあったが、概ね計画どおりに実施することができた。また、実施できなかった研修の一部については研修内容をDVDにまとめ、映像による研修として各所属に配布するなど、新しい研修スタイルを導入した。

研修実績については、「令和2年度法人内研修実施状況」（P9）参照。

③ 人材定着

ここ数年、4月1日付新採用者の年度内離職者が続き、平成30年度は2人、令和元年度は6人の新採用者が離職した。

こうした離職は、事業運営上非常に大きな影響を与えることから、新任職員の育成やフォローを行う「エルダー制度」について、より効果的になるよう見直しした。

また、キャリアコンサルタントによる「キャリア面談」については、令和2年度は106人の面談を行った。面談では、自身のキャリアの振り返りをとおして、職員一人ひとりが仕事に対してやりがいを感じ、目標をもって仕事に臨むことができるよう支援した。

こうした取組により、令和2年度の事業計画に掲げた「新任職員の離職者0」については、目標を達成することができた。

④ 職場環境改善

これまで、職員の私傷病による休職及び復職に関する取扱いを定めた「傷病による職員の休職及び復職に関する規程」や、各所属で働いている職員が相談しやすい仕組みとして総合的な相談体制である「職場の保健室」制度を整備し、働きやすい職場づくりに向けた環境改善に努めた。

このうち、職場の保健室制度については、少しずつ職員にも制度が浸透してきており、相談をとおして悩みや課題を把握し、早期に問題解決や改善につなげることができた。

職員が働きやすい職場づくりのために職場環境改善を図ることは、職員の離職を防ぎ人材の確保を維持するだけでなく、持続可能な組織づくりのために非常に重要な取組であり、今後も職員へ周知を図りながら随時対応していく。

3 職員の状況

| 職名  | 事務局長<br>(就労さつき所長兼務) | 次長<br>(キャリア支援課長兼務) | 総務課長 | 総務課<br>事務員 | キャリア支援課<br>事務員 | 計(人) |
|-----|---------------------|--------------------|------|------------|----------------|------|
| 職員数 | 1                   | 1                  | 1    | 4          | 2              | 9    |

※理事長、専務理事を除く。

4 事業の実施状況

(1) 評議員会

事業団定款第9条～14条の規定に基づき、次のとおり開催した。

| 回及び開催時期                       | 内 容   |
|-------------------------------|---|
| 第7回評議員会<br>令和2年6月8日<br>(書面評決) | ①書面評決者：評議員7人<br>②報告事項<br>報告第1号：基本計画策定報告の件<br>報告第2号：令和元年度事業報告の件<br>③議決事項<br>議案第1号：令和元年度計算書類及び財産目録の承認の件<br>議案第2号：理事1名の改選の件<br>議案第3号：定款の一部改正の件 |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 第8回評議員会<br>令和2年10月2日 | ①場 所：県民福祉プラザ3階「多目的室3A」<br>②出席者：評議員4人、監事1人、理事6人、その他4人<br>③議決事項<br>議案第1号：定款の一部改正（案） |
|----------------------|---|

(2) 理事会

事業団定款第23条～27条の規定に基づき、次のとおり開催した。

| 回及び開催時期                        | 内 容  |
|--------------------------------|--|
| 第16回理事会<br>令和2年5月28日<br>(書面評決) | ①書面評決者：理事6人、監事2人<br>②議決事項<br>議案第1号：令和元年度補正予算（理事長専決分）<br>議案第2号：令和元年度事業報告書（案）<br>議案第3号：令和元年度決算書（案）<br>議案第4号：令和2年度の退職給与積立金取崩（案）<br>議案第5号：令和2年度補正予算（案）<br>議案第6号：定款の一部改正（案）<br>議案第7号：理事の改選（案）<br>議案第8号：評議員選任・解任委員の改選（案）<br>議案第9号：第7回評議員会の招集事項（案）<br>③報告事項<br>報告第1号：令和元年度苦情受付・解決状況について |
| 第17回理事会<br>令和2年6月11日<br>(書面評決) | ①書面評決者：理事5人、監事2人<br>②議決事項<br>議案第1号：業務執行理事の選任（案）  |
| 第18回理事会<br>令和2年8月5日            | ①場 所：県民福祉プラザ3階「多目的室3A」<br>②出席者：理事6人、監事2人、その他5人<br>③議決事項<br>議案第1号：デイサービスセンターすこやか移転及び就労サポートセンターさつき乾燥精米所建屋増築に伴う基本財産取得（案）<br>議案第2号：デイサービスセンターすこやか移転に伴う令和2年度補正予算（案）<br>④報告事項<br>報告第1号：予備費の充当について  |
| 第19回理事会<br>令和2年9月18日           | ①場 所：県民福祉プラザ3階「多目的室3A」<br>②出席者：理事6人、監事2人、その他4人<br>③議決事項<br>議案第1号：定款の一部改正（案）<br>議案第2号：施設長等人事（案）<br>議案第3号：第8回評議員会の招集事項（案）  |
| 第20回理事会<br>令和2年11月27日          | ①場 所：県民福祉プラザ3階「多目的室3A」<br>②出席者：理事6人、監事2人、その他8人<br>③議決事項<br>議案第1号：令和2年度補正予算（案）<br>議案第2号：職員就業規則の一部改正（案）  |

|                      |  |
|----------------------|--|
|                      | 議案第3号：職員給与規程の一部改正（案）<br>④報告事項<br>報告第1号：ライフサポートあおばデイサービスセンターすこやか<br>における予備費の充当について  |
| 第21回理事会<br>令和3年3月11日 | ①場 所：県民福祉プラザ3階「多目的室3A」<br>②出席者：理事6人、監事2人、その他9人<br>③議決事項<br>議案第1号：令和2年度補正予算(案)<br>議案第2号：年度開始前の契約準備に関する理事長専決について<br>議案第3号：令和3年度事業計画（案）<br>議案第4号：令和3年度当初予算（案）<br>議案第5号：経理規程の一部改正（案）<br>議案第6号：役員等賠償責任保険について<br>議案第7号：施設長等人事（案）<br>④報告事項<br>報告第1号：令和2年度監査結果の報告<br>報告第2号：令和2年度福祉サービスの質の評価実績の報告 |

### (3) 各種監査・第三者評価

| 監査種別                       | 実施日              |
|----------------------------|------------------|
| ①青森県すこやか福祉事業団監事事前監査        | 令和2年4月24日        |
| ②青森県すこやか福祉事業団監事監査          | 令和2年5月12日・13日    |
| ③青森県すこやか福祉事業団内部監査          |                  |
| ・プラザ内事業所(事務局・プラザ管理室・長寿・発達) | 令和2年9月29日        |
| ・八甲学園                      | 令和2年11月18日・19日   |
| ・安生園                       | 令和2年10月7日        |
| ・すこやか苑                     | 令和2年11月12日       |
| ・なつどまり                     | 令和2年9月25日・10月27日 |
| ・就労サポートセンターさつき             | 令和2年9月15日        |
| ・ライフサポートセンターあおば            | 令和2年10月14日・15日   |
| ・就労サポートセンターはくちょう           | 令和2年10月19日       |
| ④青森市指導監査課による指導監査           |                  |
| ・チャレンジサポートすこやか             | 令和2年8月31日        |
| ・安生園                       | 令和2年12月8日        |
| ・すこやか苑                     | 令和2年12月9日        |
| ⑤青森県社会福祉士会による福祉サービス第三者評価   |                  |
| ・養護老人ホーム安生園                | 令和2年8月～令和3年3月    |

※青森県東青地域県民局監査指導課による指導監査については、12月に法人本部と八甲学園で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となった。

### (4) 法人内会議・委員会

| 会議名              | 内 容  |
|------------------|--|
| ①所属長会議<br>(9回開催) | 各所属と意思疎通を図り、既存事業の課題等の検証や新規事業の模索等について検討し、事業団の安定経営の推進に努めた。 |



|                            |  |
|----------------------------|--|
| ②経営会議<br>(5回開催)            | 地域職給与制度実施に向けた検討及び人事考課制度の運用ルールについて検討した。   |
| ③総務担当者会議<br>(3回開催)         | 庶務、経理事務の適正化に向けた施策の確認、各種制度改正やそれに関する事務取扱に係る情報共有を行った。   |
| ④栄養士会議<br>(2回開催)           | 給食業務委託契約についての内容確認や、所属での現状課題の検討及び情報共有を行った。  |
| ⑤人材確保・育成委員会<br>(2回開催)      | 事業団の人材育成計画についての検討や、エルダー制度の見直しなどの取組を行った   |
| ⑥職場環境改善委員会<br>(1回開催)       | I C Tの活用による業務改善取組状況や、年休・特休の取得状況等、法人内の職場環境についての確認や情報共有を行った。   |
| ⑦監査委員会<br>(2回開催)           | 法人内の内部牽制の強化と、法定監査受検に対応できる人材の育成を目的とした内部監査実施に向けて、内容を検討した。委員会形式のほか、サービス種別(障害福祉、高齢者福祉)や、分野別(処遇、経理、運営管理)で「部会」形式の勉強会を実施した。 |
| ⑨福祉サービス質の向上推進委員会<br>(2回開催) | 法人が提供している福祉サービスの自己評価を実施し、課題点などを確認して是正を図り、提供するサービスの質と職員の資質の向上を図った。  |
| ⑩環境整備委員会<br>(都度実施)         | 各施設の所有地の環境整備や薪用の原木の伐採、稲作支援等を実施した。  |

#### (5) 職員の福利厚生

非正規職員も含め(一部を除く)全職員を対象としてソウェルクラブへ加入し、福利厚生の充実を図った。

また法人認定のクラブ活動に対する助成金支援制度を実施した。

#### (6) 社会福祉事業団関連会議等

全国社会福祉事業団及び北海道・東北ブロック社会福祉事業団関連の会議等については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、全て中止となった。

### 5 研修の参加状況

#### (1) 外部研修

| 研修名                 | 実施日                     | 場 所              | 出席者 |
|---------------------|-------------------------|------------------|-----|
| ①伐木等業務特別教育<br>(補講)  | 令和2年7月1日                | 平内町              | 1人  |
|                     | 令和2年7月22日               | 「青森産業技術センター」     | 1人  |
| ②社会福祉法人の「はじめての簿記」講座 | 令和2年9月9日                | 青森市<br>「県民福祉プラザ」 | 1人  |
| ③社会福祉法人の「入門・初級簿記」講座 | 令和2年9月10日・<br>令和2年9月11日 | 青森市<br>「県民福祉プラザ」 | 2人  |
| ④応研年末調整概要セミナー       | 令和2年9月25日               | 事務局(オンライン)       | 1人  |
| ⑤応研給与明細電子化セミナー      | 令和2年9月29日               | 事務局(オンライン)       | 1人  |

|                                  |            |                       |    |
|----------------------------------|------------|-----------------------|----|
| ⑥社会福祉法人の監事監査セミナー                 | 令和2年11月16日 | 青森市<br>「青森県観光物産館アスパム」 | 1人 |
| ⑦採用力向上セミナー                       | 令和2年11月16日 | 青森市<br>「ラ・プラス青い森」     | 1人 |
| ⑧福祉事業者のためのコーチング講座                | 令和2年11月27日 | 青森市<br>「青森県観光物産館アスパム」 | 1人 |
| ⑨福祉人材確保支援セミナー及び福祉人材確保研究会         | 令和2年12月2日  | 青森市<br>「県民福祉プラザ」      | 1人 |
| ⑩女性活躍推進セミナー                      | 令和2年12月18日 | 事務局（オンライン）            | 1人 |
| ⑪外国人介護人材受入準備セミナー及び外国人介護職員指導担当者研修 | 令和3年1月29日  | 青森市<br>「県民福祉プラザ」      | 3人 |
| ⑫今からできる！SDGsセミナー                 | 令和3年2月25日  | 事務局（オンライン）            | 1人 |
| ⑬障害者雇用納付金制度事務説明会                 | 令和3年3月3日   | 青森市<br>「ポリテクセンター青森」   | 1人 |

(2) 法人内研修

詳細については、別紙1「令和2年度法人内研修実施状況」(P9)参照。

(別紙1)「令和2年度法人内研修実施状況」

1 参加型による研修

| 月  | 日       | 曜日 | 研 修              | 講 師                          | 受講者(人) |
|----|---------|----|------------------|------------------------------|--------|
| 6  | 3       | 水  | 新任職員研修(第1回目)     | 理事長、専務理事、事務局長他 <del>☒</del>  | 13     |
|    | 4       | 木  |                  |                              | 7      |
|    | 17      | 水  | キャリア面談事前研修       | キャリアコンサルタント 石岡百合子氏           | 27     |
|    | 22      | 月  | 所属長等研修           | 藤チャレンジド就業生活支援センター<br>長谷川さとみ氏 | 13     |
| 7  | 20      | 月  | 初級職員研修           | (株)セミナー東北 鎌田昌子氏              | 18     |
| 8  | 5       | 水  | キャリア面談事前研修       | キャリアコンサルタント 石岡百合子氏           | 38     |
|    | 18      | 火  | 中職員研修            | (株)セミナー東北 鎌田昌子氏              | 13     |
|    | 20      | 木  | 上級職員研修           | (株)セミナー東北 鎌田昌子氏              | 5      |
| 9  | 8       | 火  | 新任職員研修(第2回目)     | 理事長、専務理事、事務局長他 <del>☒</del>  | 12     |
|    | 9月～10月中 |    | 法人内実地研修          | 法人内職員                        | 6      |
| 10 | 8       | 木  | メンタルヘルス研修        | 芙蓉会病院 院長 村上拓也氏               | 31     |
|    | 9       | 金  | 内定者研修I           | 理事長、専務理事、事務局長他 <del>☒</del>  | 7      |
| 11 | 17      | 火  | 2年目職員フォローアップ研修   | 事務局次長、町田所長                   | 15     |
|    | 9       | 月  | 虐待防止研修           | 青森大学 教授 船木昭夫氏                | 22     |
|    | 12      | 木  | 交通安全研修(後期)       | 東部自動車学校                      | 25     |
|    | 13      | 金  |                  |                              | 13     |
|    | 17      | 火  | 虐待防止研修           | 青森大学 教授 船木昭夫氏                | 29     |
|    | 30      | 月  |                  |                              | 17     |
|    | 30      | 月  | 2年目職員フォローアップ研修   | 事務局次長、町田所長                   | 10     |
| 12 | 10      | 木  | 利用者支援理解促進研修(高齢者) | 芙蓉会病院 院長 村上拓也氏               | 19     |
|    | 10      | 木  | 初級支援職員研修         | 前中所長                         | 4      |
|    | 16      | 水  |                  |                              | 8      |
|    | 17      | 木  |                  |                              | 10     |
|    | 18      | 金  |                  |                              | 11     |
| 1  | 13      | 水  | 女性職員研修           | 法人内職員                        | 14     |
|    | 21      | 木  | 新任職員研修(第3回目)     | 理事長、専務理事、事務局長他               | 5      |
|    | 26      | 火  | ハラスメント防止研修       | キャリアコンサルタント 石岡百合子氏           | 15     |
| 2  | 12      | 金  | 内定者研修I～III       | 理事長、専務理事、事務局長他 <del>☒</del>  | 15     |

2 映像による研修

| DVD研修 | 研 修          | 講 師    |
|-------|--------------|--------|
|       | 個人情報保護に関する研修 | 事務局次長  |
|       | 看護技術基礎研修     | 法人内看護師 |
|       | エルダー研修       | 事務局次長  |

## II 県民福祉プラザ管理室

### 1 概況

県民福祉プラザの受託経営事業については、これまでと同様に円滑な貸館運営を実施し、自主事業においても事業内容を精査して実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、貸館運営の自粛や自主事業の中止を余儀なくされ、来館者数は大幅に減少した。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 県民福祉プラザ受託経営事業（指定管理受託事業）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた年度であった。県民福祉プラザでは、国が策定したガイドラインに基づき、収容人数の制限や館内消毒作業、3密回避への呼びかけなど、新型コロナウイルス感染症への対策を行ってきた。

しかし、全国で緊急事態宣言が出た4、5月は利用の取り消しが相次いだほか、10月に県内クラスターが発生したことや、年末年始にかけて全国的に感染者数が増加したことから、年間を通して利用件数及び利用者数は大幅に減少した。

一方で、館内Wi-Fiを利用したオンライン研修やリモート会議といった、これまでなかった利用形態での使用が増加した。特に、お客様からは研修室におけるインターネット環境に関する問い合わせも多く、県民福祉プラザとしても今後このような需要に答えるべく全研修室へのWi-Fi設置を目指す。

研修室等使用実績については、有料研修室利用者数延べ41,370人（前年度比43.6%）、有料研修室利用件数2,275件（前年度比68.6%）であり、利用人数、利用件数ともに大きく減少した。

詳細については別紙2「令和2年度県民福祉プラザ利用状況」（P12）のとおり

#### (2) 県民福祉プラザ自主事業

自主事業については、新型コロナウイルスの影響によりヨガ教室や健康教室、将棋大会など集客して行う事業が一部中止となった。特に10月に県内クラスターが発生して以降は感染予防の観点から実施することができず、売り上げは1,234千円の目標に対し、376千円にとどまった。

しかし、青森県立郷土館との連携で実施した「青森市の風景」写真パネル展示では、広いエントランスホールにて約2ヶ月間の展示を行うことで、3密を避けた事業を展開することができた。来館された方からは、「また見に来たい」などご好評をいただいております。今後も密にならない自主事業として開催を検討していく。

| イベント名       | 期間                         | 延べ回数 | 延べ参加数 | 売上       |
|-------------|----------------------------|------|-------|----------|
| 健康教室        | 令和2年7月29日から<br>令和2年10月5日まで | 7回   | 95人   | 47,500円  |
| ヨガ教室        | 令和2年9月3日から<br>令和2年10月15日まで | 7回   | 82人   | 82,000円  |
| エントランスホール出店 | 令和2年7月から<br>令和2年10月まで      | 通年   | 18件   | 18,000円  |
| デジタルサイネージ   | 令和2年4月1日から<br>令和3年3月31日まで  | 通年   | 2団体   | 228,000円 |

### 3 職員の状況

| 職名  | 室長 | 事務員 | 夜間事務補助員 | 計(人) |
|-----|----|-----|---------|------|
| 職員数 | 1  | 6   | 2       | 9    |

### 4 研修の参加状況

| 研修名                          | 実施日                                 | 場所            | 出席者 |
|------------------------------|-------------------------------------|---------------|-----|
| 部下とのコミュニケーションが激変！聴き方・伝え方向上研修 | 令和2年7月2日                            | 問屋町会館         | 1人  |
| 会計経理の基礎講座【導入編】               | 令和2年7月9日<br>令和2年7月14日<br>令和2年7月16日  | 問屋町会館         | 2人  |
| 会計経理の基礎講座【実践編】               | 令和2年8月20日<br>令和2年8月25日<br>令和2年8月27日 | 問屋町会館         | 2人  |
| 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会        | オンライン講義                             | オンライン講義       | 1人  |
| 上記試験                         | 令和2年9月2日                            | ウェディングプラザアラスカ |     |
| Wordの基本的な文書作成研修              | 令和2年10月15日<br>～10月16日               | 中央市民センター      | 2人  |

### 5 館内外設備等の更新・修繕への取組み

2階福祉機器展示コーナーの展示物については、福祉機器業者や関係機関の協力の下、ベッドや車椅子、吊上げリフト、入浴介助機器など、最新の機器を導入することができた。また、展示コーナーの見学を受け入れるだけでなく、介護関係研修を展示コーナーで実施し、実際に福祉機器を体験してもらうなど、最新の福祉機器を利活用できる環境を整えた。

館内設備については老朽化が進む中でも適切に整備、管理した。令和3年度には屋上防水工事及び空調機器更新工事を予定しており、実施者である県と連絡を密に取り、準備を進めた。

## (別紙2) 令和2年度県民福祉プラザ利用状況

| No  | 研修室名   | 4月      | 5月  | 6月  | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 計     |        |
|-----|--------|---------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1   | 県民ホール  | 利用件数(件) | 1   | 1   | 6     | 15    | 22    | 17    | 12    | 11    | 18    | 14    | 9     | 15    | 141    |
|     |        | 利用者数(人) | 40  | 50  | 853   | 1,000 | 1,469 | 1,254 | 992   | 1,065 | 1,373 | 1,098 | 520   | 963   | 10,677 |
| 2   | 大研修室   | 利用件数(件) | 2   | 2   | 13    | 23    | 23    | 23    | 25    | 22    | 14    | 13    | 12    | 18    | 190    |
|     |        | 利用者数(人) | 40  | 40  | 410   | 550   | 605   | 736   | 747   | 775   | 461   | 473   | 277   | 634   | 5,748  |
| 3   | 中研修室   | 利用件数(件) | 3   | 3   | 15    | 22    | 25    | 23    | 27    | 23    | 19    | 14    | 12    | 18    | 204    |
|     |        | 利用者数(人) | 106 | 55  | 305   | 545   | 666   | 642   | 693   | 727   | 365   | 382   | 227   | 497   | 5,210  |
| 4   | 小研修室   | 利用件数(件) | 3   | 2   | 19    | 19    | 16    | 22    | 27    | 24    | 25    | 22    | 23    | 26    | 228    |
|     |        | 利用者数(人) | 36  | 9   | 232   | 204   | 127   | 199   | 214   | 180   | 197   | 207   | 198   | 229   | 2,032  |
| 5   | 多目的室4A | 利用件数(件) | 2   | 5   | 19    | 25    | 21    | 25    | 32    | 26    | 22    | 19    | 14    | 22    | 232    |
|     |        | 利用者数(人) | 45  | 92  | 307   | 477   | 334   | 436   | 581   | 403   | 372   | 337   | 240   | 345   | 3,969  |
| 6   | 多目的室4B | 利用件数(件) | 1   | 4   | 11    | 25    | 21    | 16    | 24    | 23    | 19    | 16    | 11    | 19    | 190    |
|     |        | 利用者数(人) | 25  | 55  | 193   | 473   | 394   | 257   | 386   | 364   | 230   | 267   | 168   | 300   | 3,112  |
| 7   | 講師控室1  | 利用件数(件) | 3   | 3   | 4     | 6     | 7     | 7     | 19    | 9     | 16    | 12    | 11    | 5     | 102    |
|     |        | 利用者数(人) | 15  | 15  | 19    | 23    | 22    | 30    | 77    | 27    | 36    | 31    | 36    | 24    | 355    |
| 8   | 講師控室2  | 利用件数(件) | 0   | 0   | 9     | 14    | 15    | 17    | 21    | 13    | 8     | 6     | 7     | 2     | 112    |
|     |        | 利用者数(人) | 0   | 0   | 9     | 14    | 18    | 20    | 21    | 23    | 11    | 6     | 13    | 3     | 138    |
| 9   | 多目的室3B | 利用件数(件) | 9   | 2   | 4     | 8     | 12    | 16    | 20    | 18    | 12    | 13    | 11    | 17    | 142    |
|     |        | 利用者数(人) | 87  | 18  | 41    | 76    | 118   | 197   | 189   | 208   | 129   | 162   | 108   | 151   | 1,484  |
| 10  | 多目的室3C | 利用件数(件) | 13  | 6   | 36    | 29    | 28    | 32    | 31    | 30    | 27    | 23    | 24    | 30    | 309    |
|     |        | 利用者数(人) | 89  | 27  | 271   | 232   | 223   | 241   | 226   | 218   | 192   | 181   | 202   | 242   | 2,344  |
| 11  | 多目的室2A | 利用件数(件) | 8   | 4   | 11    | 16    | 24    | 16    | 20    | 20    | 14    | 10    | 10    | 16    | 169    |
|     |        | 利用者数(人) | 199 | 58  | 205   | 341   | 501   | 351   | 475   | 431   | 296   | 202   | 198   | 246   | 3,503  |
| 12  | 多目的室2B | 利用件数(件) | 5   | 9   | 16    | 15    | 17    | 28    | 26    | 21    | 21    | 18    | 15    | 21    | 212    |
|     |        | 利用者数(人) | 41  | 95  | 141   | 167   | 163   | 321   | 313   | 199   | 248   | 177   | 161   | 209   | 2,235  |
| 13  | 調理実習室  | 利用件数(件) | 1   | 0   | 1     | 2     | 2     | 3     | 6     | 7     | 8     | 6     | 6     | 2     | 44     |
|     |        | 利用者数(人) | 10  | 0   | 10    | 35    | 35    | 45    | 88    | 109   | 107   | 43    | 61    | 20    | 563    |
| 合 計 |        | 利用件数(件) | 51  | 41  | 164   | 219   | 233   | 245   | 290   | 247   | 223   | 186   | 165   | 211   | 2,275  |
|     |        | 利用者数(人) | 733 | 514 | 2,996 | 4,137 | 4,675 | 4,729 | 5,002 | 4,729 | 4,017 | 3,566 | 2,409 | 3,863 | 41,370 |

## 【参 考】

| 年 度   | 利用件数   | 利用人数    |
|-------|--------|---------|
| 令和元年度 | 3,315  | 94,904  |
| 令和2年度 | 2,275  | 41,370  |
| 増 減   | -1,040 | -53,534 |

## 第2 障害児入所施設八甲学園

### 1 概況

八甲学園の運営にあたっては、コロナ禍にありながらも基本理念のもと、利用者の尊厳の尊重、利用者の有する能力に応じ、健やかな成長ができるよう、また、地域社会の一員として日常生活や社会生活が営むことができるよう、利用者や家族等の思いに寄り添い、利用者、家族、地域社会から信頼される施設運営を実施してきた。

障害児入所施設としては、今後の在り方や方向性を検討し、定員を前年度比で6人減となる14人で事業運営をした。併せて、多様化する地域住民の福祉ニーズの把握や学校、関係機関・団体との連携を図りながら、通所事業、共同生活援助事業における利用者獲得や利用率のアップ等に努め、各事業の運営を行った。

働きやすい職場づくりの取組として、年次有給休暇の促進や時間外労働の削減、管理職やエルダーとの面談を含め、職場での話しやすい環境づくりに取り組み、職員のメンタル不調の早期発見・早期対応や、心身ともに健康でいきいきと働ける職場環境の整備に努めた。

### 2 職員の状況

|             | 園長 | 課長 | 主任<br>支援員 | 副主任<br>支援員 | 支援員 | 副主任<br>看護師 | 栄養士 | 副主任<br>事務員 | 事務員 | 世話人 | 運転員<br>当直員 | 合計 |
|-------------|----|----|-----------|------------|-----|------------|-----|------------|-----|-----|------------|----|
| 総務課         | 1  |    |           |            |     | 1          | 1   | 1          | 3   |     | 4          | 11 |
| こども<br>支援課  |    | 1  | 1         | 2          | 17  |            |     |            |     |     |            | 21 |
| 地域支援<br>第一課 |    |    | 3         | 2          | 14  |            |     |            |     |     |            | 19 |
| 地域支援<br>第二課 |    | 1  | 2         |            | 19  |            | 1   |            |     | 12  |            | 35 |
| 合計          | 1  | 2  | 6         | 4          | 50  | 1          | 1   | 1          | 4   | 12  | 4          | 86 |

※1 非常勤職員（専任当直員、運転員）は総務課職員として集計。

※2 嘱託医、産業医及び嘱託職員（心理療法担当）は除く。

### 3 職員研修

年間研修計画（法人内研修や施設内外の研修）に基づいた研修を実施し、職員全体の資質向上及び専門的な知識と支援技術の獲得を図った。

また、利用者の人権・生命を守るために、虐待・権利擁護・コンプライアンス・危機管理（救命救急、防犯、防災等）に関わる研修の充実を図り、職員の人権意識等の向上に努めた。

### 4 行事

#### (1) 年間行事

| 項目       | 実施時期・回数  | 内容                            |
|----------|----------|-------------------------------|
| (1) 生活支援 | 随時       | ① 社会体験学習<br>買物・食事・公共施設等（延23回） |
|          | 中止<br>中止 | ② 行事<br>・春のドライブ外出<br>・端午の節句   |

|                      |   |  |
|----------------------|---|--|
| (1) 生活支援             | 5月4日<br>6月26日<br>6月22日<br>7月29日<br>7月30日<br>中止<br>中止<br>8月5日<br>8月12日<br>8月23日<br>9月28日<br>12月18日<br>12月23日<br>12月31日<br>1月7日<br>中止<br>中止<br>2月6日<br>3月7日<br>3月15日<br>3月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花見会/学園庭園 (13人)</li> <li>・大掃除及びお疲れ会</li> <li>・ミニなつまつり (なつまつり代替)</li> <li>・駄菓子屋外出 (夏休みプール代替)</li> <li>・GH (サンハウス) 見学</li> <li>・デイサービス参観週間</li> <li>・ねぶた観覧</li> <li>・夏休み外出夏泊半島+ピザ</li> <li>・好きなマックを食べる会</li> <li>・花火</li> <li>・買物、公園 (紅葉狩り代替)</li> <li>・大掃除</li> <li>・クリスマス会</li> <li>・年越しそば会</li> <li>・新年会</li> <li>・デイサービス参観週間</li> <li>・冬休みスケート外出</li> <li>・節分</li> <li>・ひなまつり会</li> <li>・さようなら会</li> <li>・卒業を祝う会</li> </ul> |
|                      | 4月期<br>7～8月期<br>12～1月期<br>3月期   | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 家庭実習</li> <li>・春季家庭実習 (2人)</li> <li>・夏季家庭実習 (3人)</li> <li>・冬季家庭実習 (5人)</li> <li>・春季家庭実習 (2人)</li> </ul>   |
| (2) 学卒児支援            | 年間  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①園外活動：歩行訓練・作業活動</li> <li>②園内活動：身辺自立・清掃</li> </ul>   |
| (3) 就労支援             | 随時  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の実習に協力</li> <li>実習先訪問、金銭管理指導</li> </ul>  |
| (4) 強度行動障害<br>特別処遇事業 | 1回/月<br>3回/月/1人   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会議</li> <li>・対象児2人にプレイセラピーを実施</li> </ul>   |
| (5) 健康管理             | 随時<br>24回<br>2回<br>12回<br>4回<br>1回<br>2回<br>1回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①通院</li> <li>②精神科嘱託医の検診</li> <li>③内科嘱託医の検診</li> <li>④身長体重測定</li> <li>⑤フッ素塗布</li> <li>⑥眼科検診</li> <li>⑦歯科検診</li> <li>⑧定期健康診断</li> </ul>   |
| (6) 防災訓練             | 12回/年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①避難訓練 (火災・地震想定)</li> <li>②地域防災懇談会 (中止)</li> <li>③総合防災訓練 (前期：34人)</li> <li>④総合防災訓練 (後期33人)</li> </ul>  |



|             |      |  |
|-------------|------|--|
|             |      | ⑤非常通報訓練（春）<br>⑥非常通報訓練（秋）                                 |
| (7) 研 修     | 随 時  | ①職場内研修・研究発表<br>②法人内研修<br>③法人外県内研修<br>④法人外県外研修（主にオンライン研修） |
| (8) 広報活動    | 3回/年 | ①学園だより<br>②ホームページ<br>③リーフレット                             |
| (9) ボランティア  | —    | 新型コロナウイルス感染症対策により受け入れ実績なし                                |
| (10) 実習受け入れ | 随 時  | 専門学校、短大、大学、計4校<br>実数4人（各校1人）                             |

## 5 健康管理

- (1) 入所児童については、体位測定（月1回）や健康診断（内科：年2回、歯科：年2回等）を定期的実施し、健康状態を的確に把握した。
- (2) 嘱託医、学校、家庭、グループホーム等との連携を強化しながら、疾病の早期発見及び早期治療に努めた。
- (3) 感染症の予防対策として、インフルエンザワクチン予防接種やマスクの着用、手指消毒、手洗いうがいの励行を徹底し、行政通知やマニュアル等に沿って迅速な対応で新型コロナウイルスを含む感染症の感染防止に努めた。

## 6 安全・防災管理

利用者が安全で安心した快適な生活が送れるよう防災・安全管理対策として次の事項を実施した。

- (1) 月1回の防災避難訓練、年2回の総合防災訓練を実施した。また、グループホームは年2回（火災・風水害各1回）実施した。
- (2) 月1回園内リスクマネジメント委員会を開催した。
- (3) 防災担当者による自主点検及び法定点検を実施した。
- (4) 地域住民の協力（八甲学園地域防災協力隊）による夜間避難訓練は、コロナ禍により中止となったが、継続して連携に努めた。
- (5) 入所・通所利用者の生命を守る一助とするために、応急救命講座を実施した。

## 7 ボランティア・実習生の受入れ

- (1) ボランティアの受入れについては、新型コロナウイルス感染症対策により中止としたが、地域社会とのつながりや相互理解、施設運営の活性化とともに、福祉の担い手の育成を目指した取り組みであることから、青森市社会福祉協議会等関係機関との連携に継続して努めた。
- (2) 実習生の受入れに当たっては、次代の施設職員を養成するという人材育成の視点に立ち、真摯な対応に心がけ育成に努めた。

## 8 地域との連携

- (1) 地域に開かれた施設として、施設運営に関してさらに地域住民と連携し、コロナ禍

の中、可能な限り地域との交流促進に努めた。また、障害者の理解と社会参加促進に努めながら、共生・共助の地域づくりの推進に努めた。

(2) 青森市との「福祉避難所の確保に関する協定」について、引き続き協定を結んだ。

## I こども支援課

### 【児童入所支援】

#### 1 概況

入所支援においては、少子化及び在宅福祉サービスの充実、行政からの措置ケースの減少等により、近年においては入所利用児童の減少が顕著となっている。全国的に見ても、青森県内全体の障害児入所施設の定員は人口に対し供給過剰な状況にあり、また、措置率も極端に低い状況にある。

今後もこの傾向は続くものと考えられ、平成27年度から定員30人を維持していたが、それに見合った職員を配置することは困難な状況となっている。そのため、令和元年度から段階的に定員を削減し、令和2年度当初は定員を15人とし、5月からは1人の退所に伴い定員を14人とした。定員は削減したものの地域の社会資源として、地域や関係機関・団体との連携、良質な福祉サービスの提供を継続して行ったほか、一時保護の体制を維持し、地域のセーフティネットとしての役割を果たした。

#### 2 重点事項の実施状況

##### (1) 人権擁護・虐待防止

児童の人権を擁護することで障害者虐待や児童虐待及び不適切な支援を防ぐことを目的に、支援やマニュアルを整備の上、職員へ周知し適切に実施した。

##### (2) 今後の障害児入所施設としての八甲学園のあり方、方向性の検討

八甲学園が置かれている現状（入所児童の減少、運営状況等）を基に法人として今後の方向性を検討し、国の動向を見定め、定員を縮小した。18歳以上の入所支援利用者、退所児童の移行を速やかに進めた。

##### (3) 行事と予算の見直し

人員配置及び経費が伴う社会体験と定例行事に係る支援内容を精査し、新型コロナウイルス感染症対策（代替）行事に変更し実施した。

#### 3 事業の実施状況

##### (1) 福祉型障害児入所施設

###### ① 定員

14人

###### ② 概要

学校や関係機関と連携しながら、入所児童の健全な成長・発達を目指した生活支援を行うとともに、将来の生活に必要な身辺自立及び社会自立に向けた支援、移行支援を実施した。また、強度行動障害児童へは指導訓練を、被虐待児童へは心理ケアと心理療法等を実施した。

###### ③ 支援目標

ア 児童の人権を尊重し、心身ともに豊かな生活が送れるよう支援をした。

イ 児童の発達段階・状況に応じ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の伸長に向

けた支援をした。

ウ 児童が安全に安心して心豊かに暮らせるよう、家庭的な生活環境を整備し、児童の健康管理に留意した。特に衛生面については、徹底して取り組んだ。

オ 児童のニーズを的確に把握するとともに、個別性に配慮した支援計画に基づくサービスを提供した。

カ 個々の児童の意向や課題を踏まえた支援計画に基づき、家庭、学校、医療及び関係機関との連携を図りながら必要な支援をした。強度行動障害と判定された児童に対しては、医師や看護師、心理士等とも連携し、専門的な統一した支援を行い、行動障害の軽減に取り組むと同時に、職員の人材育成、技術習得をもとに支援の定着化を図った。

キ 被虐待児童への心理的ケアと支援の充実を図るため、当該児童に心理療法（心理検査、プレイセラピー、SST等）を実施した。

ク 地域交流を交えつつ地域の社会資源を活用し、個々に応じた自立生活ができるよう社会性の向上と社会参加の促進を図る。社会体験等については計画に基づき実施しその他児童から要望のあった行事等については、必要に応じて検討をした。

ケ 社会貢献人材育成の一助とするべく、実習生の経験と道程となり得る受入れ対応・カリキュラムを組み提供をした。

## (2) 経過的施設入所支援事業

### ① 定員

福祉型障害児入所施設利用児童と合わせ 14 人

### ② 概要

18歳以上の入所利用者について障害者総合支援法に基づく昼夜を分離した障害福祉サービスを活用した支援を実施するとともに、入所利用者のニーズに合わせた成人期福祉サービス等への移行へ向けて、相談支援事業所及び関係機関と連携支援を行った。

### ③ 支援目標

ア 利用者の人権を尊重し、心身ともに豊かな生活が送れるよう支援した。

イ 利用者のニーズを的確に把握するとともに、個別性に配慮した支援計画に基づき、家庭、医療及び関係機関と連携を図りながら必要な支援を行った。

ウ 利用者が安全に安心して暮らせるよう生活環境の整備と家庭的な施設運営を行った。

エ 個々の能力に応じた自立した日常生活ができるよう、地域の社会資源を活用し社会性の向上に努めるとともに、地域生活または成人の福祉サービスへの移行を踏まえた支援を行った。

オ 円滑に障害福祉サービスに移行できるよう、本人の意向を尊重しながら、相談支援事業所、他関係機関と連携して可能な限り速やかに移行支援を進めた。

## (3) 短期入所事業（空床型）

### ① 定員

空床数による。

### ② 概要

障害児・者を介護されている家族の方が、病気、出産、冠婚葬祭、行事等の理由により一時的に介護ができなくなった場合に、欠員及び入所児童の帰宅等により空

いた居室を利用し宿泊を伴う生活支援を提供する予定であったが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策により受入れを見合わせ、実績はなかった。

### ③ 支援目標

ア 障害児・者が安全に、安心して過ごすことができるよう環境を設定し、健康状態に配慮した。

イ 家族の要望に対し、できるだけ添えるよう家族や関係機関等と相談・連携しながら支援を行った。

ウ 原則として、受入れ利用児者数は総合支援法による適正な範囲を超えないこととした。

## 【デイサービスセンターはっこう】

### 1 概況

- (1) 児童福祉法、障害者総合支援法、その他関係する法令等に基づき、通所児童一人ひとりが人間としての尊厳を守られながら、心豊かで健やかに成長し、地域社会の一員として自己の能力や特性に応じた暮らしができるよう、多様なサービスを提供した。
- (2) 強度行動障害がある障害児に対して、障害特性に応じた専門的な支援を行い、行動障害の軽減に取り組むと同時に、職員の養成を進めた。
- (3) 事業所の実情や利用児童の状況に応じて創意工夫を図り、支援の質の向上のための取り組みを行った。

### 2 重点事項の実施状況

- (1) 職員の配置に関わらない安定した支援の提供  
児童支援（PECSやアセスメント～モニタリングの支援の流れ等）を定形化し提供した。
- (2) 支援体制の検討  
年代別児童受入れ曜日、職員配置体制、環境等を検討し整え、効率的な運営を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標利用率は100%に至らなかった。

### 3 事業の実施状況

#### (1) 定員

10人

#### (2) 概要

学校通学中の在宅児を対象とし、平日の放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力の向上や将来自立した生活を送るためのトレーニング、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練等を継続的に提供し、学校教育と連携しながら障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進した。

#### (3) 支援目標

- ① 一人ひとりのニーズ・特性・発達段階・環境に合わせた支援計画による支援を確立し、安定した支援を継続した。
- ② 余暇支援・運動プログラム・自立支援・コミュニケーション支援を通して、成功体験を積み上げ、自己肯定感を高められるよう支援した。
- ③ 基本的日常生活動作や自立生活に必要なスキルの向上を図り、将来を見据えた支援を行った。
- ④ 利用児童のより良い成長、発達を促すため、家庭・学校及び支援機関と連携した支

援の継続を図った。

## II 地域支援第一課

### 【生活介護事業所はっこう】

#### 1 概況

利用者一人ひとりの意思や人格を尊重し、個々のニーズに応じた支援を基本とし、その人らしく生きがいの持てる地域福祉の拠点として、更なる支援の充実を図った。

生活介護事業については、重度の知的障害や自閉症をはじめとする発達障害を持つ利用者に対応できるよう、個々の特性に合わせた適切な支援環境を整え、専門的かつ個別的服务の提供を行った。

#### 2 重点事項の実施状況

- (1) 環境の変化や体調等の様々な要因により欠席が多くなる利用者の状況を見据え、利用者の障害特性及び状態変化によるニーズ把握を行い、一人ひとりの特性に合わせた活動と個別化された支援を提供することで年間利用率 100%以上を目指したが約 80%であった。また、令和 3 年度に向けて支援体制を整え、更なる利用率の向上を図るため、市内相談支援事業所と連携をしながら利用率向上に努めた。
- (2) 特別支援学校（第二養護学校・第一高等養護学校）との連携を強化し、実習生の受入れをすることでアセスメントを丁寧に行い、新規利用者の受入れに繋がった。
- (3) 障害支援区分 5 以上で発達障害・強度行動障害の利用者が多く、利用者の障害特性に合わせた支援技術が必要であるため、外部研修を活用するほか、職員の知識習得とスキルアップのための研修に関する情報収集を強化するとともに、OJT、OFF-JTを継続した。

#### 3 事業の実施状況

##### (1) 定員

20 人

##### (2) 概要

主に障害支援区分 5 以上の障害の重い方、発達障害の方を対象に、利用する方の障害特性に応じ本人にとってわかりやすい環境設定を行うとともに、日常生活スキル向上のための機能訓練・生産活動・創作・余暇・運動・レクリエーション活動等を実施した。

障害特性に合わせたグループを編成し、グループごとに支援プログラムを立て利用者一人ひとりの身体機能や行動特性に合わせた環境を設定し、利用者本人が達成感と成功体験を積み重ね、個人の強みを活かして活動ができるような手立てを用いた支援を行った。

生産活動（軽作業）は、法人内外の事業所等からの事務作業の請負や、古紙等のリサイクル作業を行い、回収や運搬作業を通じて外部の方々との交流を図った。

##### (3) 支援目標

- ① 利用者の障害特性に応じ本人にとってわかりやすい環境設定を行い、柔軟で自立的な活動ができるような視覚支援、コミュニケーション支援を行った。
- ② 利用者一人ひとりの身体機能や障害特性、個別のニーズ等に基づいた個別支援計

画を立案・実施し、本人が達成感と成功体験を積み重ねられるようグループごとに支援プログラムを立て支援を行った。

- ③ 軽作業（リサイクル・古紙リサイクル）や園芸活動（プランター栽培など）を実施し、日中活動の充実を図った。
- ④ 毎月、創作活動・調理活動・音楽活動・ダンス・ゲーム等のレクリエーション活動を実施した。外出活動やアニマルセラピーは、コロナ禍のため不定期での実施となったが、それに替わる活動として、園内でグループごとの忘年会や慰労会を企画し、楽しさの共有と余暇の充実を図った。
- ⑤ 利用者のサービスを円滑に行う上での関係機関、家庭との連携を強化した。

(4) 行事及び事業実施状況

① 利用者の状況

ア 定員 20人

イ 契約者数 19人

ウ 各月契約者数及び延べ利用人数

| 定員<br>20人 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 契約者数(人)   | 21  | 21  | 21  | 21  | 20  | 20  | 20  | 19  | 18  | 18  | 18  | 19  |       |
| 開所日数(日)   | 19  | 18  | 22  | 20  | 18  | 20  | 22  | 19  | 20  | 19  | 18  | 22  | 237   |
| 延べ利用人数(人) | 316 | 301 | 368 | 339 | 286 | 335 | 358 | 299 | 318 | 299 | 278 | 346 | 3,843 |

② レクリエーション活動（回数）

| 内容     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 創作     | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2   | 2   | 2   | 2  | 2  | 2  | 24 |
| 調理     | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3   | 3   | 3   | 3  | 3  | 3  | 36 |
| 音楽・ダンス | 3  | 4  | 4  | 3  | 3  | 3  | 3   | 3   | 4   | 4  | 3  | 3  | 40 |
| ゲーム    | 3  | 4  | 4  | 6  | 4  | 3  | 3   | 3   | 4   | 4  | 5  | 3  | 46 |

③ 外出・外部行事（忘年会・慰労会含む）

| 月   | 回数 | 外出内容・外出先  |
|-----|----|---|
| 4月  | 0  |   |
| 5月  | 0  |   |
| 6月  | 2  | イチゴ狩り※園内（Aグループ、Bグループ）   |
| 7月  | 2  | おやつ外出、Aグループ外出（浅虫方面：足湯、ゆ～さ浅虫）  |
| 8月  | 3  | おやつ外出、ジャガイモ掘り※園内（Aグループ、Bグループ）   |
| 9月  | 3  | おやつ外出、アニマルセラピー（Aグループ、Bグループ）   |
| 10月 | 7  | おやつ外出、アニマルセラピー（Aグループ、Bグループ）、ジャガイモ掘り（Aグループ）、Aグループ外出（動物愛護センター）、Bグループ外出（わくわくランド、りんごの里） |

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 11月 | 3 | おやつ外出、Aグループ外出（夏泊半島はくちょう探し）、Bグループ外出（八甲田神社、マクドナルド買物） |
| 12月 | 2 | おやつ外出、園内で忘年会                                       |
| 1月  | 2 | おやつ外出、Aグループ外出（小柳稲荷神社初詣、マクドナルド買物）                   |
| 2月  | 3 | おやつ外出、Aグループ外出（ジークフリード買物）、Bグループ外出（さつき寮きのこ狩り）        |
| 3月  | 2 | おやつ外出、園内で慰労会                                       |

④ 職員研修関係

法人内の研修を始め、県内外の各種研修等に職員を派遣し、支援スキルの向上と維持に努めた。

⑤ 広報関係

パンフレットを作成し、関係機関及び団体等に配布して利用の促進に努めた。

**【相談支援事業所あおば】（指定特定相談支援、障害児相談支援）**

**1 概況**

利用者一人ひとりの意思や人格を尊重し、個々のニーズに応じた支援を基本とし、その人らしく生きがいの持てる地域福祉の拠点として、更なる支援の充実を図った。

相談支援事業所では、利用者や家族がおかれている環境やニーズ等に応じた障害福祉サービス等をご利用いただくために、総合的な相談支援を行った。また、多様なニーズに応える包括的なサービス等利用計画を立てるために、地域の社会資源の開発を図り、行政や関係機関等と連携した。

**2 重点事項の実施状況**

運営の見直しに向けて、必要な情報収集を行うとともに、適正な契約者数の把握・検討を行った。

**3 事業の実施状況**

(1) 概要

- ① 障害者や障害児等が障害福祉サービスや障害児通所支援（児童発達支援や放課後デイサービス等）を利用する前に、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行った。
- ② 障害者等の福祉に関する全般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報（障害福祉サービス等）の提供及び助言を行った。

(2) 支援目標

- ① 利用者の人権尊重を基本とし、利用者や家族の意向や選択を尊重しながら、利用者一人ひとりの能力、適性、ニーズ等に基づいたサービス等利用計画の作成を行った。
- ② 地域又は関係機関との信頼関係を深め、連携を密に行なった。
- ③ 利用者や家族が地域で安心して生活するために、権利擁護及び社会資源を活用するための助言や情報提供を行った。
- ④ OJTのより良い実施のために、マニュアル等の整備の検討を行うとともに、自己研鑽に努め、相談支援専門員の資質の向上に努めた。
- ⑤ 新型コロナ感染予防のためマスク着用、手指消毒等感染予防に努め、業務を行っ

た。また、感染が拡大し、訪問や面談が困難な時期は、電話・郵送・オンライン等を活用し、利用者や家族、関係機関との連携に努めた。

(3) 利用状況及び事業の実施状況

| 事業名         | 契約件数  | サービス等<br>利用計画作成 | モニタリング |
|-------------|-------|-----------------|--------|
| ①指定特定相談支援事業 | 172 件 | 137 件           | 336 件  |
| ②障害児相談支援事業  | 43 件  | 55 件            | 83 件   |

(4) 職員研修関係

- ① 青森市相談支援事業所連絡会議（主催：青森市）に、行政及び他相談支援事業所との連携を図ることと業務に必要な情報収集を目的に参加した。

| 期 日       | 場 所               |
|-----------|-------------------|
| 7 月 30 日  | しあわせプラザ           |
| 9 月 23 日  | しあわせプラザ           |
| 10 月 20 日 | 青森男女共同参画プラザ「カダール」 |

※令和2年度はコロナ感染拡大の影響を受け、上記3回の開催であった。

- ② 法人内研修や県内の各種研修等に職員を派遣し、相談援助技術のスキルの向上に繋げた。

### Ⅲ 地域支援第二課

#### 【就労継続支援B型事業所はっこう】

##### 1 概 況

地域の中で利用者がその人らしく生きがいを持って生活できるよう、一人ひとりの意思や人格を尊重し、個々のニーズに応じた支援を行うよう努めた。

リサイクル班・ショップ班の2班体制を継続し、より魅力ある作業支援、余暇支援と安定した運営、工賃向上を目指して取り組んだ。

##### 2 重点事項の実施状況

- (1) 利用者の強みを伸ばす支援を支援計画に基づき行い、安全・快適な作業環境の提供に努め、平日の行事实施などで余暇支援の充実を図った。多くの利用者が参加し楽しんで活動できるよう取り組み、利用率については118%となった。
- (2) 作業班（リサイクル班、ショップ班）のより効率的な運営に向けた体制を検討しながら生産活動を行った。リサイクル班においては、空き缶プレス機を新たに1台導入し、より効率的な作業が可能となった。ショップ班においては、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、ランチの売り上げは提供予定食数の8割を超え、おおむね良好であった。
- (3) 作業内容を精査し、平均月額工賃の前年度比5%アップを目指したが、令和元年度の14,661円から14,825円へと約1%の上昇に留まった。

##### 3 事業の実施状況

###### (1) 定 員



20人

(2) 概要

一般就労が困難な方々に対して生産活動の場を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な作業支援を実施した。余暇支援の面でも、利用者のニーズに応じた様々な活動を企画し、利用者が参加しやすい環境を整えながら実施した。

(3) 支援目標

- ① 利用者一人ひとりのニーズに即した支援計画に基づき、強みを伸ばし、働く喜びを実感できる支援を行った。障害者就職面接会への参加については、新型コロナウイルス感染症の影響により面接会が中止となったことから実施できなかった。
- ② 作業場の清掃等維持管理に重点を置き、安全・快適に作業ができる環境を提供した。
- ③ 行事について、月1回程度の土日開所日を設けるとともに、より多くの利用者が参加できるよう平日に実施する機会を増やし、余暇活動の充実と社会参加の促進を図った。
- ④ 平均月額工賃の前年度比5%アップを目指し取り組んだ。
- ⑤ 地域や関係機関との連携を強化し、共生・共助の地域づくりを図った。しかし、例年行っている地域交流（町内会の清掃、しめ縄作り等）は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(4) 生産活動の状況

① リサイクル班

民間事業所及び合子沢町会、北蛸沢町会への回収を行い、主たる収入源であるアルミ缶の回収量が減らないよう努めた。また、地域との連携の一環として北蛸沢町会においては回収ボックスの洗浄を請け負い、年2回実施した。

請負部門は、清掃、外部受注の作業を行った。清掃作業は八甲学園内の清掃を受け持ち、毎日の園内清掃に従事した。

菜果部門は、畑作業で野菜等の栽培を行い、ショップ班の喫食事業の原材料として提供及び販売を行った。毎年11月に県からの委託事業として実施していた農福連携マルシェについては、準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が県内で見られ、やむを得ず中止とした。

外部受注部門は、青森市パークメンテから受注した5か所（平和公園、浜館公園、奥野中央公園、浜田中央公園、野木和公園）の花植え、水撒き、除草作業や、県民福祉プラザの植栽管理と雪囲い、市内10か所のグループホームの除雪等を行った。

② ショップ班（県民福祉プラザ2F こだわりの店『つぼみ』）

共同受注窓口体制事業で県内の福祉施設で作られた製品の販売のほか、喫食事業として1日限定40食のランチ提供と、共同生活援助事業所サンハウス入居者への食事販売を行った。また、メニュー・味・量等についての様々な意見をアンケート方式により把握し、より良い食事内容の提供に努めた。

(5) 事業実施状況

① 利用者の状況

| 区分           | 人数(人)      |
|--------------|------------|
| 定員           | 20         |
| 令和2年度開始時利用者数 | 26(男19・女7) |
| 令和2年度終了時利用者数 | 25(男19・女6) |

② 各班の売り上げ状況

| 作業班           | 売上げ(円)     |
|---------------|------------|
| リサイクル班        | 4,170,088  |
| リサイクル班 (請負部門) | 3,273,880  |
| ショップ班         | 13,285,840 |
| 計             | 20,729,808 |

③ 工賃支給状況

| 区 分             | 金額(円)  |
|-----------------|--------|
| 支給合計 (1人当たり年平均) | 14,825 |

④ 行事等

| 月   | レクリエーション<br>(開所日・行事) | その他<br>(地域交流等) |
|-----|----------------------|----------------|
| 4月  |                      |                |
| 5月  |                      |                |
| 6月  |                      |                |
| 7月  | ドライブ                 |                |
| 8月  | ピクニック                |                |
| 9月  | スポーツの会、収穫祭           |                |
| 10月 | 紅葉ドライブ               |                |
| 11月 | DVD映画鑑賞              |                |
| 12月 | 調理実習、忘年会             |                |
| 1月  | 初詣                   |                |
| 2月  | 節分                   |                |
| 3月  | 慰労会                  |                |

※6月までは新型コロナウイルスの関係で実施せず、7月以降は感染症対策に配慮して開催した。

⑤ 職員研修関係

新型コロナウイルス感染症の影響により、法人内研修への参加が中心となったものの、市内開催の各種研修等にも職員を派遣し業務に必要な支援スキルの向上に努めた。

⑥ 広報関係

広報「八甲学園だより」に事業所の取組や行事等についての内容を掲載した。また、パンフレットを作成し見学者や実習生等に配布したが、利用率の面からこれ以上の利用者数増が見込めないため、外部への積極的な事業所PRは行わなかった。

【共同生活援助事業所サンハウス】

1 概 況

グループホーム利用者が地域で安心して暮らし続けられるよう、関係機関と連携し、社会資源を活用しながら支援の充実を図った。

2 重点事項の実施状況

(1) 空室があるときは利用者獲得に積極的に取り組み情報収集に努めた。見学・体験利用の受入れ体制についても整備し、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら実

施した。また、次年度からの入居予定者も決定しており、早い段階で入居率が100%となる見通しを立てた。

- (2) 特に老朽化の著しいGH数棟の移転に向け不動産物件の情報収集、選定を行った。市内桂木地区にGHとして使用に適した戸建物件があったため移転先として決定した。老朽化の著しいGHのうち、古館地区の「うとうハイム」を令和2年度末で廃止し、令和3年4月1日付で桂木地区の物件を使用した「第六サンハウス」を開設することとなった。
- (3) 世話人の研修参加に力を入れるとともに、OJT、OFF-JT、GHごとの業務マニュアル整備等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり外部研修への参加は困難であったが、DVD等を活用し障害についての理解を深めた。GHごとの業務マニュアルは、各世話人が様式を作成し使用することで改めて業務内容を整理する機会とし、作成後も必要に応じて見直すことで支援の質の向上を図った。

### 3 事業の実施状況

#### (1) 定員

55人

#### (2) 概要

利用者が地域で自立し充実した生活を送ることができるよう、ニーズを的確に把握し、個別支援計画に基づいて支援員・世話人が共通認識を持ちながら、相談、食事の提供や金銭管理、健康管理、その他の必要な日常生活上の支援の提供に努めた。

#### (3) 支援目標

- ① 利用者の主体性を尊重し、意思やニーズに応じたサービスを提供した。
- ② 利用者が地域社会の一員として安心して生活できるよう、就労先や日中活動の場、相談支援事業所、市町村等の各種関係機関と連携し支援した。
- ③ 利用者の心身の状態を把握し、医療機関との連携に努め、健康管理に配慮した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、手指消毒やマスクの使用、外出自粛を促すなどの対策を随時行った。
- ④ 食事提供において、栄養士監修によるバランスの取れたメニューの提供を行い、各グループホーム間のサービスの質の均一化を図った。
- ⑤ 防災計画に基づき火災、風水害を想定した避難訓練を実施し、各種災害への意識を高め、安全対策に取り組んだ。
- ⑥ 利用者の会「はっぴい」の活動を通じて余暇活動の充実を図ることを目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため行事の実施が困難であり、開催できたのは感染症対策に配慮し行った新年会のみであった。利用者には、外出せずに楽しむことができる余暇活動について助言した。
- ⑦ 青森グループホーム連絡協議会における各部会活動に積極的に参加し、利用者の余暇活動の充実、職員の支援技術の向上、事業所間の交流を図ることを目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動できなかった。
- ⑧ 見学・体験利用の受入れ体制を整備し、積極的に受け入れた。
- ⑨ 老朽化した建物の移転に向け不動産物件の情報収集、選定を行い、令和3年4月1日付で一軒が移転予定となった。
- ⑩ 研修参加、OJT、OFF-JT、GHごとの業務マニュアル整備等により、支援の質の向上を図った。

#### (4) 事業実施状況

① グループホームの設置状況

| 名 称 (地 区)      | 設置年月日      | 定員(人) |
|----------------|------------|-------|
| ① サンハウス(緑)     | 平成5年 4月1日  | 6     |
| ② 第二サンハウス(蛭沢)  | 平成6年 4月1日  | 5     |
| ③ 第三サンハウス(新城)  | 平成8年 4月1日  | 5     |
| ④ 第五サンハウス(幸畑)  | 平成25年12月1日 | 5     |
| ⑤ 旭ハウス(大野)     | 平成21年 4月1日 | 5     |
| ⑥ うとうハイム(古館)   | 平成13年10月1日 | 5     |
| ⑦ 第二うとうハイム(筒井) | 平成22年 4月1日 | 5     |
| ⑧ おくのハウス(奥野)   | 平成25年12月1日 | 9     |
| ⑨ 紅葉ハウス(新城)    | 平成24年10月1日 | 5     |
| ⑩ 第二紅葉ハウス(新城)  | 平成25年11月1日 | 5     |
| 合 計            |            | 55    |

② 利用者の状況

| 内 容           | 人数(人)        |
|---------------|--------------|
| 定 員           | 55           |
| 令和2年度当初利用者数   | 53 (男40・女13) |
| 令和2年度内の利用終了者数 | 3 (男3・女0)    |
| 令和2年度内の利用開始者数 | 0 (男0・女0)    |
| 令和2年度末現在の利用者数 | 50 (男37・女13) |

③ 行事等

| 月   | 内 容            | 地域行事 |
|-----|----------------|------|
| 4月  |                |      |
| 5月  | 避難訓練           |      |
| 6月  |                |      |
| 7月  |                |      |
| 8月  |                |      |
| 9月  |                |      |
| 10月 |                |      |
| 11月 |                |      |
| 12月 | 避難訓練           |      |
| 1月  |                |      |
| 2月  | 利用者の会「はっぴい」新年会 |      |
| 3月  |                |      |

※令和2年度はコロナ感染拡大の影響を受け、上記3回の開催であった。

④ 職員研修関係

新型コロナウイルス感染症の影響により、法人内研修への参加が中心となったが、世話人会議でもDVDを活用し他研修に参加する等、支援スキルの向上に努めた。

⑤ 広報関係

広報「八甲学園だより」に事業所の取り組みや行事等についての内容を掲載した。また、各グループホームの写真等を掲載したパンフレットを作成し、見学者や関係機関及び団体等に配布して事業所のPRに努めた。

### 第3 養護老人ホーム安生園

#### 1 概況

事業所の運営にあたっては、「当事業団の経営理念、職員倫理綱領」及び「安生園の基本理念」を遵守し、養護老人ホーム安生園・ヘルパーステーションあんじょう・居宅介護支援センターあんじょうが常に連携し、利用者の生活支援を推進してきた。

安定的運営基盤を確保するために必要な利用率向上に向けた広報活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止により実施を控えた。

また、今般の感染拡大状況を踏まえ、安生園の感染症対策強化を図り、利用者が安全に生活を送れるようスタンダードプリコーション（標準予防策）の徹底に努めた。

#### 2 職員の状況

| 所属         | 養護老人ホーム         | ヘルパーステーション | 居宅介護支援センター | 計  |
|------------|-----------------|------------|------------|----|
| 職員数<br>(人) | 23<br>(嘱託医2人含む) | 11         | 4          | 38 |

#### I 養護老人ホーム安生園

##### 1 概況

養護老人ホーム安生園は、昭和26年の開設以来、老人福祉法の基本理念に基づいた施設運営と、利用者の権利擁護と意思決定を尊重し、個々の支援計画に基づいた生活支援に努めてきた。利用者の生活支援では、潤いと生きがいのある生活をしていただくため、個々に要望を聴き取るとともに自治会代表者会議等で意見を求め、各行事に要望等を反映させて生きがい支援の充実に努めた。

令和2年度の措置入所は、青森市11人であり、退所は、3市町村13人であった。利用者の高齢化（平均年齢80.6歳、80歳以上55人）により、介護を必要とする利用者は要支援・要介護者合わせて63人となり、介護保険サービスの利用は、外部・内部合わせて82人（重複計上）であった。身体機能の低下のほか、認知症、病弱、精神疾患のある方やDV、触法など、ニーズの多様化と複雑化が顕著であり、従来の見守り支援からきめ細かな専門的な支援が必要となっている。特に近年は、転倒防止用歩行器やシルバーカーの利用、福祉手摺りの設置などの対策を講じなければならない利用者が増えてきた。

リスクマネジメントでは、令和2年度のヒヤリハット・アクシデントが155件、うち103件が転倒であり、転倒怪我による措置機関への事故報告事案は9件であった。転倒は大きな事故に繋がることから、利用者及び職員への注意喚起を徹底するなど転倒防止に努めてきた。また、病弱者の医療面においても早期から医療機関と連携を図りながら、利用者の健康と身体機能の維持に努めた。

地域交流については、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、園行事などでの地域の方々との交流を実施することを控えた。

令和元年度から継続して食品ロス軽減の『コープフードバンク活動』による農産品の提供を受け、すこやか苑とともに活用し、利用者の食事やおやつとして提供することができた。

## 2 重点事項の実施状況

### (1) 安定的経営基盤の確保

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者獲得に向けた市内全域の公営住宅や近隣町会へのポスティングの実施を控えた。同様に、地域包括支援センター等の関係機関への訪問も控え、電話の照会等を活用して利用者獲得に向けたPRを実施した。

継続して取り組んできたPR活動の成果は顕著に表れ、一時は待機者が生じるまでになり青森市から11人が入所につながった。

### (2) 改築の検討

改築に向け管轄である青森市高齢者支援課から情報収集したが、現時点では今後の見通しが持てない状況との見解であった。このことから、改築・修繕に向けた積立を行うほか、利用者の住環境の整備に努めた。

### (3) 福祉サービス第三者評価の受審

青森県社会福祉士会に依頼して第三者評価を受審した。

「経営状況の把握」と「福祉サービスの質の確保」で高い評価を得た半面、「プライバシーの保護」で居室環境などハード面に難しい課題が残る結果となった。

### (4) フレイル予防の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部講師や交流活動を控え、主として少人数での園芸活動や創作活動、園内行事などを実施した。中でも「まぐろ祭り」では普段見られない生き生きとした利用者の笑顔と旺盛な食欲を目にすることができ、フレイル予防での「食」の重要性を認識できた。

また、利用者全員を対象として骨密度調査を実施し、骨年齢を把握し健康維持に努めた。

### (5) 非常災害・感染症対策の強化

今年度は、安生園災害マニュアルを整備し、規模を縮小して非常災害時の炊き出し訓練と、風水害を想定した訓練を実施した。炊き出し訓練に参加した職員は、マニュアルに沿って円滑に訓練でき、一定の成果を得ることができた。また、風水害を想定した訓練では、初めて簡易担架を使用して利用者を2階へ移動させる避難誘導訓練を実施し、昇降時の搬送方法等の手順確認ができた。

## 3 職員の状況

|            | 園長 | 推進監 | 課長 | 主任 | 副主任 | 支援員<br>事務員 | 看護師<br>栄養士 | 業務<br>補助員 | 専任<br>当直員 | 嘱託医 | 計  |
|------------|----|-----|----|----|-----|------------|------------|-----------|-----------|-----|----|
| 総務課        | 1  |     | 1  |    |     | 1事務        | 1看護<br>1栄養 |           | 3         | 2   | 10 |
| 高齢者<br>支援課 |    | 1   | 1  | 2  | 2   | 6支援        |            | 2         |           |     | 14 |
| 計(人)       | 1  | 1   | 2  | 2  | 2   | 7          | 2          | 2         | 3         | 2   | 24 |

## 4 利用者の状況

### (1) 入退所者数

|                 |      |
|-----------------|------|
| ① 定員            | 100人 |
| ② 令和元年度末現在の利用者数 | 97人  |
| ③ 令和2年度内退所者数    | 13人  |
| ④ 令和2年度内入所者数    | 11人  |
| ⑤ 令和2年度末現在の利用者数 | 95人  |

(2) 市町村別入退所内訳等

|               | 内 訳                                    | 事 由  |
|---------------|--|--|
| 入 所<br>計 11 人 | ・青 森 市 11 人                            | ・在 宅 者 6 人<br>・病院退院者 1 人<br>・触 法 者 2 人<br>・施設移行者 2 人 |
| 退 所<br>計 13 人 | ・青 森 市 11 人<br>・外ヶ浜町 1 人<br>・中 泊 町 1 人 | ・施設移行者 5 人<br>・死 亡 者 5 人<br>・長期入院者 2 人<br>・地域復帰者 1 人 |

(3) 介護認定状況等

| 介護度 | 要支援 1~2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4~5 | 計  |
|-----|---------|-------|-------|-------|---------|----|
| 人 数 | 11      | 34    | 14    | 3     | 1       | 63 |

(4) サービス利用状況

| 項 目    | サービス内容      | 利用者数 |
|--------|-------------|------|
| 外部サービス | デイサービス、ヘルパー | 34 人 |
| 内部サービス | ヘルパー、福祉有償運送 | 48 人 |
| 計      |             | 82 人 |

5 入所相談・見学状況

|      |      |
|------|------|
| 相談件数 | 58 件 |
| 見学件数 | 29 件 |

6 事業の実施状況

(1) 行事等

| 名 称           | 実施時期等   | 参加人数    | 備 考                            |
|---------------|---------|---------|--------------------------------|
| 各寮懇談会         | 月 1 回   | 延 468 人 |                                |
| 音楽療法          | 休 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止         |
| 観桜会           | 4/20    | 70 人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小         |
| 3B体操          | 休 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止         |
| 自治会代表者会議      | 年 4 回   | 延 28 人  |                                |
| コーヒーサロン       | 年 2 回   | 延 87 人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員が対応      |
| ビデオ上映         | 年 14 回  | 延 131 人 |                                |
| 出張販売 (6 業者)   | 週 1~2 回 |         | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化して実施      |
| お買い物イベント      | 中 止     | 0 人     |                                |
| 利用者との集い (4 月) | 4/ 1    | 42 人    | 転入職員紹介                         |
| 自治会総会         | 4/ 1    | 42 人    |                                |
| 輪投げ大会         | 6/12    | 46 人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施  |
| 地域交流懇談会       | 中 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止         |
| 納涼夏祭り         | 8/ 7    | 122 人   | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施  |
| 盆墓参り          | 8/ 7    | 6 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施。 |
| 敬老会           | 9/16    | 84 人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施  |
| 市内遊覧          | 中 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止         |
| 七日日ねぶた観覧      | 中 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止による、ねぶた祭り中止のため |
| ミニ運動会         | 10/29   | 35 人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施  |
| リフレッシュ日帰り旅行   | 中 止     | 0 人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止         |
| 文化祭           | 11/12   | 56 人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、喫茶コーナーのみ実施 |

|             |       |     |                                     |
|-------------|-------|-----|-------------------------------------|
| 年忘れお楽しみ会    | 12/16 | 0人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。折り詰めと景品の配布を実施 |
| 餅つき会        | 中止    | 0人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止              |
| 節分豆撒き       | 2/1   | 39人 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化して実施           |
| 物故者慰霊祭      | 3/4   | 27人 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化して実施           |
| まぐろ祭り       | 3/18  | 88人 | ※各種行事が中止となり特別開催                     |
| 利用者との集い(3月) | 3/29  | 52人 | ※転出職員紹介                             |

## (2) クラブ活動

| 名称        | 実施回数 | 参加者数   | 備考                     |
|-----------|------|--------|------------------------|
| 茶道クラブ     | 0回   | 0人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止 |
| 華道クラブ     | 3回   | 延 20人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止 |
| 書道クラブ     | 1回   | 延 5人   | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止 |
| チェアヨガ     | 0回   | 0人     | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止 |
| 園芸クラブ     | 15回  | 延 89人  | ※フレイル予防対策として新設         |
| 大相撲星取りクラブ | 年5回  | 延 83人  |                        |
| カラオケクラブ   | 14回  | 延 131人 |                        |

## (3) 地域交流

| 団体等名称       | 交流内容              | 実施時期 | 備考                     |
|-------------|-------------------|------|------------------------|
| 虹ヶ丘町会       | 虹ヶ丘町会夏祭り          | 中止   | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 |
| 北赤坂町会宝寿会    | 利用者交流会<br>(輪投げ大会) | 中止   | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 |
| 自由ヶ丘老友ほのぼの会 |                   |      | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 |

## (4) 保健衛生

| 内容                           | 実施時期等            | 人数等   | 備考                     |
|------------------------------|------------------|-------|------------------------|
| 身長測定                         | 4/9              | 全員    |                        |
| 血圧・体重測定・検温                   | 月1回              | 全員    |                        |
| 入浴                           | 週3回              | 全員    | 男性：月・水・金<br>女性：火・木・土   |
| 通院(村上病院他)                    | 週間計画表により実施       | 対象者   |                        |
| 結核健診                         | 4/2              | 96人   |                        |
| 春・秋の基本健診<br>(理学的検査・尿・血液・心電図) | 5/13             | 93人   |                        |
|                              | 11/5             | 99人   |                        |
| 嘱託医による講話                     | 11/28、3/17       | 延 47人 |                        |
| 歯科検診(前期)                     | 4/8、4/15、4/22    | 89人   |                        |
| 歯科検診(後期)                     | 10/21、10/28、11/4 | 90人   |                        |
| 歯科衛生指導                       | 中止               | 0人    | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 |
| 内科問診及び<br>インフルエンザ予防接種        | 10/16            | 98人   | 嘱託医                    |
| 嘱託医による医療相談                   | 月2回              | 対象者   | 内科                     |
| 嘱託医による診察                     | 月1回              | 対象者   | 精神科                    |
| 感染症対策委員会                     | 年4回              |       |                        |
| 春の大掃除                        | 6月               |       |                        |
| 秋の大掃除                        | 12月              |       |                        |

※外部事業所での新型コロナウイルス感染症の発生により、安生園関係者にも感染者が発生した。12/24・25の2日間、利用者、職員、委託業者の計164人のPCR検査を実施した結果、全員陰性であった。



(5) 防災訓練及び安全対策

| 内 容       | 実施時期等 | 参加人数 | 備 考                              |
|-----------|-------|------|----------------------------------|
| 交通安全教室    | 中 止   | 0 人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止           |
| 夜間想定防災訓練  | 8/12  | 63 人 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域防災協力隊は、不参加 |
| 夜間防災訓練    | 2/24  | 56 人 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施    |
| 災害時炊き出し訓練 | 11/2  | 65 人 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員で実施    |
| 風水害訓練     | 11/2  | 65 人 | 安生園 2 階へ避難                       |

※ 新型コロナウイルス感染症対策により、安生園利用者及び職員での訓練とした。また、開催時期についても、青森市の感染状況を見ながら実施した。

(6) 交流・ボランティア

① 交流（慰問）

| 団体等名称    | 内 容        | 実施時期等 | 備 考               |
|----------|------------|-------|-------------------|
| 青森県立保健大学 | 夏祭りねぶた合同運行 | 8/4   | 夏祭り実行委員会学生・利用者・職員 |
| 青森県立保健大学 | 三味線演奏      | 11/29 | 学生 9 人            |

※ 青森県立保健大学との交流については、事前に 2 週間前からの健康状況や県外への移動自粛等の感染対策を講じてもらった上で実施した。

※ 例年交流していた幼稚園・保育園・短大など、事前の新型コロナウイルス感染症対策が難しい団体については、全て中止とした。

② 招 待

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

③ ボランティア

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(7) 地域福祉関係

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(8) 職員研修関係

| 内 容              | 実施時期  | 参加人数 | 備 考                      |
|------------------|-------|------|--------------------------|
| 「救命講習」及び「誤嚥時の対応」 | 中 止   | 0 人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止 |
| 介護保険研修           | 9/23  | 19 人 |                          |
| 認知症理解促進研修        | 12/10 | 19 人 | 芙蓉会病院 村上拓也院長             |
| 虐待防止と権利擁護        | 3/11  | 20 人 | 東部地域包括支援センター 佐藤祐亮氏       |
| 安生園職員研究発表会       | 中 止   | 0 人  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止 |

(9) 苦情解決事業関係

| 内 容     | 実施時期等 | 備 考                                  |
|---------|-------|--------------------------------------|
| 第三者委員相談 | 月 1 回 | ※4、5、6、12 月は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止 |
| 苦情解決協議会 | 年 4 回 | ※7 月、10 月、1 月、3 月実施                  |

(10) 実習・実務研修等受入

| 依頼元（実習内容）                  | 受入期間       | 人 数 |
|----------------------------|------------|-----|
| 青森県社会福祉協議会<br>（青森大学介護体験実習） | 11/30・12/1 | 2 人 |

※ 事前に 2 週間前からの健康状況や県外への移動自粛等の感染対策を講じてもらった上で、受入れを実施した。

(11) 食品ロス軽減活動

「コープフードバンク活動」とは、品質には何ら問題のないものの、やむなく廃棄されてしまう食品をコープが製造業者から無償で提供を受け、支援を必要とする福祉分野の施設・団体に必要な食品を寄贈し、食品を有効に活用する活動である。安生園でもこの活動により定期的に食品の提供を受け、利用者の方々への食事提供へ有効活用した。

| 月 日          | 提供生鮮食品類   | 使用用途                                 |
|--------------|---|--------------------------------------|
| 4月6日(月)      | ◎野菜類<br>(白菜、キャベツ、ほうれん草、人参、ジャガイモ、里芋、青梗菜、等)<br>◎フルーツ類<br>(バナナ、キウイ、リンゴ等)<br>◎キノコ類<br>(椎茸、しめじ、えのき、なめこ等) | 安生園・すこやか苑に入所する方々への食事や、おやつとして提供し活用した。 |
| 5月4日(月) 祝日   |   |                                      |
| 6月8日(月)      |   |                                      |
| 7月13日(月)     |   |                                      |
| 8月17日(月)     |   |                                      |
| 9月21日(月) 休日  |   |                                      |
| 10月26日(月)    |   |                                      |
| 11月30日(月)    |   |                                      |
| 1月11日(月) 休日  |   |                                      |
| 2月15日(月)     |   |                                      |
| 3月22日(月)     |   |                                      |
| 12月11日(月) 休日 |   |                                      |

## Ⅱ 老人居宅介護等事業安生園（ヘルパーステーションあんじょう）

### 1 概況

サービス利用実績は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度実績を下回る結果となった。要介護利用者数は、前年比延べ450人減、収入では1,634千円減となった。介護予防利用者数は、前年比197人増、収入で560千円増となったが、合計では1,074千円の減収となった。12月下旬から1月中旬にかけてサービス提供を休止せざるを得ない期間が続いたことが減収に繋がった。

福祉有償運送事業においても同じ影響を受け、介護タクシーは通院や買物の提供ができない期間が続き、前年比47千円減となったが、介護保険外サービスである福祉タクシーの利用率は増え前年比78千円増となり、収入は全体で前年比30千円の増となった。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 安定的経営基盤の確保

年間平均契約数は60.3人となり、目標の80人には届かなかった。安生園内でサービスを利用されている方のニーズの掘り起こしを行い、実績向上を目指した。

また、12月に訪問介護員1人が退職したものの、3月に補充でき体制を維持できた。

#### (2) 職員の資質向上

外部研修を受講できない状況が続いたため、事業所内研修を毎月実施して各職員のスキルアップを図った。

### 3 職員の状況

| 職名 | 管理者兼サービス提供責任者 | サービス提供責任者 | 訪問介護員 | 計  |
|----|---------------|-----------|-------|----|
| 人数 | 1             | 1         | 10    | 12 |

### 4 事業の実施状況

#### (1) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

| 合計       |            | 訪問介護     |            | 予防介護     |           |
|----------|------------|----------|------------|----------|-----------|
| 延利用人数(人) | 請求書発行額(円)  | 延利用人数(人) | 請求書発行額(円)  | 延利用人数(人) | 請求書発行額(円) |
| 6,694    | 22,547,649 | 6,240    | 21,139,820 | 454      | 1,407,829 |

#### (2) 福祉有償運送事業

| 内容       | 福祉タクシー | 介護タクシー  |
|----------|--------|---------|
| 走行距離(km) | 420.9  | 3546.5  |
| 利用人数(人)  | 52     | 1,106   |
| 輸送回数(回)  | 50     | 1,155   |
| 収入(円)    | 90,480 | 405,000 |
| 収入合計(円)  |        | 495,480 |

### Ⅲ 居宅介護支援事業安生園（居宅介護支援センターあんじょう）

#### 1 概況

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため新規利用者獲得のためのPR活動は実施できず、外部利用者の訪問やカンファレンスを工夫して業務にあたることとなった。

年度途中から職員1人が産休・育児休業となり、その補充ができず欠員が生じたことで主任介護支援専門員を含む介護支援専門員4人体制から3人体制となった。このことにより、特定事業所加算ⅡからⅢに変更し、加算取得単位数減少の影響が出た。しかし、利用実績は連携する外部介護事業所等からの新規利用者の紹介もあり、前年度比延べ1,127人に対し1,171人と44人増となり、居宅介護支援費では845千円の増収となった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの研修が中止になったものの、Zoomを活用してのリモート研修の受講と、毎週開催する内部定例会議の事例検討等で、職員の質の向上に努めた。

#### 2 重点事項の実施状況

##### (1) 安定的経営基盤の確保

令和2年度は、異動による未経験職員の配置と後期に介護支援専門員の欠員が生じたことで、要支援者のケアマネジメント及び認定調査を一時休止し、要介護者のケアマネジメントを集中して行った。欠員職員の担当利用者を3人の介護支援専門員が分担し、ケアマネジメントの継続と経営維持に努めた。

また、連携する事業所からの紹介による新規利用者獲得もあり、経営状態を維持することができた。

##### (2) 職員の資質向上

新型コロナウイルス感染症の影響で、外部研修を受講する機会が少なかったものの、毎週の定例会議を利用して「令和3年度報酬改定内容」等の制度理解と事例検討会を繰り返すことにより、職員の資質向上ができた。

#### 3 職員の状況

| 職名  | 管理者<br>(主任介護支援専門員) | 介護支援専門員 | 計 |
|-----|--------------------|---------|---|
| 職員数 | 1                  | 2       | 3 |

#### 4 事業の実施状況

| 合計               |                   | 居宅介護計画           |                   | 予防介護計画           |                   | 認定調査             |                  |
|------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 延利用<br>人員<br>(人) | 請求書<br>発行額<br>(円) | 延利用<br>人員<br>(人) | 請求書<br>発行額<br>(円) | 延利用<br>人員<br>(円) | 請求書<br>発行額<br>(円) | 延利用<br>人員<br>(人) | 請求書<br>発行<br>(円) |
| 1,187            | 20,287,800        | 1,187            | 20,287,800        | 0                | 0                 | 0                | 0                |

## 第4 障害者総合福祉センターなつどまり

### 1 概況

当センターにおいては、各寮において定めた「基本理念」、「基本方針」とともに、昨年策定し今年度初年度の「基本計画」及び「事業計画」に則って運営管理に当たった。引き続き、利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、その人らしい豊かな人生を自己実現できるよう利用者や家族等の思いに寄り添った支援に努めた。特に、権利擁護や虐待等不適切支援の防止に向けては、法人内研修はもとより、施設内研修を強化し、職員の倫理意識向上に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症予防においては、手指消毒・マスク着用・検温等の徹底、3密回避、外来者を制限したほか、各種行事や外出（帰宅）については中止や規模を縮小して実施した。中でも、家族等との面会については、ガラス越し面会や個別面会に切り替えて実施したものの、青森市内や地元町内での感染者発生により、11月中旬からは特別の理由がある場合を除き、面会を制限し対応した。また、感染者が発生した場合、旧館を感染者隔離棟や職員宿泊所として使用するマニュアルの策定とともに、旧館居室等の床張り替え、エアコン設置、トイレ等の設備改修を行った。

人材確保については、離職者や産休・育休などによる欠員のため、積極的に職員募集を行ったものの、補充できず引き続き喫緊の課題となった。一方、働きやすい職場環境の整備として、管理者等との定期的な面談、エルダー制度に基づく人材育成、メンタルヘルス、職員の健康管理の把握等に努め、また、勤怠管理システムの導入、公用車へのドライブレコーダー設置など業務の負担軽減を図った。

施設整備については、敷地内周道路近辺の朽ち木伐採や駐車場の白線引きなどを行い、安心・安全な環境を整えた。また、業者に依頼せず職員が協力して行い、安価で速やかに実施することができた。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 重度・高齢利用者に対する支援の充実

著しい行動障害がある利用者支援として、関係機関のコンサルテーションや必要な研修会をできる限り多数参加させて、専門性の向上と個別支援の充実に努めた。

#### (2) 人材の育成及び定着

新採用者にはエルダー制度での支援のほか、職員には面談シートを用いた面談を年3回実施し各職員の目標や課題を明確にしながら、育成及び定着を目指した。その結果、離職率は4.8%と前年比-1.7%に留めることができた。また、新採用者の離職率は0%となった。

#### (3) 生活支援サービスの充実及び生活支援環境の整備・向上

日中活動の充実を図るため、実施場所を旧館に変更することで、個別ニーズや特性に応じた活動やアニマルセラピーによる触れ合いと癒しの体験ができた。

新型コロナウイルス感染症流行により、定期的に行われていた家族等との「面会日」の代わりに、希望を募った「ガラス越しの個別面会」「旧館での個別面会」に切り替えて実施した。さらに、感染症罹患者が発生した場合の想定の下、旧館内の改修工事、感染症対応マニュアルの整備を行った。

#### (4) 職員の健康管理と労務管理の徹底

##### ① 労災事故0件を目指す

労災事故は、通勤途中での自動車事故が2件、利用者支援中の怪我が4件発生した。中でも車椅子からの移乗介助時が3件あり、腰痛予防も含めた介護技術の向上が課題となった。

- ② 年次有給休暇（1人年6日以上）とリフレッシュ休暇取得推進  
年次有給休暇5日取得義務化に伴い職員の取得状況を管理しながら推進した結果、年次有給休暇取得は平均7.9日となり目標の6日以上の取得は達成した。
- ③ タイムレコーダー導入による労働時間の適正把握  
出退勤の時間が明確になり、自らの労働時間を都度意識しながら業務にあたることができた。

### 3 職員の状況

| 所属<br>(職員数) | 所長 | 寮長       | 課長 | 主任 | 副主任<br>支援員・看護師 | 支援員 | 看護師 | 事務員 | 栄養士 | 運転員 | 専任<br>当直員 | 合計        |
|-------------|----|----------|----|----|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-----------|
| 総務課         | 1  |          | 1  |    |                |     |     | 2   | 2   | 1   | 3         | 10        |
| しらかば寮       |    | (1)      | 2  |    | 7              | 38  |     |     |     |     |           | 47<br>(1) |
| さつき寮        |    | 1        |    | 2  | 4※             | 21※ | 1   |     |     |     |           | 29        |
| 合計          | 1  | 1<br>(1) | 3  | 2  | 11             | 59  | 1   | 2   | 2   | 1   | 3         | 86<br>(1) |

※ 嘱託医は除く。

※ 所長はしらかば寮長を兼務する。

※ さつき寮の副主任支援員・支援員に相談支援事業所分を含む。

### 4 職員研修

新型コロナウイルス感染症予防対策により、外部研修受講の機会は少なかったが、オンライン研修は必要に応じてできる限り受講した。職場内研修会（虐待防止研修、感染症予防研修等）や研究発表会についても、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて計画的な取組を実施し、福祉サービスの質の向上及び職員の資質向上を図った。

また、職員個々の資格取得研修（サービス管理責任者研修、強度行動障害研修等含む）を推奨し、人材育成に積極的に努めた。

### 5 健康管理

健診や癌検診（30歳以上の女子利用者には子宮癌検診、20歳以上の女子利用者には乳癌検診、40歳以上の利用者には胃癌及び大腸癌検診）を実施するとともに、嘱託医（精神科）や医療機関、並びに家族とも連携しながら、疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症を最優先としながら、従来の感染症予防対策としてインフルエンザワクチンの予防接種、手洗い、うがい等に加え、マスク着用、3密回避、検温等により、職員を含めた予防対策を強化徹底するとともに、正面玄関には顔認証機能付き検温器を設置し体調管理に努めた。

### 6 食事

食事は施設生活における大きな楽しみの一つであることから、食堂内の装飾を工夫したりBGMを流したりするなどし、家庭的な雰囲気の中で楽しくゆっくりくつろいだ食

事ができるよう配慮した。

季節の食材を取り入れた多彩な献立（新メニュー等）や暦行事に合わせた行事食等の提供に努めたほか、利用者の嗜好、身体状況（咀嚼能力等）に配慮しながら、様々な食事形態や食事場所を準備して個別の対応を行った。ソフト食の導入に向けて、勉強会やサンプルの試食をし、提供の仕方やメニュー等について検討した。

特に、しらかば寮においては栄養ケア・マネジメントを継続して実施し、利用者の栄養・健康状態に努めた。

## 7 安全・防犯・防災対策

### (1) 安全対策

- ① 利用者の安全確保を最優先として、安心・安全な日常生活が送れるように各種マニュアルの周知徹底を図るとともに、アクシデントレポート等の速やかな報告と検討内容による対応策を講じた。
- ② 外部からの不審者等侵入に対する危機管理の観点から、「危機管理体制マニュアル（不審者対応）」の作成及び周知徹底を図るとともに、不測の事態を想定した不審者等に対する防御用具の使用方法及び対応・実技について警察官の協力を得て訓練を実施した。

### (2) 防災管理

- ① 新採用者及び転入職員等に対し、消火器や防災監視盤の使用方法など非常時に対応できるよう防災教育を行った。
- ② 消防計画に基づいた消防訓練の実施及び水害・土砂災害を含む非常災害時に備え、土砂災害を想定した避難訓練を実施するなど利用者誘導體制の強化に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、避難場所を分散し3密を避けて実施し、例年、地域防災協力隊と共に実施していた消防（避難）訓練や炊き出し訓練は、中止した。

## 8 実習・ボランティアの受入れ

新型コロナウイルス感染症流行により、実習受入れの依頼はなく対応に至らなかった。また、なつどまり祭などの行事は、外部との交流をできる限り避け施設内だけの小規模な開催としたため、ボランティアの受入れもしなかった。

## 9 地域社会との連携

地域住民との連携や交流促進におけるボランティアの受入れや地域行事への参加については、新型コロナウイルス感染症予防対策のため実施しなかった。

なお、共生社会の実現と社会貢献に積極的に取り組む必要があることから、平内町地域自立支援協議会、平内町健康・福祉推進協議会及び地域ケア会議等へは引き続き積極的に参画し、地域の福祉ニーズを把握しながら地域との連携を図った。令和3年度は、平内町地域生活支援拠点事業における相談機能を受託することになった。

## I 障害者支援施設「しらかば寮」

### 1 概況

令和2年度においては、寮の「基本理念」の下、利用者の人権尊重と権利擁護の推進、個々の有する能力及び適性に応じ自立した日常生活や社会生活が営めるよう支援の充実に努めた。

特に利用者の重度化や高齢化が進み、介護ニーズや医療ニーズが高くなっていることから、それぞれの支援においては、利用者にあったペース、体力、安全などを考慮しながら、また、身体状況の変化や機能低下が著しい利用者には、迅速に医療機関とも連携しながら適切な対応に努めた。

しかし、令和2年度は10人の利用者が入院（1か月以上の入院者が6人）となり、うち2人の男性利用者が病院で亡くなった。

新型コロナウイルス感染症予防対策においては、高齢の方、基礎疾患を持つ方が多く、しかもマスク着用や3密回避などの感染症対策を取れない状況にあることから、まずは職員側がより一層の危機感を持ち、感染症を持ち込まないよう感染防止対策に重点的に取り組んだ。また、家族及び外来者を制限するとともに、行事等の中止や延期、実施可能なものについても規模を縮小するなどして対応した。

経営状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者が帰宅等できなかったことから、平均利用率が96%を上回り、例年より高い収入の確保となった。コロナ関連の修繕費や備品の購入などにより支出面も増えたが、比較的安定した経営を維持できた。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 重度・高齢利用者に対する支援の充実

- ① 行動障害が著しい利用者への支援として、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら関係機関のコンサルテーション、各種研修会（強度行動障害者支援者養成研修：基礎、実践）へ積極的に参加し適切な支援と専門性を高め、個別支援の充実に努めた。
- ② 高齢利用者の老化対策として、関係機関と連携を図りながら機能低下予防、介護技術の向上、認知症疾患等への対応について各種研修会を計画的に開催し、支援の質の向上を図った。

#### (2) 人材の育成及び定着

- ① 外部研修については、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら可能な範囲で参加し、DVDやオンライン研修、内部研修の充実に努めた。新任職員に対しては、エルダー制度と新任職員育成プログラムに則った取組と個別面談を計画的に行い、人材育成及び定着に努めた。
- ② IT・介護機器の活用については、業務の効率化と職員の負担軽減を目的に職員へアンケートを実施しながら、IT機器の導入に向けた検討を行った。
- ③ 業務の効率化を図る狙いで、月ごとの寮会議を中止し、各支援会議に統合化を図った。

#### (3) 生活支援サービスの充実

日中活動の充実に努めるため、不定期に行われていたリサイクル活動、レクリエーション等を実施する場所を旧館（30人棟、体育館）に変え、個別のニーズや特性に応じた活動を実施した。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、延期となっていた



アニマルセラピーを旧館にて実施し、動物との触れ合いや癒しを体験することができた。

さらに、新型コロナウイルス感染症防止のため、面会や夏冬の一時帰省を中止したこともあり、代替え行事として訪問販売やレクリエーション、近隣の公園やスーパーへの外出を計画的に実施し、少しでも単調な生活に潤いをもたらすよう工夫した。

#### (4) 生活支援環境の整備・向上

① 定期的に行われていた「面会日」について、集団感染のリスク軽減を図る目的で、新館1階玄関を活用した「ガラス越しの個別面会」に加え、県内の新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら「旧館での個別面会」に切り替えた。しかし、11月以降、青森市、平内町からも新型コロナウイルス感染症が発生したため、緊急やむを得ない事情を除き個別面会を中止とした。

これまでの形での面会を実施することができなかったが、寮内生活における写真の配布や近況報告等をこまめに行い、家族との連携体制の維持に努めた。

② 新型コロナウイルス感染症が発生した場合を想定し、旧館建物内の改修工事、感染症対応マニュアルの整備を計画的に行った。

③ 加齢に伴い、咀嚼・嚥下機能等の低下が目立つ利用者が顕著に見られ、食事形態の見直し（ソフト食の導入）に向けた検討を行った。

④ 男女比に合わせた居住棟の見直しについては、例年の入所傾向では、男性利用者が多くなっていたものの、今年度は新規入所者2人のうち、1人が女性であったことから、現状の体制で対応できたこともあり、見直し検討については、今後の入所状況を見ながら行うこととした。

### 3 利用者の状況

#### (1) 入退所の状況

| 内 容             | 生活介護 | 施設入所 |
|-----------------|------|------|
| 定 員(人)          | 80   | 80   |
| 令和元年度末現在利用者数(人) | 79   | 80   |
| 令和2年度内退所利用者数(人) | 2    | 2    |
| 令和2年度内入所利用者数(人) | 3    | 2    |
| 令和2年度末現在利用者数(人) | 80   | 80   |

#### (2) 年齢別利用者数

| 男女別<br>年齢別 | 一課 (一般棟) |      |      | 二課 (高齢者棟) |      |      | 合 計  |      |    |
|------------|----------|------|------|-----------|------|------|------|------|----|
|            | 男        | 女    | 計    | 男         | 女    | 計    | 男    | 女    | 計  |
| 10～19      | 1        |      | 1    |           |      |      | 1    |      | 1  |
| 20～29      | 7        | 4    | 11   | 1         |      | 1    | 8    | 4    | 12 |
| 30～39      | 8        | 1    | 9    |           |      |      | 8    | 1    | 9  |
| 40～49      | 4        | 4    | 8    | 2         |      | 2    | 6    | 4    | 10 |
| 50～59      | 2        | 6    | 8    | 4         | 2    | 6    | 6    | 8    | 14 |
| 60～69      | 1        | 5    | 6    | 11        | 6    | 17   | 12   | 11   | 23 |
| 70～79      |          |      |      | 3         | 5    | 8    | 3    | 5    | 8  |
| 80以上       |          |      |      |           | 3    | 3    |      | 3    | 3  |
| 合計(人)      | 23       | 20   | 43   | 21        | 16   | 37   | 44   | 36   | 80 |
| 平均年齢(歳)    | 36.1     | 47.7 | 41.5 | 57.5      | 69.3 | 64.2 | 47.6 | 57.3 | 52 |

(3) 障害支援区分別利用者数

| 男女別<br>障害支援区分別 | 一課（一般棟） |    |    | 二課（高齢者棟） |    |    | 合計(人) |    |    |
|----------------|---------|----|----|----------|----|----|-------|----|----|
|                | 男       | 女  | 計  | 男        | 女  | 計  | 男     | 女  | 計  |
| 非該当            |         |    |    |          |    |    |       |    |    |
| 区分1            |         |    |    |          |    |    |       |    |    |
| 区分2            |         |    |    |          |    |    |       |    |    |
| 区分3            |         | 1  | 1  | 1        | 1  | 2  | 1     | 2  | 3  |
| 区分4            | 1       | 1  | 2  | 2        | 3  | 5  | 3     | 4  | 7  |
| 区分5            | 9       | 5  | 14 | 10       | 4  | 14 | 19    | 9  | 28 |
| 区分6            | 13      | 13 | 26 | 8        | 8  | 16 | 21    | 21 | 42 |
| 合計             | 23      | 20 | 43 | 21       | 16 | 37 | 44    | 36 | 80 |

4 事業の実施状況

(1) 生活介護事業（日中活動系サービス）の実施状況

主に日中に入浴、排泄、食事等の介護や、創作的活動、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を行った。

① 個別支援計画によるサービス提供

利用者一人ひとりの能力・適性・ニーズ等に基づいた個別支援計画を作成し支援目標の達成に向けた支援を実施した。特に、身体機能の低下に起因する転倒、転落、誤嚥等のリスク軽減に配慮した支援を行った。

② 班編成による創作的活動、リサイクル活動の実施

ア 生活リズム班

ADL等の自立度により、年間個別支援計画に沿った支援を行った。体力維持及び健康面に配慮しながら、屋内外の歩行、ライトコートでの日光浴、リズム遊び、体育館で遊具を使用して身体を動かした。また、個別のニーズ把握に努め、一人ひとりの特性や趣向に応じて音楽鑑賞、創作的活動、リサイクル活動を行った。

イ 介護予防班

利用者のADLや障害特性に配慮し、健康体操、全体レクリエーション、個別リハビリ、趣味活動のほか、外部講師による音楽療法、チェアヨガを行った。また、アニマルセラピーを通して、動物と触れ合うことによる心の安定化や、ストレスの軽減に努めた。

③ 健康衛生の向上

ア 生活習慣病の予防と対策

利用者の高齢化に伴う生活習慣病とともに、行動の低下による廃用症候群等の出現への対応が課題となってきた。特に糖尿病、脂質異常を発症する人が増えてきており、適度な運動療法を取り入れ、食後の散歩や間食の取り方を見直し、生活習慣病の予防に努めるとともに、毎月体重測定と運動の励行を行った。

イ 医療状況

嘱託医診療

精神科（青森県立つくしが丘病院）月2回（第2、第4水曜日）

ウ 検診状況

対象者 全員  
 検診内容 血液検査、心電図(年2回)、結核検診、尿検査(年1回)  
 各癌検診(大腸・胃・乳・子宮～希望者のみ実施)

エ インフルエンザ予防対策

インフルエンザワクチンを接種するとともに、抗菌マスク、微粒子マスク、使い捨て予防衣、使い捨てキャップ、使い捨てシューズカバーを準備し、うがい、手洗いの励行、アルコール手指消毒器の使用、マスク装着の指導、換気、大型加湿器による環境整備を行い、予防対策に努めた。

オ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、面会の制限や施設に入る業者に対する検温(37.5℃以上は入室不可)と手洗い、うがい、アルコールでの手指消毒、マスクの装着を徹底し感染対策に努めた。職員も出勤時に検温(37.5℃以上は勤務不可)と手洗い、うがい、アルコール消毒、マスクの着用を義務付けた。また、新型コロナウイルス感染症発症時の対応セット(N95マスク、保護メガネ、保護用予防衣、シューズカバー、使い捨て手袋、アルコール除菌タオル)を常備した。

カ その他の感染症対策

手指消毒器を一課、二課に設置して手指の消毒を指導したほか、毎食後に食堂のテーブル、椅子、手すり、ドアノブ等を除菌ウェットタオルで消毒し、食中毒などの感染症予防を強化した。

感染性胃腸炎の予防と蔓延防止対策として、発症時対応セット(バケツ、ペーパータオル、塩素系消毒剤、ゴミ袋、使い捨てマスク、使い捨て手袋、使い捨て予防衣、使い捨てシューズカバー、処理マニュアル)を各棟に用意し、感染症マニュアルに則った感染予防に努めた。

キ 通院状況

| 区分<br>科別 | 通院状況 |       | 服薬者状況 |
|----------|------|-------|-------|
|          | 実人員  | 延回数   | 実人員   |
| 内科       | 73   | 594   | 43    |
| 精神科      | 59   | 702   | 59    |
| 耳鼻科      | 3    | 13    | 0     |
| 歯科       | 25   | 164   | 0     |
| 皮膚科      | 6    | 22    | 0     |
| 外科       | 6    | 24    | 1     |
| 整形外科     | 18   | 127   | 8     |
| 眼科       | 5    | 17    | 0     |
| 泌尿器科     | 6    | 62    | 6     |
| 乳腺外科     | 0    | 0     | 0     |
| 呼吸器内科    | 2    | 2     |       |
| 脳神経内科    | 1    | 7     |       |
| 合計       | 204  | 1,734 | 117   |

ク 入院状況

| 区分<br>科別 | 実人員 | 延日数 | 病名    |
|----------|-----|-----|-------|
| 内科       | 4   | 145 | 誤嚥性肺炎 |

|       |    |     |           |
|-------|----|-----|-----------|
| 整形外科  | 1  | 51  | 左膝蓋骨骨折    |
| 精神科   | 5  | 486 | 心因反応、てんかん |
| 消化器内科 | 1  | 3   | P E G交換   |
| 眼 科   | 1  | 4   | 白内障       |
| 合 計   | 12 | 689 |           |

④ 音楽療法の実施（実施日・場所）

ア 個人セッション（月1回 月曜日の午前：面談室）

一課利用者1人 実施回数4回

イ グループセッション（月3回 火曜日の午前：二課食堂）

一課利用者4人、二課利用者28人 実施回数10回

※11月以降は、新型コロナウイルス感染症防止対策として活動を中止した。

⑤ チェアヨガ活動

身体機能の活性化を図るため、チェアヨガの講師を月2回招き、椅子に座っての簡単なストレッチや、講師の動きに合わせて体を動かすヨガを実施し、楽しみながら心身機能の向上を図った。（月2回 第2、4金曜日の午前：二課食堂）

実施回数7回

※11月以降は、新型コロナウイルス感染症防止対策として活動を中止した。

⑥ 個別及びグループごとの外出の支援

買物・外出体験を通して、金銭の使い方、社会のルール、マナーを学んでもらうとともに、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、個別・グループで楽しい時間を過ごす事を目的に実施した。

(2) 施設入所支援事業(居住系サービス)の実施状況

居住の場を提供し、入浴、排泄、食事等の介護、生活等に関する相談のほか、生活介護等の日中活動と合わせて支援を行った。

① 個別支援計画によるサービス提供

利用者一人ひとりの能力・適性・ニーズ等に基づいた個別支援計画を作成し支援目標の達成に向けた支援を実施した。

② 余暇活動・趣味的活動等の充実

ア 個別及びグループごとの外出の支援

新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、青森市、平内町、野辺地町を中心に買物外出等を計画し実施した。また、個別外出については希望に応じて随時実施した。

イ 招待外出

新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

ウ 外部講師による活動の支援

書道 実施日：月2回（第2、4金曜日）18:30～19:30 計7回

参加者：一課利用者1人、二課利用者6人

※11月以降は、新型コロナウイルス感染症防止のため活動を中止した。

③ 生活環境の整備

ア リネン・寝具交換

平成24年度から、外部業者と寝具の賃貸借契約を締結している。シーツ等1回/週、タオルケット・肌掛けカバー1回/月、布団カバー1回/月、掛け・敷き布団1回/年の交換を行った。

イ 洗顔用具等の洗浄、管理

歯ブラシ、コップ、洗面器等を週1回消毒・洗浄し、個々の収納棚に保管するなど、衛生管理に努めた。

ウ 居室等の大掃除

各居室内、食堂の換気扇及びエアコンフィルターの大掃除、ライトコートの大掃除を年2回実施した。その他、春の大掃除と年末の煤払いを計画的に行った。委託業者による特別清掃は年6回実施した。

エ 室温等の管理

冬期間の乾燥対策として各ホームに加湿器等を設置し、湿度の調整を行った。

(3) 利用者の権利擁護の推進

① 苦情相談システムの利用促進

苦情件数は2件、相談件数は7件だった。中には苦情ではなく不安、相談を述べるだけのものもあった。

| 苦情内容                              | 件数      |
|-----------------------------------|---------|
| サービスの質や量<br>(食事内容、サービス提供に関する不満など) | 0       |
| 利用者間の人間関係など                       | 1 (相談1) |
| 職員の対応(態度、言葉づかいが悪いなど)              | 0       |
| 被害/損害(預り金、所有物の紛失など)               | 0       |
| 権利侵害(虐待、プライバシー侵害など)               | 0       |
| 生活環境(設備など)                        | 1 (相談1) |
| 病気/怪我/医療面                         | 0       |
| その他(上記以外のもの)                      | 0 (相談5) |
| 合計                                | 2 (相談7) |

② 利用者への情報公開・情報提供の充実

掲示板の活用や口頭での情報提供を行った。また、写真やパンフレット等を活用し、利用者に分かりやすい方法を採用した。

(4) 地域交流

新型コロナウイルス感染症防止のため、地域交流を兼ねた行事等は全て中止とした。

(5) 家族との連携

利用者が心豊かな生活を営むためには、家族の理解と協力が不可欠である。しかし、新型コロナウイルス感染症防止のため、ガラス越しの面会や夏冬の一時帰省の中止、外出等の自粛をしたことにより、家族との関係が疎遠になりがちな面もあったことから、電話や手紙、写真等を利用した触れ合いの機会を増やした。

① 利用者個別支援計画

個別支援計画については、その内容を家族と十分協議しながら設定した。また、支援目標や支援経過についても電話や書面等を通じて随時家族へ説明した。

② 保護者全体懇談会

新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

(6) 利用者の安全面の確保

利用者等の安全確保及び事故発生時の迅速な対応を図るため、毎月リスクマネジメント委員会を開催し、アクシデントレポート等の検証、対策を話し合い支援会議等で職員へ周知した。

| 事故内容  |            | アクシデント<br>件数 | インシデント<br>件数 |
|-------|------------|--------------|--------------|
| 医療関係  | 急病（救急車搬送等） | 1            | 0            |
|       | 誤嚥・喉つまり    | 0            | 2            |
|       | 誤薬         | 2            | 0            |
|       | 服薬忘れ       | 4            | 2            |
| 事故関係  | 転倒・転落・衝突   | 86           | 25           |
|       | 骨折、打撲、裂傷   | 26           | 2            |
|       | 異食         | 4            | 5            |
|       | 無断外出       | 0            | 1            |
| 利用者関係 | 他害         | 63           | 2            |
|       | その他        | 92           | 122          |
| 合計    |            | 278          | 161          |

#### (7) 職員研修

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら法人内外の各種研修に参加し、DVD研修やオンラインでの研修を計画的に行った。特に、強度行動障害基礎研修に9人、実践研修へ4人参加するとともに、外部関係機関と連携（コンサルテーションの利用）を図り、障害の理解と、職員のスキルアップに繋げた。

また、なつどまり内での職員研修として、救命講習会や虐待防止研修会、感染症予防研修会、認知症ケア研修会、不審者対応の研修会等を開催し実践に役立つ知識と技術の修得に努めた。また、合同研究発表会においては日頃の支援の研究成果を発表（6題）し、更なるサービスの向上に努めた。

#### (8) 行事の実施状況

| 内容          | 実施期間  | 参加           | 備考(行先など)              |
|-------------|-------|--------------|-----------------------|
| 花見会         | 5月8日  | 一・二課         | しらかば寮食堂               |
| ドライブ、買物外出   | 5月28日 | 一課4人         | マックスバリュ平内店<br>夜越山森林公園 |
| たのしみっこ(BBQ) | 6月19日 | 一・二課         | 旧館正面玄関前               |
| 七夕会         | 7月7日  | 一・二課         | しらかば寮食堂               |
| 買物外出        | 7月10日 | 一課8人         | マックスバリュ平内店            |
| 買物外出        | 7月12日 | 一課3人         | マックスバリュ平内店            |
| 買物外出        | 7月16日 | 二課3人         | サンデー平内店               |
| ドライブ、買物外出   | 7月17日 | 一課7人         | マクドナルド東バイパス店          |
| ドライブ        | 7月17日 | 一課3人<br>二課7人 | 夏泊半島                  |
| 買物外出        | 7月20日 | 二課2人         | マックスバリュ平内店            |
| 買物外出        | 8月7日  | 二課2人         | ラ・セラ東バイパス店            |
| 買物外出        | 8月9日  | 一課1人         | サンロード青森               |
| ドライブ        | 8月23日 | 二課8人         | 夜越山公園                 |
| ドライブ外出      | 8月24日 | 二課2人         | 焼肉美食亭いわや              |

|           |        |      |                       |
|-----------|--------|------|-----------------------|
|           |        |      | マックスバリュ浜田店            |
| 納涼会       | 8月26日  | 一・二課 | しらかば寮ライトコート           |
| 買物外出      | 8月28日  | 二課1人 | マックスバリュ平内店<br>サンデー平内店 |
| 買物外出      | 9月13日  | 二課2人 | ラ・セラ東バイパス店            |
| ドライブ      | 9月23日  | 二課4人 | 夏泊半島                  |
| 長寿を祝う会    | 9月25日  | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| 外出        | 9月26日  | 一課2人 | 浅虫水族館                 |
| 大掃除       | 10月8日  | 二課5人 | 夏泊半島                  |
| 買物外出      | 10月24日 | 二課1人 | 平内町小湊周辺               |
| ハロウィン     | 10月30日 | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| 買物外出      | 11月11日 | 一課2人 | オレンジハート平内中野店          |
| 買物外出      | 11月12日 | 一課2人 | マックスバリュ平内店            |
| ドライブ      | 11月14日 | 一課2人 | 雷電宮                   |
| たのしみっこ    | 11月29日 | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| クリスマス会    | 12月24日 | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| ドライブ、買物外出 | 1月3日   | 一課7人 | マクドナルド東バイパス店          |
| 新年会       | 1月8日   | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| ドライブ      | 1月27日  | 一課2人 | 諏訪神社                  |
| 節分        | 2月2日   | 一・二課 | しらかば寮食堂               |
| 買物外出      | 2月20日  | 一課2人 | マックスバリュ平内店            |
| 桃の節句      | 3月3日   | 一・二課 | しらかば寮食堂               |

## II 短期入所事業しらかば寮

### 1 概況

在宅で生活している障害者の介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間の入所を必要とする障害者等に対して、空室があった場合のみサービスを提供し、入浴・排泄及び食事の介護、その他必要な支援を行う短期入所事業であるが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、今年度の利用実績はなかった。

## III 日中一時支援事業

### 1 概況

平内町の地域生活支援事業として、在宅利用者の家庭の介護負担を軽減するため利用者に活動の場を提供し、見守りや社会に適応するための日常的訓練を行う事業であるが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、今年度の利用実績はなかった。

## IV 障害者支援施設さつき寮

### 1 概況

令和2年度は、利用者の人権尊重・権利擁護・虐待防止について継続的に取り組むとともに、職員相互のリスクマネジメントの強化を図るため、寮内のリスクマネジメント委員会を中心に、各会議において段階的に対策の検討、周知徹底に取り組んだ。

また、行動障害を有する利用者への支援として、強度行動障害支援者養成研修への参加はできたものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、それ以外の外部研修への参加は計画どおりに進まなかった。一方、内部における各種研修においては、DVDの活用や、リモートによる研修等で内容の充実を図った。

生活介護事業においては、ゆとり加工班、加工班、きのこ班（しいたけ生産）、クリーニング班の4班体制を継続し、個々の利用者の障害特性等に配慮しながら個別支援に力を入れた。

長年実施していた「きのこ班」のしいたけ生産については、数年に及ぶ赤字から利用者工賃に影響を及ぼす事態となってきたため、令和2年度末で廃止し、令和3年度からは、新たに「薪事業」（薪ストーブ用の薪生産）へ転換し、安定的な利用者工賃の支給に努めていくこととした。

利用者状況としては、入所利用者の入退所の変動はなく、収入面では安定的な施設運営となった。通所利用者においては、新型コロナウイルス感染症防止のため、一時的に法人内の他通所型就労支援事業所を併用するなどして対応した。

行事においては、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、利用者の安心・安全を第一優先に、対外的（外部者等含む）な行事を自粛するとともに、寮内における各行事を充実させながら、少しでも潤いを持っていただくよう取り組んだ。

また、家族関係では、毎月の面会日を中止し、個別による面会（ガラス越し面会、旧館による面会）を実施したが、11月の感染拡大状況から制限して対応した。一時帰省については、利用者、保護者等の了承を得て、一年を通し制限を行った。

このようなことから、代替行事として、感染状況を確認しながら青森市内及び平内町内の店舗等による買物外出等で利用者のストレス軽減に努めた。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 重度化・高齢化への対応

##### ① 各種研修会への参加

第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての外部研修が中止となった。それ以降の研修についても計画どおりとはならなかったが、感染状況を確認の上、適宜職員を外部研修及びリモート研修に参加させ、専門的知識の習得及び資質向上に努めた。

##### ② 法人内施設（しらかば寮）実地研修

重度、高齢者の生活に必要な知識（食事、入浴、排泄）の習得を目的に、しらかば寮での実地研修（4人）を行い、重度、高齢者に対する支援技術の強化を図った。

#### (2) 人材育成及び定着

##### ① 新人職員育成プログラムの実施

育成プログラムに沿った支援技術のDVDを視聴し、知識の習得に努めた。また、エルダー制度の活用や内部及び一部外部研修の受講で支援業務等の理解促進を図り、人材育成の強化に努めた。

##### ② 働きやすい職場づくりの推進（各種会議の見直し等）



多種ある会議で統合可能な会議をまとめ、会議数の縮小を図り業務の効率化に取り組んだ。

③ IT・介護機器の活用に向けた推進チームの立ち上げ、検討

なつどまり全体の取組として各寮から委員を選出し検討を重ね、各システム（勤務表システム、リモート（Zoom）、バイタル（ケアパレット）、インカム）の情報を業者から聴き取りし情報収集した。それを基に検討し、第一段として、「ほのぼのシステム」に連動する「バイタル（ケアパレット）」を令和3年度から導入することとした。

(3) 生活支援サービスの充実

① 日中活動の再編成に向けた情報収集及び問題点の抽出

各作業班の現状、課題収集、方向性の検証を行うとともに、他施設（クリーニング、しいたけ栽培、同種同規模）へ出向き情報収集を図った。また、寮全職員に再編、見直しについてアンケート等を実施したところ、現状体制（4班）の維持という結果となった。ただし、「ゆとり加工班」に関しては、作業に特化した活動に偏らず「介護予防運動」「歩行訓練」なども取り入れた活動内容の見直しも含めて検討していくこととなった。

② 各種マニュアルの見直し、検討

生活に必要な各マニュアルの検証・見直しを図った。現状に即したマニュアル（与薬支援、食事支援、歯磨き支援、洗顔支援、入浴支援、排泄支援）へ改正し、職員への周知を図るとともに、より安心・安全な業務遂行に努めた。

### 3 利用者の状況

(1) 入退所の状況

| 内 容             | 生活介護 | 施設入所 |
|-----------------|------|------|
| 定 員(人)          | 60   | 60   |
| 令和元年度末現在利用者数(人) | 62   | 60   |
| 令和2年度内退所利用者数(人) | 0    | 0    |
| 令和2年度内入所利用者数(人) | 0    | 0    |
| 令和2年度末現在利用者数(人) | 62   | 60   |

(2) 年齢別利用者数

| 年齢区分    | 入所利用者 |      | 通所利用者 |      | 合計   |
|---------|-------|------|-------|------|------|
|         | 男     | 女    | 男     | 女    |      |
| 10～19   | 1     |      |       |      | 1    |
| 20～29   | 8     | 3    |       | 1    | 12   |
| 30～39   | 8     | 1    |       |      | 9    |
| 40～49   | 7     | 5    | 1     |      | 13   |
| 50～59   | 5     | 2    |       |      | 7    |
| 60～69   | 10    | 7    |       |      | 17   |
| 70～79   | 2     |      |       |      | 2    |
| 80～以上   |       | 1    |       |      | 1    |
| 合計(人)   | 41    | 19   | 1     | 1    | 62   |
| 平均年齢(歳) | 45.8  | 51.7 | 49.0  | 29.0 | 47.5 |

(3) 障害支援区分別利用者数

| 障害支援区分別 | 入所利用者 |    | 通所利用者 |   | 合 計 |
|---------|-------|----|-------|---|-----|
|         | 男     | 女  | 男     | 女 |     |
| 非該当     |       |    |       |   |     |
| 区分 1    |       |    |       |   |     |
| 区分 2    |       |    |       |   |     |
| 区分 3    | 3     |    |       |   | 3   |
| 区分 4    | 18    | 5  | 1     |   | 24  |
| 区分 5    | 15    | 9  |       |   | 24  |
| 区分 6    | 5     | 5  |       | 1 | 11  |
| 合計(人)   | 41    | 19 | 1     | 1 | 62  |

#### 4 事業の実施状況

##### (1) 生活介護事業（日中活動系サービス）の実施状況

###### ① 利用者のニーズに応じた個別支援の充実

日常生活に必要な支援については、本人の主体性及び自発性を尊重しつつ、毎月の会議等で利用者支援に関して話し合いを持ち、サービス管理責任者を中心に個別支援の充実を図った。

###### ② 開所日の設定

休日開所日については、余暇活動（パラスポーツ・映画上映・カラオケ・調理実習等）を中心に実施した。

###### ③ 班活動

###### ア ゆとり加工班

加工班から古紙の提供を受け、古紙選別等の軽作業を実施した。作業内容を固定せず流動的に選択できるようにするとともに、個別のスケジュール等を活用し個々の特性に配慮し、集中して活動に取り組めるよう努めた。

###### イ 加工班

作業意欲はあるものの歩行での移動が難しい利用者に対しては車での送迎を行い、できる限り本人希望の作業班で活動できるよう配慮した。また、年間を通して活動できるよう作業資材の確保に努めるとともに、作業工程を細分化し、より多くの利用者が積極的に参加できるよう取り組んだ。

###### ウ きのか班

しいたけ栽培を通して、健康増進や体力維持と併せて働く喜びを感じられるよう取り組んできた。しかし、きのか班を希望する利用者数が減少していることや高齢化による体力の低下により作業効率の低下、利用者一人にかかる負担や仕事量が増えていることが課題となった。

###### エ クリーニング班

体力に自信はないが、衣類をたたむ事ができる利用者がクリーニング作業を行い、働く喜びを感じることで心の安定を図った。

また、なるべく一人の利用者に負担をかけず、利用者全員が同じ作業工程を行うことができるよう、職員がやり方を示しながら、一人で行うことができるよう支援した。

##### (2) 施設入所支援事業（居住系サービス）の実施状況

###### ① 夜間におけるサービス提供

入浴、排泄、食事等の介護、生活等に関する相談・助言のほか、必要な日常生活上の支援を行った。

② 余暇活動の支援

個々の趣味や余暇活動への支援を行った。

(3) 健康管理

① 医療状況

医療体制は、嘱託医（精神科）1人と内科医への受診（月1回 引地内科）看護師4人で健康管理の充実に務めた。ほかに、通所部2人の健康管理も含め利用者全般の健康維持の推進に努めた。

緊急時対応として、応急手当マニュアル、緊急対応フローチャートを職員室、支援員室に備えるとともにAED（職員は全員AED講習受講済み）を食堂に備えた。また、誤嚥、のどつまり時対応用として、気道閉塞時フローチャートを食堂、支援員室に張り付け、口腔吸引ノズル付き掃除機（掃除用とは別の掃除機）と吸引器を食堂に設置し緊急時の対応に備えた。また、各寮に医療一覧、感染症発症時対応マニュアル等を備え利用者の健康管理に努めた。

疾病の早期発見、早期治療として、各癌検診（胃癌、大腸癌、子宮癌、乳癌）のほか、結核検診、心電図、血液検査を実施した。結核検診、心電図、血液検査は施設負担にて行い、各癌検診は、希望を募り係る費用は本人負担としている。

口腔ケアとして歯科医による往診での歯科検診を実施した。その他、歯周病、虫歯予防として食後の歯磨き指導、介助歯磨きを行った。

令和2年度は、外出時のマスク着用と帰寮後の手洗い、うがいの励行、注意喚起により、インフルエンザの罹患者は出なかった。また、毎食後に除菌ウエットタオルで行う消毒清掃の継続等により、ノロウイルス、急性胃腸炎の発症者は出なかった。

新型コロナウイルス感染症対策として、施設内に入る業者には検温（37.5℃以上は入室不可）とアルコールでの手指消毒とマスクを着用し業務を行ってもらった。職員も出勤時に検温（37.5℃以上は勤務不可）とアルコール消毒後入棟することとした。利用者は寮内での行事は密にならないように行ったが、一部の行事や外出について中止とした。また発症時対応セット（N95マスク、保護メガネ、フェイスシールド、保護用予防衣、シューズカバー、使い捨て手袋、アルコール除菌タオル）と新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、フローチャート図、ゾーニング表を作成し備え、発生時に迅速に対応できるようにした。

なお、利用者の高齢化に伴い、生活習慣病の発病が増加傾向であるとともに、廃用性症候群の出現等対応が課題となってきた。特に脂質異常を発症する方が増えてきており、適度な運動療法を取り入れ、食後の散歩、間食のとり方を見直し標準体重に近づけることを目標とする。

また、身体機能低下がみられてきた利用者の支援として介護予防運動を行った。

ア 嘱託医診療 対象者～全員

・精神科（つくしが丘病院）（月2回：第2、第4木曜日）

イ 検診 対象者～全員

・血液検査、心電図（年2回） ・結核検診（年1回）

・各癌検診（大腸・胃・乳・子宮～希望者のみ本人負担）

ウ インフルエンザ予防対策 対象者～全員

インフルエンザワクチンの接種（施設負担）、抗菌マスク、微粒子マスクを用意し、

マスクの励行を指導した。うがい薬でのうがい、手洗い、アルコール手指消毒器の使用、換気、大型加湿器による環境整備を行い予防対策に努めた。また使い捨て予防衣、フェイスシールド、使い捨てキャップ、使い捨てシューズカバーを準備し発症時対応に備えた。

エ その他

手指消毒器をホール、廊下に設置して手指消毒指導し、毎食後に食堂のテーブル、イス、床、手すり、ドアノブ、スイッチ類を除菌ウエットタオルにて消毒清掃を行い、食中毒などの感染症の予防対策をした。

発症時対応セット（バケツ、ペーパータオル、塩素系消毒剤、嘔吐物凝固剤、ゴミ袋、使い捨てマスク、使い捨て手袋、使い捨て予防衣、使い捨てシューズカバー、処理マニュアル）を各棟に用意し感染症マニュアルに沿って感染予防に努めた。

② 各癌検診、結核検診の状況

| 検診名 | 要精密検査者 | 内 訳          |
|-----|--------|--------------|
| 胃 癌 | 0人     |              |
| 大腸癌 | 2人     | 2人とも再検査し異常なし |
| 子宮癌 | 0人     |              |
| 乳 癌 | 0人     |              |
| 結 核 | 4人     | 4人とも再検査し異常なし |

③ 通院・服薬者状況

| 科別     | 区分 | 通院状況 |       | 服薬者状況 |
|--------|----|------|-------|-------|
|        |    | 実人員  | 延回数   | 実人員   |
| 内 科    |    | 47   | 306   | 19    |
| 精神科    |    | 40   | 582   | 39    |
| 歯 科    |    | 16   | 74    | 0     |
| 皮膚科    |    | 5    | 32    | 1     |
| 外 科    |    | 5    | 16    | 0     |
| 整形外科   |    | 6    | 16    | 0     |
| 眼 科    |    | 3    | 8     | 0     |
| 泌尿器科   |    | 2    | 26    | 2     |
| 脳神経外科  |    | 1    | 3     | 0     |
| 血液内科   |    | 1    | 3     | 0     |
| 循環器科   |    | 1    | 1     | 0     |
| 糖尿病外来  |    | 1    | 8     | 1     |
| 総合診療   |    | 1    | 19    | 1     |
| 歯科口腔外科 |    | 1    | 4     | 0     |
| 耳鼻科    |    | 1    | 1     | 0     |
| 合 計    |    | 131  | 1,099 | 63    |

④ 入院状況

| 科別  | 区分 | 実人員 | 延日数 | 病 名                 |
|-----|----|-----|-----|---------------------|
| 精神科 |    | 3   | 99  | 適応障害、統合失調症、心因性非てんかん |
| 内科  |    | 1   | 9   | 低ナトリウム血症            |

|        |   |     |           |
|--------|---|-----|-----------|
| 歯科口腔外科 | 1 | 22  | 下顎骨骨折     |
| 整形外科   | 1 | 30  | 頸椎後縦靭帯骨化症 |
| 合計     | 6 | 160 |           |

⑤ 肥満状況

| 内 訳                | 男  | 女  | 合計 |
|--------------------|----|----|----|
| 18.5 未満 (やせ)       | 4  | 2  | 6  |
| 18.5 以上～25 未満 (正常) | 28 | 14 | 42 |
| 25 以上～30 未満 (肥満 1) | 8  | 2  | 10 |
| 30 以上～35 未満 (肥満 2) | 1  | 1  | 2  |
| 35 以上 (肥満 3)       | 0  | 0  | 0  |
| 合計 (人)             | 41 | 19 | 60 |

※BMI の数値は日本肥満学会による判定基準を基にした計算式で算出したものであり、内臓脂肪量とは関係ない。BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))

(4) 利用者の権利擁護の推進

相談の受付は本人からの申し出と施設内の意見箱から、毎月 1 回、第三者委員 3 人の輪番による体制としているが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。苦情解決協議会についても、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とし、利用者代表、保護者代表、第三者委員に事例の内容を書面で送付した。

令和 2 年度は、利用者からの苦情相談は 1 件あったが、障害者虐待防止法に準拠した「なつどまり虐待防止規程」における事案はなかった。

(5) 地域交流

令和 2 年度地域交流は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。また、地域への奉仕活動の充実については、11 月に開催された平内町民俗文化祭に利用者が創作した作品を展示し、利用者の参加は新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

(6) 利用者への安全確保

利用者の安全確保及び事故発生時の迅速な対応を図るために、第一段階として支援会議で検討し、その後さつき寮リスクマネジメント委員会で再度検討することで、より深く検証した内容を現場へフィードバックし、利用者の事故防止に努めた。

<アクシデントレポートの提出状況>

| 事故内容  |               | 件数 |
|-------|---------------|----|
| 医療関係  | 急病 (救急車搬送等)   |    |
|       | 誤与薬           |    |
|       | 誤嚥・落薬         | 8  |
| 事故関係  | 転倒・衝突 (通院・入院) |    |
|       | 転倒・衝突         |    |
|       | その他           |    |
| 介護関係  | 転倒・衝突 (通院)    | 1  |
|       | 歩行不安定による転倒    | 21 |
| 外出関係  | 無断外出 (敷地外)    | 1  |
|       | 集団離脱 (敷地内)    |    |
| 利用者関係 | 他害・粗暴行為・器物破損  | 11 |
| その他   | 打撲・自傷・擦り傷・火傷等 | 18 |
| 合計    |               | 60 |

(7) 家族との連携強化

① なつどまり育成会との連携強化

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため育成会の総会を中止とし、会員の方へは書面で活動内容を報告した。また、面会については、5月22日からガラス越しの面会を開始し、10月から11月中旬までは室内における個別の面会を実施した。

② 家族への情報提供の充実

ガラス越し及び室内における個別面会の通知とともに、さつき寮通信を年4回発行したほか、3月には行事及び日中活動や生活環境の様子を写真や文章で伝えた。また、毎月ケース担当から利用者の保護者へ近況をお知らせするとともに、状況変化等の際には随時連絡を行った。

(8) 職員研修

なつどまり内での学習会やしらかば寮での実地研修及び事業団事務局が主催する法人内研修、県内外のリモートによる研修等に参加し、施設職員として必要な知識を習得し、障害への理解向上に努めた。

また、なつどまり研究発表会ではさつき寮の研究事例を発表した。

(9) 行事の実施状況

|         |               |
|---------|---------------|
| (令和2年)  |               |
| 4月 15日  | 健康診断          |
| 4月 29日  | 花見会           |
| 5月 13日  | 結核検診          |
| 5月 29日  | レクリエーション大会    |
| 6月 18日  | 消防訓練(火災想定)    |
| 6月 26日  | 夏の大掃除         |
| 7月 27日  | 昼食外出          |
| 8月 1日   | 納涼祭           |
| 8月 24日  | 昼食外出          |
| 8月 26日  | お楽しみ会         |
| 9月 7日   | 利用者検診(心電図、採血) |
| 9月 9日   | 昼食外出          |
| 9月 16日  | 胃がん検診         |
| 9月 25日  | 歯科検診          |
| 10月 8日  | 利用者検診(乳がん)    |
| 10月 15日 | 総合消防訓練(夜間想定)  |
| 10月 18日 | さつき交流会        |
| 11月 7日  | 紅葉狩り          |
| 11月 9日  | インフルエンザ予防接種   |
| 11月 20日 | 研究発表会         |
| 11月 20日 | 不審者対応訓練       |
| 11月 26日 | 利用者忘年会        |
| 12月 5日  | 冬の大掃除         |
| 12月 19日 | クリスマス会        |
| 12月 31日 | 年越し会          |
| (令和3年)  |               |
| 1月 2日   | カラオケ大会        |
| 1月 4日   | お楽しみ会         |
| 1月 9日   | 利用者新年会        |
| 1月 16日  | リフレッシュ体操      |
| 1月 23日  | パラスポーツ        |
| 1月 23日  | 軽食クッキング       |
| 2月 9日   | 節分集会          |

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 2月 9日 | 防災訓練(土砂災害想定)<br>利用者日中活動慰労会 |
| 3月 9日 |                            |

(10) 工賃支給状況

生活介護班活動に従事した利用者全員を対象に、「工賃支給要綱」に基づく工賃を支給した。(11月・3月は一時金を支給)

| 項目/月           | 4月      | 5月      | 6月      | 7月      | 8月      | 9月      | 10月       | 11月          |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|--------------|
| 生活介護<br>総工賃(円) | 64,020  | 86,350  | 130,370 | 115,940 | 85,760  | 108,940 | 165,280   | 108,060      |
| 支給者数(人)        | 62      | 62      | 62      | 62      | 62      | 62      | 62        | 62           |
| 項目/月           | 上期一時金   | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 下期一時金   | 合計        | 月1人当<br>たり平均 |
| 生活介護<br>総工賃(円) | 277,840 | 115,680 | 116,850 | 100,530 | 100,530 | 716,820 | 2,292,970 | 2,641        |
| 支給者数(人)        | 62      | 62      | 62      | 62      | 62      | 62      | 868       |              |

## V 短期入所事業さつき寮

### 1 概況

自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で入浴、排泄、食事の介護等を行う。

### 2 事業の実施状況

令和2年度は1人の利用があった。

## VI 相談支援事業所なつどまり

### 1 概況

障害者及び障害児並びにその保護者一人ひとりの人権と意思を尊重し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な相談支援を実施した。計画相談件数は計220件であった。

利用者の置かれている状況や環境等に応じた、利用者等の選択に基づいた適切な障害福祉サービス等を、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供し、地域資源との連携及び地域資源の開発を図るとともに、各市町村等との連携を行った。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 関係機関との連携強化の継続

各関係機関と連携・情報共有に努めたほか、利用者の生活場所へ直接出向くなどして本人や家族の意向等を聴き取り確認することで、具体的な計画の提案・作成を実施した。

#### (2) 年間ベースでの黒字収支を目指す

平成30年度の報酬改定によるモニタリング頻度の増加に伴い、収入増となった。また、定期モニタリングのほか、福祉サービスの変更を希望する利用者の増により、収

入源となる計画書を提出する頻度も増え黒字を維持した。

(3) 相談支援専門員の増員

2人体制になった事で、制度改正によるモニタリング頻度の増加や、1人当たり40件を超える事による減算対象にも対応できた。また、各利用者に関する意見等を協議し合えたことで、より良いサービスに繋げることができた。

3 職員の状況 ※( )はさつき寮兼務

| 職名  | 管理者 | 相談支援専門員 |     | 合計    |
|-----|-----|---------|-----|-------|
|     |     | 副主任支援員  | 支援員 |       |
| 職員数 | (1) | 1       | 1   | 2 (1) |

4 事業の実施状況

(1) 障害種別利用者人数 (重複あり)

| 内訳  | 実人員 | 知的障害 | 身体障害 | 精神障害 | 発達障害 | 重症心身障害 | 他 |
|-----|-----|------|------|------|------|--------|---|
| 障害者 | 217 | 191  | 37   | 22   | 19   | 0      | 0 |
| 障害児 | 3   | 2    | 1    | 0    | 1    | 0      | 0 |
| 合計  | 220 | 193  | 38   | 22   | 20   | 0      | 0 |

(2) 相談方法(実人員に対して重複あり)※なつどまり入所利用者の聴取数も訪問に加える

| 内訳 | 訪問※ | 来所 | 同行 | 電話 | 個別支援会議 |
|----|-----|----|----|----|--------|
| 件数 | 495 | 1  | 32 | 73 | 49     |

(3) 利用者別相談件数

| 内訳      | しらかば寮 | さつき寮 ※通所含む | 同法人施設、事業所 | 他法人施設、事業所 | 合計  |
|---------|-------|------------|-----------|-----------|-----|
| 平内町(委託) | 5     | 9          | 26        | 37        | 77  |
| 他市町村    | 68    | 48         | 20        | 7         | 143 |

(4) 計画相談請求件数

| 内訳   | サービス等利用計画 | モニタリング報告書 | 合計  |
|------|-----------|-----------|-----|
| 請求件数 | 101       | 388       | 489 |



## 第5 青森県長寿社振興センター

### 1 概況

本県の高齢化率は全国を上回る速さで進んでいるが、その8割は介護保険を利用しない“元気な高齢者”である。

その中で、全ての団塊世代が75歳以上の高齢者となる2025年が迫り、「高齢者が生きがいを持ち、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる」ということがより重要な課題となってきている。

令和2年度も青森県長寿社会憲章の「すべての世代のための長寿社会」を念頭に、「生涯現役で活躍できる社会づくり」、「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」を目指し安心して元気にいきいきと暮らせる社会づくりの実現に向け、生きがいづくり、健康づくり及び仲間づくりに関する事業展開を行った。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) あおもりシニアフェスティバル事業の充実

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から例年より規模を縮小した開催となったが、地域スポーツ団体との交流・世代間交流イベント開催等の新たな事業展開を行った。

#### (2) ホームページ等を活用した事業展開

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、積極的な情報発信は実施しなかった。

#### (3) 仲間づくり支援事業（あすなろ友の会）の強化

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加者の健康を第一と考え、活動を自粛とした。

#### (4) 特別記念講演事業の開催

骨粗鬆症の最先端の医療についてリモート講演会を実施した。

### 3 職員の状況

| 職名  | 所長<br>(専務理事兼務) | 副主任<br>事務員 | 事務員 | 計(人) |
|-----|----------------|------------|-----|------|
| 職員数 | 1              | 1          | 6   | 8    |

### 4 事業の実施状況

#### (1) 組織作り事業

##### ① 第33回ねんりんピック（全国健康福祉祭）派遣事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により1年延期となった。

##### ② 第22回あおもりシニアフェスティバル（県健康福祉祭）開催事業

県内高齢者の文化活動、スポーツ活動等の祭典とし、健康増進、社会参加及び世代間交流の促進を図り、みんなが輝ける長寿社会づくりを目的とし開催した。

##### ア 世代間交流イベント

|      |                    |
|------|--------------------|
| 開会式  | 令和2年9月27日(日)       |
| 会場   | カクヒログループアスレチック     |
| 内容   | 地域スポーツ交流・関係団体ブース設営 |
| 来場者数 | 約1,000人            |

##### イ スポーツイベント（12種目）開催内容

|      |   |
|------|---|
| 開催日  | 令和2年9月27日(日)  |
| 会場   | 新総合運動公園、県立武道館、ヤクルトスイミング、十和田パノラマパークゴルフ場                                  |
| 内容   | ラージボール卓球、テニス、ゲートボール、ペタンク、なぎなた、剣道、バウンドテニス、弓道、水泳、ウォークラリー、パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ |
| 参加人数 | 958人  |

③ 第11回冬季スポーツイベント

冬のスポーツを通し、高齢者の健康増進及び社会参加の促進を図り、触れ合いと活力のある長寿社会の形成に資するために開催した。

ア カーリング交流大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

イ スキー交流大会

|      |              |
|------|--------------|
| 開催日  | 令和3年1月25日(土) |
| 会場   | 大鱈温泉スキー場     |
| 内容   | タイム申告制レース    |
| 参加人数 | 33人          |

(2) 長寿な生活調査・発信事業

① シニアライター研修会

高齢者等の生活習慣・生活スタイルを調査・収集する通信員を育成するため開催した。

| 地区   | 開催日      | 会場               | 養成数 | 内容   |
|------|----------|------------------|-----|------|
| 青森市  | 7月27日(月) | 県民福祉プラザ          | 5人  | 基礎研修 |
| 八戸市  | 7月29日(水) | 八戸市福祉会館          | 2人  |      |
| つがる市 | 8月3日(月)  | つがる市木造農村環境改善センター | 1人  |      |
| 平川市  | 8月4日(火)  | 平川市文化センター        | 5人  |      |

② シニアライターフォローアップ研修会

育成した通信員へのフォローアップを実施するため開催した。

| 地区   | 開催日      | 会場               | 参加数 | 内容         |
|------|----------|------------------|-----|------------|
| 青森市  | 2月9日(火)  | 県民福祉プラザ          | 8人  | コロナ禍での取材方法 |
| 八戸市  | 2月12日(月) | 八戸市福祉会館          | 3人  |            |
| つがる市 | 2月17日(水) | つがる市木造農村環境改善センター | 3人  |            |
| 平川市  | 2月19日(金) | 平川市文化センター        | 6人  |            |

③ 機関誌あすなろ倶楽部発行

通信員(シニアライター)等が収集した情報及び県内高齢者等への暮らしの情報提供等を紹介・広報し県民の健康意識の向上に役立てるため発行した。

|      |  |
|------|--|
| 発行回数 | 年4回(6月、9月、12月、3月)                                |
| 発行部数 | 4,500部   |
| 内容   | 通信員(シニアライター)提供の高齢者の生活スタイル等の情報及び関係機関等の高齢者への情報の発信。 |

④ 広報活動

当センター事業内容についての事業紹介を行うため、パンフレットの作成及びホームページの運営を行った。

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| パンフレット作製部数 | 5,000部                        |
| ホームページアドレス | http://www.choju-aomori.or.jp |

(3) 青森シニアカレッジ運営

高齢者に体系的な学習等の場を提供することにより、生きがいのある生活基盤の確立と健康の保持・増進に役立てるとともに、地域活動の担い手を養成することを目的とし開催した。

① シニアカレッジ講座

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 開催場所  | 県民福祉プラザ                      |
| 開催回数  | 7回                           |
| 受講者数  | 57人（総合コース）                   |
| 内 容   | 一般教養、健康と生活、地域歴史文化等           |
| そ の 他 | コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催日程を調整した。 |

② 通信教養コース「あおもり長寿セミナー」

|      |  |
|------|--|
| 放送媒体 | RAB青森放送  |
| 放送回数 | 年間12回（毎月最終土曜日6時30分からの30分間）                       |
| 内 容  | 生きがいづくりに関わる内容をラジオ放送で県内へ発信した。テキストを作成し学習意欲の向上に努めた。 |
| 受講者数 | 71人  |

(4) 仲間づくり事業（自主事業）

① 元気なシニア総合サポート事業

仲間づくり支援相談員を配置し適切な指導及び助言を行い、健康づくり活動等を行うサークルの情報収集及び提供を行った。

② あすなろ友の会支援事業

高齢者自主活動組織「あすなろ友の会（会員数700人）」に対し、助言及び情報提供を行った。

(5) 介護予防事業

市町から事業受託し、高齢者が要介護状態もしくは要支援状態になることの予防を目的として実施した。

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 委 託 先 | 五所川原市、大鰐町                        |
| 内 容   | 運動機能向上、栄養改善、口腔ケア、認知症予防、閉じこもり防止   |
| そ の 他 | コロナ禍での介護予防の取組として、通信型介護予防事業を実施した。 |

(6) 特別記念講演事業（自主事業）

県民の健康増進と豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県の実現を目指し青森県共同募金会と連携し開催した。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 開 催 日 | 令和3年1月28日（木）                   |
| 内 容   | 運動機能向上、栄養改善、口腔ケア、認知症予防、閉じこもり防止 |
| 参加人数  | 34人                            |

## 5 職員研修

職員の資質向上を図るため、一般財団法人長寿開発センター及び関係各機関の開催する研修会に参加した。

## 第6 青森県発達障害者支援センター

### 1 概況

当センターは、平成17年12月1日に現在の障害児入所施設八甲学園の附置施設として開設し15年目を迎えた。発達障害者支援センター運営事業の4つの柱である「相談支援」「発達支援」「就労支援」「普及啓発・研修」のほか、当センター独自の事業として、地域の精神科医師による「医療相談」及び、当センター事業で養成した「ペアレントメンターによる傾聴事業」を実施した。また、「青森県発達障害者支援体制整備事業」についても、各事業計画に基づき実施した。

各事業とも、おおむね計画目標を達成することが出来たが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止とし、未実施（未達成）の事業も生じた。中止となった事業は下記のとおりである。

|       |   |
|-------|---|
| 連絡協議会 | (1) 第1回青森県発達障害者支援センター「ステップ」下北地区連絡協議会<br>(2) 第2回青森県発達障害者支援センター「ステップ」下北地区連絡協議会      |
| 主催研修会 | (1) 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 in 青森<br>(2) 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 in むつ<br>(3) ペアレントメンター養成講座 |
| 主催会議  | (1) 第2回青森県発達障害者支援センター及び青森県健康福祉部障害福祉課社会参加推進グループ情報交換会                               |

### 2 重点事項の実施状況

(1) 地域の各関係機関等と連携、協働し、発達障害のある方及び家族を支援する

① 地域のお他機関との連携強化

- ・連絡協議会：東青地区2回、計2回開催。  
(未達成 目標：各地域2回実施)
- ・東青地区連絡協議会参加機関を、未就学児を支援対象としている機関とし、22機関の参加があった。
- ・医療相談：5件実施。
- ・ペアレントメンターによる傾聴事業：4件実施。(未達成 目標件数5件)
- ・職員の専門性の向上を目指し、計48回(各職員5回以上)の発達障害に関する専門研修会を受講した。

② 個人情報保護の徹底

- ・第三者と情報を共有することが必要な際、事前に個人情報同意書を必ず得ることを徹底した。
- ・相談者記録等を保管する書庫の管理(施錠・鍵の管理)、書類及びデータの取扱い等、対応策をまとめ、職員間で徹底した。

(2) 県内3か所ある発達障害者支援センター間で協働し、県内の発達障害支援体制整備を促進する

① 年1回(6月)3センター及び県障害福祉課との情報交換会を実施した。

(未達成 目標：2回開催)

② 県内発達障害者支援センター職員を対象とした勉強会を実施した(2月、3月)。

(3) 地域の関係機関及び関係施設等の職員の人材育成を通じた地域の拠点作り

① 東青地区、下北地区で人材育成を目的とした支援者対象研修会(主催または共催)

を、計 21 回開催した。実施した主な事業は下記のとおりである。

- ア アセスメントに関する研修会 (15 人受講)
- イ CARE プログラム研修会 (24 人受講)
- ウ 発達障害支援公開講座 (67 人受講) ※WEB 開催
- エ かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会 (108 人受講) ※WEB 開催
- オ 発達障害支援連続勉強会 (70 人受講)
- カ 発達障害支援者スキルアップ研修会 (22 人受講)
- キ ペアレントメンターフォローアップ事業 (5 人受講)
- ク ペアレント・プログラム事業 (8 人受講)

② 講師活動を 40 回実施した。

司法・教育・福祉・労働等、多様な機関のニーズに対応した。

(未達成 目標：研修 50 回以上)

③ 機関訪問支援を 22 回実施した。

保育園・幼稚園・小学校、特別支援学校・放課後等デイサービス・生活介護事業所等、多様な機関のニーズに対応した。

④ 医療従事者を主な対象とした研修会を 1 回実施した。

医師等、医療従事者を主な受講対象者とし、発達障害に関する最新の知見、施策等を発信した。

⑤ 各地域で研修事業を開催する際、自治体及び地域の関係機関へ事業協力依頼を行い、協働で事業を実施した。

(4) 地域住民への発達障害についての理解と普及啓発

① 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間(青森市、むつ市)は実施できなかった。

(未達成 目標：青森市、むつ市で開催)

② 地域住民を対象とした研修会を、青森市・むつ市で各自治体と協働し、各 2 回開催した。

(5) 北海道・東北ブロックをはじめ、全国の発達障害者支援センター等との連携

① 全国発達障害者支援センター連絡協議会(WEBにて開催)へ職員 2 人参加した。

発達障害児者支援施策に関する国の動きや、最新の知見について学ぶとともに、全国の発達障害者支援センターと情報交換を実施した。

② 北東北 3 県発達障害者支援センター情報交換会(WEBにて開催)へ職員 1 人参加。

北東北 3 県の取組について情報共有し、連携を深めた。

③ 当センターで主催する研修会(WEB研修会)について、北海道・東北ブロックに都度周知を行い、他県発達障害者支援センター職員の受講があった。情報発信及び情報共有に務めた。

(6) センター機能強化並びに職員の専門性とマネジメント力の向上

① 職員の専門性の向上を目指し、年間 48 回の研修を受講し(各職員年間 5 回以上研修受講)、発達障害に関する知識及び技術の向上に努めた。

### 3 職員の状況

| 職名  | 所長 | 副主任支援員 | 支援員 | 計 |
|-----|----|--------|-----|---|
| 職員数 | 1  | 1      | 2   | 4 |

### 4 事業の実施状況

| 事業内容                           |                            | 実 績    |         |
|--------------------------------|----------------------------|--------|---------|
| ① 発達障害児（者）及びその家族等に対する相談支援・発達支援 |                            | 実支援人員  | 976 人   |
|                                |                            | 延支援件数  | 2,043 件 |
|                                |                            | 心理学的判定 | 106 件   |
| ② 発達障害児（者）に対する就労支援             |                            | 実支援人員  | 119 人   |
|                                |                            | 延支援件数  | 208 件   |
| ③ 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修       | ア センター主催又は共催で企画した研修        | 実施回数   | 21 回    |
|                                |                            | 延参加人数  | 491 人   |
|                                | イ 外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）     | 実施回数   | 40 回    |
|                                |                            | 延参加人数  | 1,251 人 |
|                                | ウ 教育関係者との合同研修会             | 実施回数   | 8 回     |
|                                |                            | 延参加人数  | 477 人   |
| ④ 関係施設・関係機関等の連携                | ア 連絡協議会開催回数                | 実施回数   | 2 回     |
|                                | イ 調整会議                     | 実施回数   | 24 回    |
|                                | ウ 機関コンサルテーション              | 実施回数   | 22 回    |
|                                | エ 障害者総合福祉法第 89 条協議会等への参加状況 | 参加回数   | 3 回     |
|                                | オ 他の協議会への参加状況              | 参加回数   | 29 回    |
| ⑤ 地域住民等に対する普及啓発                | 地域住民向け研修会の開催等              | 実施回数   | 4 回     |
| ⑥ 職員の研修派遣状況                    |                            | 参加回数   | 48 回    |

## 第7 ライフサポートあおば

### 1 概況

「共感・協働・共生」の理念に基づき、知的障害や発達障害、またはそれらが心配される児童が地域で当たり前に暮らし続けることを目指した。青森市内やその近郊の2歳から18歳までを主な対象児として、障害児通所支援（児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業）と青森市からの委託事業（障害児等療育支援事業）等を通じて、青森市及びその近郊の児童支援・家族支援・地域支援を行った。

コロナ禍のため、保護者懇談会の中止、地域向けイベントの縮小、外出イベントや外部研修等派遣の制限など、計画とは異なる対応を迫られた。また、感染のリスクに配慮し、特に学校の長期休業時に利用を控えるケースが目立った。

経営面では、多機能型で行っていたデイサービスセンターあおばの放課後等デイサービスの在り方を検討・見直し、未就学児支援の新規利用希望者の受入強化により、収入増となった。

長年の懸案事項であった老朽化が激しかった千刈地区の事業所は、10月に緑地区へ移転することができた。

法人内他所属との交流・情報共有のほか、所属内での情報共有・サポート体制を構築し、体制強化を図った。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 地域のニーズに沿ったイベントの開催

令和2年度は、地域の潜在的なニーズを探ること、地域の新たなニーズを把握することを目的とし、2つのイベントを開催した。

##### ① ぷちあおば

新型コロナウイルス感染対策もあり、当初計画（7回）よりも回数を減らし、計4回、5人の児童とその家族を対象に行った。直接観察から児童のアセスメント（情報処理や課題など）を行い、その結果をもとに、家族との面談を行った。

##### ② 地域交流会

9月27日、新青森県総合運動公園にて、相談会と並行し、チラシの配布、アンケート調査を行った。その場での相談希望者は0件だったが、アンケートは412件の回答があった。アンケートの結果では、多い回答から「地域でできる知的・発達障害者サポート」「発達が気になるお子さんの育て方」「発達障害・知的障害をお持ちの方とのレクリエーション機会」の順に希望が寄せられた。

#### (2) 関係団体との連携・協働

幼稚園・保育園・認定こども園・学校を含む他機関への巡回機会や、各種会合への参加を通じ、情報収集・情報共有を行った。これらの内容を含め、発達障害者支援センターステップが主催する情報交換会、青森県自立支援協議会人材育成部会、青森県知的障害者福祉協会、その他の場面で提案する機会があった。

また、サービス担当者会議に参加するなど、相談支援専門員や併用する関係機関との情報共有や連携模索を行った。

#### (3) 個別支援計画の質の向上

##### ① 窓口機能の強化



ホームページやブログの更新を行い、事業所の最新情報を公開した。情報交換会や大学・諸団体からの講演機会にてリーフレットを配布するなど、事業所のPRを行った。新規利用児童受入マニュアルを作成し、運用開始した。

② アセスメントの整備

ライフステージごとに異なるシートを活用するなど、利用開始時に行うアセスメントのシートを整備した。また、ライフサポートあおば内での事業所移行では、体験利用等を通してその情報を共有し、スムーズな移行を実施した。

③ 支援の効果測定

個別支援計画の「わかりやすさ（具体度・理解度）」「児童発達支援管理責任者による説明・指導」「効果測定による支援への意識」向上を意識し、一つの指標として「具体的到達目標達成度 60%」を掲げた。集計の結果、目標の60%を下回ったが、運営会議で情報共有を行い、個別支援計画作成研修を開催したことで、職員の意識向上にはつながった。

④ 関係機関との連携・引継ぎ体制の構築

連携・引継ぎ体制構築を目指し、保護者や関係機関へのアプローチを行ったが、コロナ禍も影響し、関係機関連携加算の対象となるケースは4件にとどまった。

(4) 総収入額を前年度比3%以上

保育所・こども園への送迎開始、送迎業務の協力体制を整備した。その結果、児童発達支援の収入額が上昇し、総収入額が前年度比9.6%上昇となった。

(5) 防災体制の確立

防災マニュアルの見直しとともに、BCP（事業継続計画）の策定を行った。これらに基づいた避難訓練を各事業所で月1回実施した。（このうち、風水害を想定した避難訓練を各事業所にて2回実施した。）

(6) デイサービスセンターすこやかへの移転等検討

老朽化が激しかったデイサービスセンターすこやかについて、6月末、不動産業者の紹介により物件を確認した。事務局と調整し、9月1日付で物件を購入し、10月19日に千刈地区から緑地区へ移転した。

(7) 法人内成人期事業所との連携

7月9日、八甲学園（デイサービスセンターはっこう・就労継続支援B型事業所はっこう・生活介護事業所はっこう）・就労サポートセンターさつき・就労サポートセンターはくちょう担当者との担当者会議を開催し、目的の確認と情報共有を行った。この結果、成人期事業所のリーフレットを放課後等デイサービス事業所利用児童へ配布することとし、11月2日、チャレンジサポートすこやかの利用児童3人が就労サポートセンターさつきの見学及び作業体験を実施した。

### 3 職員の状況

| 職名  | 所長 | 主任事務員 | 主任支援員 | 副主任支援員 | 支援員 | 計  |
|-----|----|-------|-------|--------|-----|----|
| 職員数 | 1  | 1     | 1     | 2      | 14  | 19 |

### 4 職員研修

(1) 内部研修

① 教育・指導体制

ライフサポートあおばの「スーパービジョン体制」について書面にて周知した。これに基づき、個別面談、会議、ミーティング、直接支援場面でのスーパービジョ

ンを実施した。また、職員個々に年間目標管理を行い、所属長面談にてその達成度を確認した。

## ② 内部研修

当初は各事業所の実態に合わせた研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止観点から外部研修派遣を制限したこともあり、3事業所の職員を対象に合計7回内部研修を実施した。

| 研修名                               | 日 程       | 参加者数 |
|-----------------------------------|-----------|------|
| 虐待防止研修<br>～障害特性の理解と虐待防止～          | 9月14日(月)  | 6人   |
| 支援技術基礎研修①<br>～障害特性の理解と構造化～        | 10月22日(木) | 6人   |
| リスクマネジメント研修<br>～リスクマネジメントと記録の重要性～ | 11月6日(金)  | 5人   |
| 支援技術基礎研修②<br>～コミュニケーション支援～        | 12月10日(木) | 6人   |
| 支援技術基礎研修③<br>～フォーマルアセスメントの理解～     | 1月21日(木)  | 6人   |
| 個別支援計画作成研修<br>～個別支援計画作成プロセスの確認～   | 2月8日(月)   | 3人   |
| 支援技術実践研修                          | 3月11日(木)  | 4人   |

## ③ 研究発表

各事業所にてテーマを選定し、八甲学園との合同研究発表会にて法人内部の職員向けに発表した。また、下記イ・ウについては、青森県保健医療福祉研究発表会へもリモート参加し、発表した。

ア デイサービスセンターあおば

「トークン使用によるターゲット行動の変化と個別化」

イ デイサービスセンターすこやか

「職場環境の振り返りと改善に向けた取り組み方について」

ウ チャレンジサポートすこやか

「強度行動障害を持つお子さんの移行支援について」

## (2) 外部研修

コロナ禍により、外部への派遣を最小限とした。派遣された研修については、復命書作成ののち、毎月の支援会議にて伝達を行った。

| 研修名                | 日 程                              | 参加者数 |
|--------------------|----------------------------------|------|
| PECSレベル1ワークショップ    | 4月11日(土)<br>4月12日(日)             | 2人   |
| 女性防災ワークショップ in 青森市 | 7月5日(日)<br>8月30日(日)<br>10月17日(土) | 1人   |
| 交通安全管理者研修          | 12月1日(火)                         | 1人   |

|               |          |    |
|---------------|----------|----|
| ソーシャルストーリーズ   | 3月13日(土) | 3人 |
| 入門ワークショップセミナー | 3月14日(日) |    |

※法人内主催実施研修を除いて記載。

## 5 行事

4月開催予定であった全体会議は緊急事態宣言下であったため、中止とした。4月の各事業所支援会議にて資料を配布し、所属長がその内容を説明した。

6月開催予定であった保護者懇談会は、コロナ禍のため、中止とした。

5月・7月開催予定であったぷちあおばは、コロナ禍の感染予防対策が万全ではなかったため、10月開催予定であったぷちあおばは、事業所移転に伴い、中止とした。

| 行事名          | 実施日                              | 内容   |
|--------------|----------------------------------|--|
| 運営会議         | 毎月                               | 各種課題やリスク回避の検討。   |
| HP・ブログ更新     | 随時                               | 活動内容報告。移転による掲載内容更新。  |
| 苦情解決・虐待防止委員会 | 12月11日                           | 苦情等解決委員・虐待防止委員との情報・意見交換。   |
| 広報誌発行        | 4月1日<br>10月1日<br>2月1日            | 「あおばだより」第26号。<br>「あおばだより」第27号。<br>「あおばだより」第28号。  |
| ぷちあおば        | 9月10日<br>11月10日<br>12月2日<br>2月4日 | 参加児の行動観察及び簡易検査(アセスメント)<br>参加児の行動観察及び簡易検査(アセスメント)<br>参加児の行動観察及び簡易検査(アセスメント)<br>参加児の行動観察及び簡易検査(アセスメント) |
| 非常通報訓練       | 3月6日                             | ライフサポートあおば非常通報連絡体制。  |
| 法人内成人期支援連携会議 | 7月9日                             | 法人内の放課後等デイサービスと成人期通所支援担当者による情報共有と連携の模索について。  |
| 事業所間交流       | 11月2日                            | 就労サポートセンターさつき見学・作業体験。  |
| 地域交流会        | 9月27日                            | 相談会、チラシ配布、アンケート調査。   |
| 合同研究発表会      | 12月14日                           | 八甲学園主催に参加。あおばから3事例発表。  |

## 6 健康管理

新型コロナウイルスの感染予防のため、感染予防対策の通知等を毎月の運営会議・支援会議などで周知した。マスク・手指等消毒液・保護用予防衣・フェイスガード等を用意し、使用についてのマニュアルを作成し、ロールプレイを実施した。また、感染症予防マニュアルの見直しに取り組んだ。

法人指導の看護技術基礎研修、ハラスメント防止研修を受講し、その内容を復命すること、職場の保健室制度を周知することで、職場衛生に努めた。

## 7 安全・防災管理

### (1) リスクマネジメントについての検討

毎月の支援会議・運営会議内において、前1か月で報告のあったインシデント及びアクシデントについて内容を確認し、未然防止策・再発防止策等について検討した。

### (2) 自主点検・法定点検

各事業所にて担当者が使用物品(建物・支援備品・消防設備・車両等)の危険箇所自主点検を月1回行い、発見箇所の修繕及び修繕困難箇所を報告した。

消防設備の法定点検は、設備業者に委託し、年2回実施した。

(3) 月1回の避難訓練実施

各事業所で毎月1回、テーマに沿った避難訓練を実施した。実施報告の反省点を、次回の避難訓練に反映させた。

| 月  | 訓練内容  | 月   | 訓練内容  |
|----|-------|-----|-------|
| 4月 | 火災発生  | 10月 | 火災発生  |
| 5月 | 不審者侵入 | 11月 | 火災発生  |
| 6月 | 風水害被害 | 12月 | 地震発生  |
| 7月 | 地震発生  | 1月  | 不審者侵入 |
| 8月 | 火災発生  | 2月  | 地震発生  |
| 9月 | 風水害被害 | 3月  | 火災発生  |

## 8 ボランティア・実習等の受入れ

青森県立保健大学・青森大学・青森中央短期大学・NHK学園より実習生21人を受入れた。なお、受入れにあたっては、新型コロナウイルス侵入を防止するため、養成校に誓約書を求めるなど、細心の注意を払った。

## 9 地域との連携

青森大学・青森県立保健大学・うとう塾・あおもりシニアカレッジのほか、青森県や青森県社会福祉協議会から支援者向け研修会等の講師依頼があり、講演等の協力を行った。

# I 児童デイサービスあおば（事業所名；デイサービスセンターあおば）

## 1 概況

発達支援を必要とする児童（主に発達障害児）を対象に、アセスメントを行い、本人の特性と発達段階に沿った個別支援計画を作成した。日常生活において自ら気づき、行動できるための支援を行った。

令和2年度は当事業所での放課後等デイサービスの位置づけを定め、他事業所への移行を進めた結果、6月で3人が契約終了となった。

上記に合わせ、7月より児童発達支援の利用希望者8人と新規契約した。インクルーシブな社会実現のためにも、保育園等との併用児を受入れ、訪問や電話でのやり取りを通して、関わり方について提案するなどして連携体制を構築した。また、他事業所との協力体制のもと、保育園等への送迎を開始し、利用児童の確保に努めた。

青森市外から家族の送迎にて通所する児童へ配慮し、対象エリアを青森市から東津軽郡まで拡張した。

## 2 重点事項の実施状況

### (1) 契約者数24人以上の達成

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育園等訪問支援の延べ契約者数は、合計24人以上を達成した。収入額も10%以上の上昇となった。

### (2) 放課後等デイサービス利用児童のニーズ把握と体系の見直し

当事業所における放課後等デイサービスを、当事業所の児童発達支援利用終了児童のフォローアップと位置づけし、受入上限を小学生までとした。

### (3) アセスメント等情報の整理

支援に必要なアセスメント情報について、支援会議で検討し、A4用紙1枚へ整理し、運用を進めた。

### (4) 災害発生時における二次避難場所の設定と周知

二次避難場所を設定し、BCP（事業継続計画）へ明記した。また、この内容を職員へは周知したが、保護者への周知とまでは至らなかった。

### (5) 業務の標準化の工夫

職員の動きを再検討し、マニュアルを実際の状況に合わせて検討した。定時出勤・定時退勤について、前年度と比較すると改善は見られたが、特定職員に時間外労働が集中するなど、課題も残った。

## 3 利用児童の状況

| 内 容           | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合 計   |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 児童発達契約者数(人)   | 11  | 11  | 12  | 16  | 16  | 16  | 17  | 17  | 18  | 18  | 20  | 20  | 233   |
| 営業日数(日)       | 18  | 18  | 22  | 21  | 18  | 20  | 22  | 19  | 20  | 14  | 18  | 23  |       |
| 延べ利用人数(人)     | 134 | 143 | 175 | 180 | 163 | 171 | 184 | 165 | 168 | 130 | 159 | 204 | 1,976 |
| 放課後等デイ契約者数(人) | 6   | 6   | 6   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 233   |
| 営業日数(日)       | 18  | 18  | 22  | 21  | 18  | 20  | 22  | 19  | 20  | 14  | 18  | 23  |       |
| 延べ利用人数(人)     | 21  | 19  | 21  | 13  | 9   | 11  | 7   | 10  | 11  | 6   | 6   | 12  | 146   |
| 保育園訪問契約者数(人)  | 9   | 9   | 7   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 5   | 5   | 6   | 4   | 11    |
| 延べ利用人数(人)     | 0   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |     | 1   | 1   | 2   | 1   | 1   |       |
| 延べ利用人数合計(人)   | 155 | 163 | 197 | 194 | 173 | 183 | 191 | 176 | 180 | 138 | 166 | 217 | 2,133 |

## 4 事業の実施状況

### (1) 定員

10人（児童発達支援・放課後等デイサービス合わせて）

### (2) 概要

#### ① 児童発達支援事業

集団活動として4か月ごとにテーマを設け、毎月のイベントを実施した。また、季節の行事として、水遊び、遠足、豆まき、卒園式等を行った。それぞれの児童の理解度や発達段階に合わせ、コミュニケーション・適切な行動についての支援を行った。

#### ② 放課後等デイサービス事業

個々の児童に応じた個別支援計画を基に、個別セッションを行い、コミュニケーション・感情・IADL等の支援を提供した。

#### ③ 保育所等訪問支援事業

契約児の保育園へ訪問。担任と面談し課題の確認をした上で、行動観察、支援の提供を行った。終了後、担任への助言・指導を行った。

## 5 行事

| 行事名        | 実施日等  | 内容                               |
|------------|-------|----------------------------------|
| 支援会議       | 毎月    | 各種課題やリスク回避の検討。<br>ケースカンファレンスの開催。 |
| 避難訓練       | 毎月    | テーマに沿った訓練の実施。                    |
| 遠足         | 9月9日  | なかよし緑地（桜川九丁目）                    |
| 保護者見学会     | 11月   | 年長児4家族参加。（日程をずらして実施。）            |
| 卒園式        | 3月26日 | 1家族参加。（1家族は入院のため欠席。）             |
|            | 3月27日 | 2家族参加。                           |
| 各種レクリエーション |       |                                  |
| ゲーム        | 14回   | 季節のゲーム                           |
| 音楽         | 16回   | 季節の音楽                            |
| 製作         | 11回   | 季節の製作活動                          |
| 外遊び        | 8回    | 外出（水遊び含む）                        |
| おやつ作り      | 9回    |                                  |

## II 児童デイサービス事業すこやか（事業所名；デイサービスセンターすこやか）

### 1 概況

青森市やその他の地域に住む療育を必要とする小・中学生とその家族に対して、相談内容とその実態に合わせ、発達課題に沿った支援計画を作成し、事業所での活動提供と並行して、その家族や他機関への支援（家庭支援・移行支援）を行った。

長年賃借していた建物の老朽化が激しく、10月に青森市緑地区へ移転した。

令和2年度は、12人の児童保護者、関係機関から新規利用希望の相談を受け、見学対応を行い、令和3年度からの新規契約へつなげた。

### 2 重点事項の実施状況

(1) 利用児童に対する発達支援の充実

発達支援、自立支援のアセスメントツールを確認し、利用前日までに各職員が日々の目標設定を行うなど、活動の充実に努めた。

(2) 地域での活動の実施

夏季イベント週間に、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上で地域の散策を実施した。避難場所の確認なども併せて行った。

(3) 保護者面談の実施

誕生月とその6ヶ月後に保護者面談の設定を行った。コロナ禍や家庭の事情により対面式の面談が難しい保護者へは、送迎時や電話にて情報共有を行った。

(4) 事業所の移転先検討

移転先の視察等を行い、10月19日に青森市緑地区へ移転した。移転に伴う荷物の整理を定期的に行い、計画的に荷造りを行うなどして、事業所を休業させることなく引っ越しすることができた。

(5) 積極的な新規児童受入体制の構築

新規利用児童受入マニュアルを活用し、情報の共有を図った。利用前にアセスメント機会を設け、契約内容の説明をするなど、こまめな連絡を行うことで、受入時の混乱を最小限にする働きかけを行った。

### 3 利用児童の状況

契約者の内訳は、総契約者27人中、小学生が23人(85.2%)、中学生が4人(14.8%)、また、青森第二養護学校在籍児が22人(81.5%)、特別支援学級等在籍児が5人(18.5%)であった。

| 内 容        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 契約者数(人)    | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  | 27  |       |
| 営業日数(日)    | 21  | 18  | 22  | 21  | 20  | 20  | 22  | 19  | 20  | 19  | 18  | 23  | 243   |
| 授業終了後利用(人) | 71  | 175 | 251 | 161 | 136 | 225 | 228 | 180 | 191 | 133 | 198 | 206 | 2,155 |
| 学校休業日利用(人) | 141 | 19  | 0   | 69  | 62  | 0   | 17  | 25  | 31  | 75  | 7   | 38  | 484   |
| 延べ利用人数(人)  | 212 | 194 | 251 | 230 | 198 | 225 | 245 | 205 | 222 | 208 | 205 | 244 | 2,639 |

### 4 事業の実施状況

(1) 定 員

10人

(2) 概 要

小・中学生向け放課後等デイサービスとして、個別の配慮事項に合わせた活動を提供した。指標該当児が多く在籍することから、環境設定と介入方法について支援技術を高め、児童の健全な発達と自立を促した。

### 5 行 事

| 行事名  | 実施日等 | 内 容                              |
|------|------|----------------------------------|
| 支援会議 | 毎 月  | 各種課題やリスク回避の検討。<br>ケースカンファレンスの開催。 |
| 内部研修 | 毎 月  | 支援会議前にミニ研修を開催。                   |

|          |        |                    |
|----------|--------|--------------------|
| 避難訓練     | 毎月     | テーマに沿った訓練の実施。      |
| 地域ボランティア | 毎週     | 近隣のゴミ拾い・美化活動などを実施。 |
| イベント週間   | 夏季2週間  | 調理・ゲーム・製作・近隣散策など。  |
|          | 冬季1週間  | 調理・ゲーム・製作など。       |
| 内覧会      | 10月10日 | 事業所移転に伴う事業所紹介。     |

### Ⅲ チャレンジサポートすこやか（事業所名；チャレンジサポートすこやか）

#### 1 概況

青森市やその他の地域に住む療育を必要とする中学・高校生とその家族に対して、相談内容とその実態に合わせ、発達課題に沿った支援計画を作成し、事業所での活動提供と並行して、その家族や他機関への支援（家庭支援・移行支援）を行った。

利用児童の将来に必要なスキルの習得を目指し、ライフスキルトレーニングを導入するなど、地域生活への移行を意識したプログラムの作成を提供した。

#### 2 重点事項の実施状況

##### (1) 移行支援の実施

高校卒業に伴い、契約終了児7ケース中4ケースの移行支援会議に参加した。（コロナ禍などの理由で、全ケース開催とはならなかった。）

移行支援会議へは、当事業所でのアセスメント情報（特性・環境設定・自立度）や終了時評価を提示し、成人期事業所への円滑な移行に努めた。

##### (2) ライフスキル向上のためのカリキュラム作成

アセスメントツールを作成し、意思決定スキル及びコミュニケーションスキルなどのライフスキル向上のトレーニングを個別支援計画に組み込んだ。15ケースを対象に支援を実施した。

##### (3) 保護者面談の実施

誕生月とその6ヶ月後に保護者面談の設定を行った。コロナ禍や家庭の事情により対面式の面談が難しい保護者へは、送迎時や電話にて情報共有を行った。

本人のニーズに合った支援を実施するにあたり、2ケースで学校や事業所へ伺い相談に応じた。また、卒業した児童及び家庭とも継続的な関わりを持ち相談に応じた。

##### (4) 地域への外出などでの個別アセスメント等の実施

長期休み中に市営バスを利用した買い物学習、地域資源への外出機会を設定し、個別アセスメントを実施した。このアセスメント結果から新たなニーズの確認を行い、個別支援計画の内容へ反映させた。

##### (5) 危機管理意識の醸成

年間のヒヤリ・ハット報告は計13件であった。ヒヤリ・ハット報告の段階で対応策の議論となり、危機管理意識が高まった。結果、アクシデント件数が減少した。

#### 3 利用児童の状況

契約者の内訳は、総契約者25人中、小学生が1人（4%）、中学生が5人（20%）、高校生が19人（76%）、また、青森第二養護学校在籍児が13人（52%）、青森第一高等養護学校在籍児が11人（44%）、特別支援学級等在籍児が1人（4%）であった。



| 内 容        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 契約者数(人)    | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 25  |       |
| 営業日数(日)    | 21  | 18  | 22  | 21  | 20  | 20  | 22  | 19  | 20  | 19  | 18  | 23  | 243   |
| 授業終了後利用(人) | 95  | 52  | 243 | 145 | 72  | 193 | 186 | 190 | 173 | 143 | 188 | 160 | 1,840 |
| 学校休業日利用(人) | 111 | 138 | 0   | 70  | 106 | 0   | 9   | 11  | 40  | 52  | 11  | 87  | 635   |
| 延べ利用人数(人)  | 206 | 190 | 243 | 215 | 178 | 193 | 195 | 201 | 213 | 195 | 199 | 247 | 2,475 |

#### 4 事業の実施状況

##### (1) 定員

10人

##### (2) 概要

中学・高校生向け放課後等デイサービスとして、個別の配慮事項に合わせた活動を提供した。強度行動障害加算対象児も複数人在籍するため、細かな環境設定と介入方法について支援技術を高め、作業・生活スキルの定着を狙い、さらには将来の生活に必要な情報の整理と移行支援を行った。

#### 5 行事

| 行事名      | 実施日等  | 内 容                              |
|----------|-------|----------------------------------|
| 支援会議     | 毎月    | 各種課題やリスク回避の検討。<br>ケースカンファレンスの開催。 |
| 内部研修     | 毎月    | 支援会議前にミニ研修を開催。                   |
| 避難訓練     | 毎月    | テーマに沿った訓練の実施。                    |
| 地域ボランティア | 毎週    | 近隣のゴミ拾い・美化活動・雪かきなどを実施。           |
| イベント週間   | 夏季2週間 | 買い物外出・調理・製作など。                   |
|          | 冬季1週間 | 調理・ゲーム・製作など。                     |

### IV すこやか生活塾事業

#### 1 概況

受給者証を持たない発達障害児者への支援を目的としたが、近年は相談機関の充実や受給者証発行基準の緩和により当事業利用希望者はいなかった。事務局と協議し、令和3年度からは就労サポートセンターさつきに事業移行することとなった。

#### 2 利用状況

希望者がおらず利用実績はなかった。

### V 障害児等療育支援事業

#### 1 概況

青森市より当事業団が「障害児等療育支援事業」の委託を受け、ライフサポートあおばにて担当した。令和2年度はあおもり親子はぐくみプラザの開設に伴う青森市保育所等巡回事業の切り離し、コロナウイルス感染等の影響もあり、利用者数が減少した。

ただし、未診断児の対応について保育園等の関心は大きく、訪問先1件あたりの相談件数は増加した。

## 2 利用状況

| 事業内容             | 件数  |
|------------------|-----|
| 訪問による療育指導        | 12件 |
| 外来による専門的な療育相談・指導 | 14件 |
| 療育技術の指導          | 77件 |

## 第8 就労サポートセンターさつき

### 1 概況

当事業所の理念である「地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います」に基づき、就労支援に特化した事業所として、就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業及び就労定着支援事業を実施し、利用者が地域において自立した生活を送るための支援や一般就労に必要なスキル習得への支援を行い利用者の確保に努力した。

生産活動は、農産・請負班、清掃・請負班及びリサイクル班の3班体制で実施した。農産・請負班の水稲事業では、播種から刈取作業まで順調に進捗し、収穫量は約45トン（約760俵）となり、昨年の39トン（約660俵）を上回った。このうち、主力品種である「まっしぐら」は、10a当たり（1000㎡・1反）9俵を収穫した。リサイクル班は、農産・請負班と連携して薪の生産に取り組んだ。清掃・請負班においても、事業所清掃終了後はほたて養殖用資材加工のほか薪生産に取り組んだ。

就労支援事業収入全体では、農産・請負班及びリサイクル班の収入増加が大きいが、A型利用者数の増加に見合う分の収入増に及ばず、利用者の工賃は増額することができなかった。

地域貢献等については、コロナ感染防止策のため近隣住民との交流活動イベントは実施することができなかったが、平内町の地場産業に貢献する作業を生産活動に組み入れ地域と一体となり事業を展開した。

契約者数に対する利用率は、就労移行支援事業において93%に達したものの、その他の事業利用者の利用日が低迷し、全体で86%となった。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 利用者の獲得

##### ① 物販用ユニホームの着用

米販売用に女子が憧れるようなユニホームを作成したが、コロナ感染防止対策で物販が中止となったため、令和3年度に活用する。

##### ② 女子利用者獲得のための事業所視察

青森市内の同類同規模で女子利用者が多く在籍している事業所を視察し、女子利用者から直接希望をヒアリングする等した結果、女子利用者を獲得するための「空間」や「時間」として、月2回、「女子会」を実施した。令和3年度以降も継続実施し、将来的には生産活動につなげることを目標とする。

##### ③ Q&A形式パンフレットの作成

年度当初に作成し活用した。

#### (2) 支援スキルの向上

##### ① 法人内職員からの指導助言

専門的な支援を要する利用者をリストアップし、法人内職員より作業の様子を観察したうえで、適切な指導助言を仰ぎサービス提供に役立てた。

##### ② スキル向上のための事業所視察

工賃向上協議会のネットワークを活用し、精神障害の就労支援を得意とする事業所を視察し、精神障害を有する利用者の支援に役立てた。

#### (3) 生産活動用設備の増設

##### ① 米乾燥機の増設（建屋増築含む）

社会福祉法人清水基金からの助成により米乾燥機を増設（建屋増築含む）し、令和2年度産米の収穫時から活用した。乾燥機2台体制による収穫作業により、適期刈取を図ることができた。

② 米刈取用コンバインの購入

コンバインについては、日本郵便株式会社へ助成申請したが、採択されなかったため購入できなかった。しかし、丸紅基金に助成申請していた田植え機は採択されて購入できたため、令和3年度から田植え作業については作業期間の短縮を図ることができる見込みである。

③ 運搬車の購入

薪伐採現場が徐々に車両用道路から離れてきたが、運搬車の購入により斜面からトラックまで円滑に運搬できるようになった。

(4) 福祉サービス第三者評価結果に基づく改善

毎月開催した質の向上推進会議において、評価結果Bの25項目を毎月3項目ずつ検証し、令和2年度の自己評価ではほぼA評価となった。

### 3 職員の状況

| 職名  | 所長  | 副主任<br>支援員 | 支援員 | 事務員 | 調理員 | 労務員 | 運転員 | 合計 |
|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 職員数 | (1) | 2          | 3   | 3   | 2   | 2   | 5   | 17 |

※所長は事務局長が兼務しているため、合計には含んでいない。

### 4 利用者の状況

(人)

| 区分           | 就労移行<br>支援事業 | 就労継続支援<br>B型事業 | 就労継続支援<br>A型事業 | 合計             | 就労定着<br>支援事業 |
|--------------|--------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 定員           | 6            | 15             | 10             | 31             |              |
| 年度当初<br>利用者数 | 8<br>(男7・女1) | 14<br>(男10・女4) | 7<br>(男6・女1)   | 29<br>(男23・女6) | 3<br>(男3・女0) |
| 年度末<br>利用者数  | 8<br>(男8・女0) | 15<br>(男10・女5) | 8<br>(男7・女1)   | 31<br>(男25・女6) | 3<br>(男3・女0) |

※平均年齢（令和2年度末）＝全体：36歳（男性：35歳・女性：39歳）

### 5 事業の実施状況

(1) 事業概要

① 就労移行支援事業

一般就労を希望する方に、職場実習や一定期間の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行った。

| 期間     | 人数 | 実習場所         |
|--------|----|--------------|
| 11月2日  | 2  | (株) ヤマト運輸    |
| 11月17日 | 2  | 平内町立山村開発センター |
| 12月8日  | 3  | よごしやま温泉      |

② 就労継続支援A型事業

一般企業等での就労が困難な方に、雇用して就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

③ 就労継続支援B型事業

一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

(2) 生産活動の売上状況 (円)

| 班名     | 令和2年度(A)   | 令和元年度(B)   | 前年比(A-B)  |
|--------|------------|------------|-----------|
| 農産・請負班 | 10,892,928 | 9,175,154  | 1,717,774 |
| 清掃・請負班 | 753,600    | 753,600    | 0         |
| リサイクル班 | 6,485,681  | 6,236,032  | 249,649   |
| 計      | 18,132,209 | 16,164,786 | 1,967,423 |

(3) 工賃及び賃金の支給状況

| 区分            | 就労移行支援     |             | 就労継続支援B型   |             | 就労継続支援A型   |             |
|---------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|
|               | 延人数<br>(人) | 支給金額<br>(円) | 延人数<br>(人) | 支給金額<br>(円) | 延人数<br>(人) | 支給金額<br>(円) |
| 年間合計          | 86         | 1,446,540   | 150        | 2,733,464   | 95         | 7,935,581   |
| 1人当たり<br>月平均額 | 7.2        | 16,820      | 12.5       | 18,223      | 7.9        | 83,532      |

(4) 就職に向けた取組

2月22日、イオンリテール(株)イオン青森見学及び3月22日企業見学会(オンライン)に参加した。

(5) 余暇支援等(行事関係)

| 月   | レクリエーション(土日開所)  | 地域交流活動等                            |
|-----|---|------------------------------------|
| 4月  | ◎茂浦地区清掃(18日)  |                                    |
| 5月  | ◎春のバーベキュー(2日)<br>◎春の大掃除(9日)<br>◎夏泊半島ドライブツアー(16日)<br>◎各班作業(23日)<br>◎春のバーベキュー第2弾(30日) | ◎だいすき海岸清掃奉仕(1日)                    |
| 6月  |   |                                    |
| 7月  | ◎夏のバーベキュー(11日)<br>◎地引網体験(18日)   | ◎夏泊ほたて海道トンネルマラソン施設開放(19日)          |
| 8月  | ◎夏のバーベキュー第2弾(1日)<br>◎茂浦地区清掃(8日)<br>◎夏の大掃除(22日)<br>◎夏のバーベキュー第3弾(29日)                 | ◎だいすき海岸清掃奉仕(1日)<br>◎だいすき海岸夜間巡視(1日) |
| 9月  | ◎秋のバーベキュー(5日)<br>◎サッカー観戦(27日)   |                                    |
| 10月 | ◎室内サッカー体験(31日)  |                                    |
| 11月 | ◎秋のバーベキュー第2弾(7日)<br>◎各班作業(14日)  | ◎だいすき海岸清掃奉仕(1日)                    |
| 12月 | ◎お好み焼き調理体験(5日)<br>◎各班作業及び保護者懇談会(12日)<br>◎年末大掃除(19日)                                 |                                    |
| 1月  | ◎バスケットボール体験(9日)<br>◎映画鑑賞(17日)<br>◎各班作業(23日)<br>◎焼きそば調理体験(30日)                       | ◎茂浦青年団権現舞訪問(17日)                   |
| 2月  | ◎ソフトバレー体験(6日)   |                                    |

|    |            |  |
|----|------------|--|
|    | ◎映画鑑賞（13日） |  |
| 3月 |            |  |

(6) 送迎体制

| コース名      | 行き先                     |
|-----------|-------------------------|
| 平内町（野辺地）  | 小湊、清水川、野辺地              |
| 平内町（小豆沢）  | 小湊、小豆沢、障害者総合福祉センターなつどまり |
| 青森市内（東方面） | 小柳、戸山、諏訪沢               |
| 青森市内（山通り） | 観光通り、筒井、戸山              |
| 青森市内（浜通り） | 青森駅、浪打、八重田              |

(7) ボランティアの受入

令和2年度は実績なし

(8) 苦情解決事業等

毎月1回、第三者委員（4人）と面談する機会を設けたほか、随時相談を受ける体制を整備した。なお、実施については虐待防止対応規程と連動し対応した。

| 区 分  | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 計（件） |
|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 受付件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    |
| 解決件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    |
| 繰越件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    |

(9) 健康管理

次亜塩素酸ナトリウム水溶液による施設内消毒を実施したほか、うがい薬によるうがいと手洗い及びアルコール消毒を利用者に励行し、また、感染症の流行期間においては、利用者に対して感染症の予防方法など説明するなどして注意を促し、感染の防止に努めた。

新型コロナウイルス蔓延防止対策として、厚生労働省の通知に基づき、毎朝自宅において検温し、発熱していないことを確認してから送迎車両に乗ることを徹底した。事業所では外部の訪問者は玄関までとし、事業所内はすべて職員が中継して対応した。

(10) 安全管理・防災対策

年2回（8月4日、1月27日）避難及び消火訓練を実施したほか、不審者対応訓練を実施し、利用者の安全確保に努めた。また、2月25日、災害備蓄食を利用者本人が実際に準備して喫食する訓練を実施した。

(11) 所内会議等

| 会議名      | 回 数  |
|----------|------|
| 質の向上推進会議 | 毎月1回 |
| 給食会議     | 毎月1回 |
| 事業所会議    | 毎月1回 |

(12) 職員研修関係

事業所内での勉強会や法人内他部署での実地研修をはじめ、県内で実施する各種研修等に職員を派遣した。

また、支援技術や生産技術の向上を図るための専門的な研修へも積極的に派遣した。

(13) 広報関係

- ① パンフレット・事業概要作成配布
- ② 広報紙「でんでん」年3回発行配布

- ③ ホームページ開設
  - ④ 見学者（養護学校教諭・生徒）の積極的な受入れ
- (14) 放課後子ども教室（平内町からの受託事業）の運営状況
- ① 営業日 毎週月～金曜日
  - ② 営業時間 15:00～18:00（ただし、小学校長期休業期間は9:00～17:00）
  - ③ 利用契約者 36人
  - ④ 協働活動支援員 7人
  - ⑤ 協働活動推進員 1人

【令和2年度の実績】

| 区分                        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 稼働日数<br>(A)               | 21  | 18  | 21  | 21  | 16  | 18  | 19  | 17  | 20  | 17  | 15  | 23  | 226   |
|                           | 19  | 19  | 19  | 22  | 18  | 18  | 21  | 19  | 20  | 19  | 17  | 21  | 232   |
| 延利用者数<br>(B)              | 140 | 71  | 65  | 119 | 112 | 48  | 53  | 50  | 79  | 74  | 36  | 69  | 916   |
|                           | 177 | 132 | 122 | 227 | 197 | 82  | 101 | 86  | 130 | 107 | 53  | 158 | 1,572 |
| 1日当たりの<br>平均利用者数<br>(B÷A) | 6.7 | 3.9 | 3.1 | 5.7 | 7.0 | 2.7 | 2.8 | 2.9 | 4.0 | 4.4 | 2.4 | 3.0 | 4.1   |
|                           | 9   | 7   | 6   | 10  | 11  | 5   | 5   | 5   | 7   | 6   | 3   | 8   | 7     |

※上段：当年度、下段：前年度

## 第9 特別養護老人ホームすこやか苑

### 1 概況

すこやか苑の運営にあたっては、「基本理念」と「基本方針」の実現に向けて、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、利用者の能力に応じ自律した日常生活を営むことができるよう支援した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外部関係者や第三者を招いた行事や各活動が相次いで中止となった。地域防災協力隊との連携や苦情相談日の開催方法等については、対面や開催場所等の問題があり、思うように運営できず、令和3年度に向けての課題となった。その中で、地域や家庭との結びつきを継続するため、年度途中よりICT機器（タブレット端末）を導入し、リモート面会を実施した（127件）。また、外部研修会においては、WEBでの参加を積極的に推進し（13回）、職員の資質向上に努めた。

経営面では、各事業において、空床や利用率の低下が解決できず、目標の平均利用者数を達成することはできなかった。

令和3年3月10日時点で、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護では満床となり、短期入所生活介護では、令和3年3月の利用率が8.74人の結果となった。

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護では、空床期間の短縮化を図るための入所待機登録者の充実を継続し、短期入所生活介護では、新規利用者の獲得と継続性のある利用が課題となった。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) ユニットケアの理念に基づいた個別支援の充実

家族や地域ボランティアの協力による外出行事については、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、活動の充実を図ることが難しい状況にあった。しかし、施設内で代替行事や各活動等を企画・立案し、入居者の生活に変化と楽しみを持たせられるよう支援を行った。また、季節を感じられる行事についても、外部関係者を招くことはできなかったが、年間を通して開催することができた。

利用者一人ひとりに係る24Hシートの更新と活用をケアのベースとし、介護支援専門員が計画作成した施設サービス計画書により、利用者及び家族の意向の実現に向け、サービスの提供に努めた。

#### (2) 医療的ケアの充実

年間職員研修計画に基づき、定期的に医療的研修会の開催を行った。また、看取り介護実施委員会を立ち上げ、配置医師との連携強化や看取り実施に必要な知識の習得に努め、看取りを希望される本人・家族の意向を受け入れる体制が整備され、取り組むことができた。

認定特定行為業務従事者については、新たに2人の介護職員が喀痰吸引の資格を取得した。また、医療的ケア教員講習会についても、2人の看護師が取得し、医療的ケアの充実に努めた。

#### (3) 職員の人材確保と定着

令和2年度の離職者は、7人（正職員4人・準職員2人・非常勤職員1人）だった。正規・非正規問わず、離職の理由は異なり、勤続3年未満の離職者は2人であった。

年度内の新採用者は5人（正職員3人（うち介護職員1人・看護師2人）、非常勤職員2人（うち介護職員1人・専任当直員1人））だった。また、法人内職員3人の転入があった。新採用者及び転入職員には、仕事に早く慣れ、少しでも不安感を解消し、よ



り安心して業務に就けるよう、内部の新任職員研修プログラムを充実させ、本来の処遇業務においても、個々の能力に見合った期間でマンツーマン指導を行った。

#### (4) 利用者の確保と経営改善

居宅介護支援事業者及び保健医療関係機関等と連携強化（PR活動）を図り、入所待機登録者の充実と新規利用者の獲得を積極的に行ったが、各事業における、平均利用者数の結果は、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護で24.2人、短期入所生活介護では6.46人となり、目標を下回る結果となった。

地域密着型介護老人福祉施設では、空床期間の短縮化を図るための入所待機登録者数を増加させ、短期入所生活介護では新規利用者の獲得と継続性のある利用に重点を置き、経営の安定を図っていく必要がある。

### 3 職員の状況

| 職名 | 施設長<br>(管理者) | 医師          | 生活相談員 | 看護職員  | 介護職員         | 介護支援<br>専門員 |
|----|--------------|-------------|-------|-------|--------------|-------------|
| 人数 | 1            | 1 (非常勤)     | 1     | 4     | 22<br>【24】※1 | 1           |
| 職名 | 栄養士          | 機能訓練<br>指導員 | 事務員   | 専任当直員 |              | 計           |
| 人数 | 1            | 1           | 1     | 3     |              | 36          |

【備考】職員全般は、併設短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護の職員兼務。  
※1・・・管理者・介護支援専門員は介護職員兼務のため【24】に含む。

### 4 入退所状況

| 地域密着型入所       |     | 短期入所・介護予防短期入所 |        |
|---------------|-----|---------------|--------|
| 定員            | 29人 | 定員            | 10人    |
| 令和2年度内入所者数    | 19人 | 令和2年度内延利用者数   | 117人   |
| 令和2年度内退所者数    | 12人 | 令和2年度内延利用件数   | 2,345件 |
| 令和2年度末現在の入所者数 | 29人 |               |        |

### 5 事業概要

#### I 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ユニット型）

##### (1) 概況

ユニットケアの理念に基づいた個別支援に重点を置き、入所前と入所後の生活が連続したものになるよう、利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重しながら、各ユニットにおいて相互に社会的関係を築き自律的な日常生活を営むことができるよう支援した。

令和2年度の入退所状況については、入所が19人、退所が12人という状況だった。平均介護度は3.86、平均年齢は82.5歳となっている。（令2年度末時点）

令和3年3月10日時点で満床となったが、空床期間の短縮化や介護度の割合については、経営面に直結する問題であるため、満床の維持と介護度の重い方を積極的に受け入れることで経営の安定を図っていく。

また、看取り介護の実施にあたっては、配置医師との連携強化や看取り介護実施委員会内で死生観について理解を深め、多職種が連携し、課題の改善について取り組んでい

る。今後も看取りを希望された本人・家族の意向に寄り添いながら進めることで、看取りを希望される新規利用者の獲得に繋げていく。

【入退所内訳と利用者数】

※月末時点

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計    |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 入 所  | 0  | 1  | 0  | 2  | 3  | 1  | 3   | 0   | 1   | 2  | 4  | 2  | 19   |
| 退 所  | 2  | 1  | 0  | 0  | 0  | 2  | 1   | 2   | 3   | 1  | 0  | 0  | 12   |
| 利用者数 | 22 | 20 | 20 | 22 | 25 | 25 | 27  | 25  | 24  | 24 | 27 | 29 | 24.1 |

(2) 定 員

29人 (10人×2ユニット、9人×1ユニット)

Ⅱ 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

(1) 概 況

居宅の要介護者等に、利用者の自律生活を保障する個室と、少人数の家庭的な雰囲気の中で生活できるユニットケアを提供するとともに、その家族の身体的、精神的負担を軽減できるようサービスを提供した。

短期入所生活介護においては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、2週間の体調確認や受入に一部制限を設けたこともあり、利用率が伸び悩んだ。

令和2年度の新規利用者は10人だった。平均介護度は3.0、平均年齢は85.2歳となっている。(令和2年度末時点)

短期入所生活介護においては、利用率の向上が課題となっており、新規利用者の獲得と継続性のある利用に重点を置く必要がある。

【入退所内訳と利用率】

※月末時点

|     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入 所 | 0   | 0   | 0   | 14  | 17  | 23  | 17  | 20  | 12  | 1   | 0   | 2   | 106 |
| 退 所 | 0   | 0   | 2   | 13  | 17  | 22  | 19  | 18  | 11  | 1   | 0   | 0   | 103 |
| 利用率 | 6.4 | 6.0 | 5.7 | 5.2 | 5.1 | 6.4 | 6.1 | 5.5 | 7.7 | 7.2 | 7.0 | 8.7 | 6.4 |

(2) 定 員

10人 (10人×1ユニット)

※併設・空床利用型であるため、上記ほか地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護における空きベッド利用可。

6 事業の実施状況

(1) 年間行事

| 名 称    | 実施時期等   | 参加者数 | 備 考   |
|--------|---------|------|---|
| 花見ドライブ | 中止      | 0人   | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。                     |
| 日帰り遠足① | 中止      | 0人   | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。代替活動として音楽体操クラブを実施した。 |
| 買い物ツアー | 中止      | 0人   | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。代替活動として音楽体操クラブを実施した。 |
| ドライブ外出 | 6/22～24 | 23人  | 戸山方面、昭和大仏方面へのドライブ外出を実施した。                   |

|   |        |     |   |
|---|--------|-----|---|
| アニマルセラピー  | 中止     | 0人  | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。                                       |
| 夏祭り・すこやかカフェ   | 8/8    | 22人 | 新型コロナウイルスの影響により中止となった行事の代替案として、新たに「すこやかカフェ」を企画した。夏祭りと一緒に運営した。 |
| ねぶた観覧   | 中止     | 0人  | 新型コロナウイルスの影響からねぶた祭が中止となった。                                    |
| 夏祭り   | 8/18   | 29人 | 夏祭りで、浜館ねぶた同好会がねぶた運行し観覧した。                                     |
| 敬老会   | 9/21   | 29人 | 新型コロナウイルス感染予防対策のため、各ユニット単位で実施し施設より入居者に記念品を贈呈した。               |
| 日帰り遠足②  | 中止     | 0人  | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。代替活動として音楽体操クラブを実施した。                   |
| 明の星幼稚園児訪問<br>アニマルセラピー   | 中止     | 0人  | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。                                       |
| 紅葉ドライブ  | 11/4～6 | 29人 | 戸山、月見野、浜館公園、幸畑方面へ紅葉ドライブを実施した。                                 |
| 新年会   | 1/20   | 30人 | 職員による獅子舞、ひょっこり踊りを披露、おみくじを引き一年の始まりをお祝いした。                      |
| 家族連絡会   | 中止     | 0人  | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。                                       |
| お茶会   | 3/8    | 25人 | 事務局山谷専務訪問し入居者に抹茶や和菓子を提供した。                                    |
| <b>【ユニット内行事】</b><br>母の日会、七夕会、おやつ会、スイカ割り、ハローウィンパーティー、クリスマス会、節分会、ひな祭り等を各ユニットで開催。ほか、年2回大掃除実施 |        |     |   |

## (2) クラブ活動

| 名称      | 実施時期等 | 参加者数       | 備考   |
|---------|-------|------------|--|
| 書道クラブ   | 月1回   | 各回<br>約11人 | 4/22、5/20、6/17、7/22、8/19、9/23、10/21、11/18、12/23、1/27、2/17、3/17 |
| 創作クラブ   | 年2回   | 約20人       | 7/19、1/13  |
| 音楽体操クラブ | 年4回   | 各回<br>約15人 | ①5/25、26 ②6/23、24<br>③7/7、8 ④11/25                             |

## (3) 健康管理

| 内容       | 実施時期等       | 対象者  | 備考                     |
|----------|-------------|------|------------------------|
| バイタルチェック | 入浴日<br>ほか随時 | 全利用者 | 体温・血圧・SPO2・一般状態の観察等    |
| 体重測定     | 毎月          | 全利用者 |                        |
| 配置医診察    | 毎週木曜日       | 全利用者 | 利用者の診察・薬の処方・検査や通院等の指示等 |

|            |               |               |   |
|------------|---------------|---------------|---|
| 通院・往診      | 随時            | 通院が必要な利用者     | (通院)<br>泌尿器科 119 人、内科 3 人、整形外科 5 人、<br>救命救急 6 人、精神科 9 人、皮膚科 2 人、<br>神経内科 1 人、外科 6 人、認知症外来 2 人、<br>耳鼻科 3 人、循環器内科 1 人、歯科 2 人<br>(往診)<br>歯科 35 人<br>※延人数、短期入所利用者除く |
| 口腔機能維持管理指導 | 月 2 回         | 看護・介護職員       | 歯科医・歯科衛生士による助言指導  |
| 機能訓練       | 週 2 回程度       | 全利用者          | 機能訓練計画書による機能訓練<br>※短期入所利用者除く  |
| 訪問理美容      | 第 1・第 3 水曜日ほか | 116 人<br>※延人数 | 4 月 12 人、5 月 10 人、6 月 11 人、<br>7 月 10 人、8 月 10 人、9 月 12 人、<br>10 月 10 人、11 月 9 人、12 月 0 人、<br>1 月 14 人、2 月 12 人、3 月 6 人   |

#### (4) ボランティアの受入れ

| 内 容     | 実施時期等         | 参加者数 | 備 考                      |
|---------|---------------|------|--------------------------|
| 書道クラブ補助 | 月 1 回         | 1 人  | 地域住民<br>青森県立保健大学講師       |
| マスク準備作業 | 6/1<br>6/8～10 | 1 人  | 地域住民(元利用者家族)<br>※活動 1 時間 |

※新型コロナウイルス蔓延防止対策として、利用者と直接接触する活動は中止とした。

#### (5) 安全・防火管理

防災訓練(避難訓練)のほか、消防機器の法定点検・自主点検を実施した。

| 内 容          | 実施時期等 | 参加者数 | 備 考              |
|--------------|-------|------|------------------|
| 防災訓練(夜間火災想定) | 5/27  | 54 人 | 職員 29 人、利用者 25 人 |
| 防災訓練(水害想定)   | 7/29  | 28 人 | 職員 20 人、利用者 8 人  |
| 防災訓練(夜間火災想定) | 10/28 | 54 人 | 職員 29 人、利用者 25 人 |

#### (6) 職員研修

外部研修や法人内研修へ職員を派遣したほか、苑内で次の研修会を実施した。

| 名 称                  | 実施時期等   | 参加者数   | 備 考   |
|----------------------|---|--------|---|
| 新任職員研修会              | 5/13、5/27、<br>7/1～3、8/3～5、<br>8/17～19、8/21、<br>11/16～18、<br>11/24 | 計 32 人 | 高齢者施設としての基本的知識として、施設理念・事業計画、ユニットケア・介護保険制度、高齢者虐待防止・身体拘束廃止・リスクマネジメント、移乗技術、高齢者の疾病と緊急対応について |
| 救命救急研修               | 5/13、11/25  | 計 24 人 | 急変・緊急時の対応方法、観察項目、報告手順など   |
| 感染症対策研修              | 5/27、10/28  | 計 34 人 | 食中毒や感染症予防策、嘔吐時処理手順  |
| 高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修 | 6/10、1/27   | 計 22 人 | 虐待自己チェックリストを活用したセルフチェックなど   |
| ノーリフティングケア研修         | 6/24、8/12   | 計 27 人 | ノーリフティングケアについて<br>理念や現状、腰痛予防対策について  |

|                |            |        |   |
|----------------|------------|--------|---|
| 看取りケア研修        | 7/15、3/17  | 計 28 人 | 看取りケアの理念や手順、他施設の取組など                        |
| リスクマネジメント研修    | 7/29、12/23 | 計 17 人 | ひやりハットの重要性や再発防止の取組について                      |
| 口腔ケアに関する研修     | 8/26、2/24  | 計 23 人 | 歯科衛生士から、高齢者の口腔ケアについて指導                      |
| 高齢者のスキンケア研修    | 9/30       | 8 人    | 認定看護師から、高齢者のスキンケアについての指導                    |
| 個人情報保護ガイドライン研修 | 2/24       | 11 人   | 急変・緊急時の対応の理解と記録のテキストと DVD を活用した個人情報保護対策について |

(7) 会議・各種委員会等

| 名 称             | 実施時期等                | 参加者数         | 備 考   |
|-----------------|----------------------|--------------|---|
| 全体会議            | 年 11 回               | 各回<br>約 15 人 | 施設長からの指示事項ほか、協議伝達など   |
| ユニットリーダー会議      | 年 12 回               | 各回 5 人       | ユニットリーダーを中心にユニット運営について協議  |
| ユニット会議          | 毎月 1 回<br>※ユニットごとに開催 | 各回 5 人       | 各ユニット内の運営やケアについて協議  |
| 給食会議            | 年 12 回               | 各回 7 人       | 嗜好に合わせた献立、味付け、調理方法（食形態）の検討  |
| サービス担当者会議       | 入所 88 回<br>短期入所 21 回 | 各回<br>約 7 人  | 施設サービス計画や短期入所生活介護計画書作成など介護方針の協議決定                                 |
| 運営推進会議          | 年 5 回                | 各回 7 人       | 施設運営の現状報告、課題等へ対する助言等  |
| 苦情解決協議会         | 年 1 回                | 7 人          | 各種苦情解決へ向けての協議<br>新型コロナウイルス感染症対策のため（第 1 四半期、第 2 四半期、第 3 四半期は中止とした） |
| 苦情解決第三者委員相談日    | 年 0 回                | 0 人          | 第三者委員が輪番制で訪問し、苦情要望の聞き取り<br>新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした                 |
| 入所判定会議          | 年 21 回               | 各回 6 人       | 入居者の決定に当たり、決定過程の公平性・透明性を確保  |
| リスクマネジメント委員会    | 年 12 回               | 各回<br>約 10 人 | 月ごとの事故分析・対策検討、虐待防止、身体拘束廃止へ向けた検討                                   |
| 虐待防止・身体拘束廃止委員会  | 年 4 回                | 各回<br>約 6 人  | 虐待が疑われる案件や身体拘束が疑われる案件等について協議                                      |
| 褥瘡対策委員会         | 年 12 回               | 各回<br>約 5 人  | 褥瘡予防改善に向けた検討  |
| 排泄ケア委員会         | 年 6 回                | 各回<br>約 5 人  | 排泄ケアについての問題点を検討   |
| 感染症対策委員会        | 年 4 回                | 各回<br>約 10 人 | 食中毒・インフルエンザ・新型コロナウイルスなど感染症対策について協議                                |
| ユニットケア推進委員会     | 年 7 回                | 各回<br>約 5 人  | 24 時間シートの活用などユニットケア推進を協議  |
| ノーリフティングケア推進委員会 | 年 12 回               | 各回<br>約 5 人  | 介護機器やノーリフティングケアの導入に向け検討及び腰痛予防対策へ                                  |

|            |        |             |                        |
|------------|--------|-------------|------------------------|
|            |        |             | の企画・実施                 |
| 看取り介護実施委員会 | 年 12 回 | 各回<br>約 6 人 | 看取り介護の開始にあたり手順等を協議、推進  |
| 研修・研究発表委員会 | 年 7 回  | 各回<br>約 5 人 | 内部研修・研究発表に関する企画・実施     |
| 広報委員会      | 年 3 回  | 各回<br>約 5 人 | 広報発行に係る編集など            |
| 防災委員会      | 年 3 回  | 各回<br>5 人   | 防災マニュアルの整備や防災訓練の企画運営など |

※令和 2 年度 10 月より、業務の効率化を図ることを目的に「排泄ケア委員会」と「褥瘡対策委員会」を統合した。「ユニットケア推進委員会」については、「ユニットリーダー会議」で内容を検討することとした。

#### (8) 実習の受け入れ

| 内 容                    | 実施時期等                  | 参加者数   | 備 考                |
|------------------------|------------------------|--------|--------------------|
| 令和 2 年度東奥学園高等学校福祉科介護実習 | 10/8～10/16<br>3/8～3/26 | 各回 3 人 | 東奥学園高等学校 2 年生の介護実習 |

## 第10 就労サポートセンターはくちょう

### 1 概況

令和2年度に受審した第三者評価の結果を踏まえ、事業所理念の見直し及び基本計画の策定を行い、新たな事業所理念である「地域の中で、自分らしく、生き生きとした生活を続けられるサポートをします」に基づき、就労継続支援B型事業と共同生活援助事業を一体的に運営し、利用者の地域生活における実情に合わせた必要な支援体制の充実に努めた。

就労継続支援B型事業については、個々の特性に応じた日課の導入や面談の実施、医療機関との連携を通して、障害者の権利擁護の順守及び意思決定支援を念頭に個々の特性に応じた支援体制の構築を行った。新型コロナウイルス感染症感染拡大により遠方への通所を控え、自宅に近い事業所利用を検討するケースが増えたこともあり、年度内に5人と契約した。

生産活動においては、平内パーキング清掃作業等の外部作業の拡充を図ったほか、ねぶた祭りが中止になったことにより当初予定していた作業が無くなったことから新規の作業確保を行い、県内の水産業や観光業と連携したほやランプの製造を実施した。請負班における受注加工数が当初見込んでいた数量を下回ったことが影響し、就労支援事業収入全体が減少したが、材料費等経費節減や新規作業収入により、前年度と同程度の工賃支給を維持することが出来た。

共同生活援助事業については、事業所名を「グループホームスワンハイム」に改め、当所属に事業所機能を移管し運営を行った。基本計画に掲げていた配食体制の整備については保健所の技術的助言を受け、断念することとなった。

利用者獲得については、年度内に2人が入居となった。また、利用者負担金等軽減制度の利用や、新年度に向けて体験利用、連絡調整を行った結果、特別支援学校卒業生が1人入居することとなった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた地域交流や外出を伴う行事については直接の交流を伴う行事は中止とし、外出行事についても事業所内行事に変更して実施した。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 利用者の特性に応じた支援体制の構築

更衣時間や作業準備等に時間を要する方に対し、早めの活動の切り替えや日課を提案し個々に合ったスタイルでの活動の提供を行った。また、作業種目のほかに作業工程を細分化し、一人ひとりの特性に応じた面談を随時行うことで利用者の求める作業の提供を行った。

#### (2) 新規利用者の獲得

就労継続支援B型事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大により遠方への通所を控え、自宅に近い事業所利用を検討するケースが増えたこともあり、在宅利用者3人が通所開始となった。なつどまりさつき寮において通所受入停止となった期間には2人の利用者を受け入れ、年度内に5人と契約した。施設入所等で今後の利用見込のない契約者の整理を実施し、年度末契約者数24人となった。

共同生活援助事業においては、青森市及び平内町より2人が入居となり、入居者数17人となった。また、障害年金未受給者を対象とした利用者負担金等軽減制度について、共同生活援助事業での家賃補助を制度化し、特別支援学校に向けて体験利用や連絡調整を行った結果、卒業生が1人入居することとなった。

### (3) 利用率の向上

年間平均利用率は、前年度を大きく上回る 96.4%（前年度比 12.4%増）、開所日の参加率も 71.8%（前年度比 4.8%増）となり、利用率の向上に努めた。

併せて、通所時のバイタルチェックの継続と、昼の休憩時間における余暇活動（卓球、キャッチボール、将棋、創作活動）を促し、利用者の健康増進及び衛生観念の醸成を図った。

### (4) 利用者工賃の向上

当初は、青森ねぶたまつりで使用される大型ねぶたの廃材を活用した工芸品を手掛ける予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けねぶた祭りが中止となったほか、カシスの収量が伸びなかった。その代わりに県内の水産業や観光業と連携してほやランプの製造を手掛けるなど新規請負を 3 件受け、月額を支給工賃（時間給換算）は前年度比 77 円増の 15,559 円を支給することができた。

### (5) 食生活の充実とサービスの質の均一化

利用者一人ひとりの健康面に配慮し、家庭的であたたかみのある食事提供に努めた。各グループホームの調理業務（仕入れ）の効率化を図るため、一部食品を一括購入する体制を整備し負担軽減に努めるとともに、サービスの質の均一化を図るため、各ホームでの食事の写真や情報を会議等で共有し、世話人に対する意識付けを行った。

### (6) 職場環境の改善

業務の見直しを積極的に検証し、業務の効率化を図った。これにより、時間外勤務の減少及び年次有給休暇の取得日数が増加し、ワークライフバランスを意識した職場環境の改善につながった。

### (7) 社会参加の促進

当初予定していた事業所主催のふれあいスポーツ教室や東和保育園との交流行事については、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として中止とした。しかし、関係維持の観点から、グラウンドの開放を含め、積極的に敷地内の環境整備等を進めた。

また、平内町白鳥を守る会主催の浅所海岸清掃奉仕活動（10 月 10 日）や、平内町から業務委託を受けている浅所海岸の除雪作業に利用者及び職員が参加し、会員との交流を図った。

## 3 職員の状況

| 職名  | センター長 | 副主任<br>支援員 | 支援員 | 事務員 | 調理員 | 世話人 | 合計 |
|-----|-------|------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 職員数 | 1     | 1          | 7   | 1   | 2   | 6   | 18 |

## 4 利用者の状況

| 区分               | 就労継続支援B型事業         | 共同生活援助事業           | 備考                    |
|------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|
| 定員               | 20人                | 18人                |                       |
| 年度当初<br>利用者数     | 22人<br>(男16、女6)    | 16人<br>(男10、女6)    |                       |
| 年度末<br>利用者数      | 24人<br>(男17、女7)    | 17人<br>(男11、女6)    | 就労B 契約5 解除3<br>GH 契約2 |
| 平均年齢<br>(令和2年度末) | 39歳<br>(男42歳、女31歳) | 48歳<br>(男48歳、女47歳) |                       |



## 5 事業の実施状況

### (1) 実施事業

#### ① 就労継続支援B型事業

一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

#### ② 共同生活援助事業

地域で生活を営む利用者に、共同生活を営むための相談、日常生活上の援助、他の共同生活援助への移行に向けた支援を行った。

### (2) 生産活動の売上状況

(単位：円)

| 班名  | 金額        | 主な作業内容                   |
|-----|-----------|--------------------------|
| 清掃班 | 2,847,543 | 近隣福祉施設、公衆トイレ及び当事業所の一般清掃  |
| 請負班 | 3,253,350 | 漁業資材加工、連携商品製造、ギフト品加工、除雪等 |
| 計   | 6,100,893 |                          |

### (3) 工賃の支給状況

(単位：円)

| 区分            | 支給計画   | 支給実績   | 備考   |
|---------------|--------|--------|--|
| 1人当たり<br>平均月額 | 15,500 | 15,559 | 平均月額は、時間給をベースに算出(総支給額÷総作業時間数×1日の活動時間×日数)<br>※工賃には一時金(年2回)を含む |

### (4) 利用者の特性に応じた支援等

発達障害者支援センターが作成したDVDを用いて所内研修を実施し、精神障害や発達障害等における障害特性の基礎理解を深めた。

事業所が設定する日課に馴染めない利用者や、生活面の支援が必要な利用者に対する支援体制を構築し、また、作業工程の細分化や新規受注等、各利用者が求める作業の提供に努力した。

### (5) 余暇支援等

#### ① 土日開所日(30回)

| 月   | 内容(就労継続支援B型)  | 内容(共同生活援助)       |
|-----|---|------------------|
| 4月  | 所内行事 桜まつり(18日)  |                  |
| 5月  | 所内行事 手洗い講座、おいしいランチ(4日)<br>所内行事 春のバーベキューまつり(30日)   | 春のバーベキューまつり(30日) |
| 6月  |   |                  |
| 7月  | 所内行事 ボッチャ、カラーリング体験(4日)<br>所内行事 灯籠づくり(18日)   |                  |
| 8月  | 所内行事 かき氷コンテスト(1日)<br>夏泊半島ドライブ(8日)<br>所内行事 盆踊り大会(10日)<br>所内行事 屋台体験(22日)<br>所内行事 夏のバーベキューまつり(29日) |                  |
| 9月  | 萱野高原ドライブ(12日)<br>所内行事 調理体験(アメリカンドッグ)(26日)   |                  |
| 10月 | 浅所海岸清掃奉仕活動&バーベキューまつり(10日)<br>※平内町白鳥を守る会主催   | 利用者食事会(6日)       |
| 11月 | 所内行事 寿司ランチ(7日)<br>所内行事 勤労感謝のカードづくり(14日)<br>所内行事 ファーストフード体験(28日)                                 |                  |

|     |   |                |
|-----|---|----------------|
| 12月 | 所内行事 クリスマス会 (19日)<br>所内行事 利用者忘年会(26日)     | 生協訪問販売 (1、8日)  |
| 1月  | 所内行事 利用者新年会(16日)<br>所内行事 福笑い(23日)         | 利用者新年会 (ホームごと) |
| 2月  | 所内行事 YouTube 体験(11日)<br>所内行事 焼肉キッチン (23日) |                |
| 3月  |   |                |

② 事業所内での余暇支援

利用者からの要望に応え卓球用具、野球用具を充実させたほか、ボランティアを活用した将棋対局など余暇活動の充実を図った。

③ その他

共同生活援助事業所スワンハイムが主催する利用者1泊旅行については、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み中止とし、ホーム内における食事会を開催した。

(6) 食事(昼食)提供

希望者に対して、当事業所職員が調理する食事を提供した。なお、摂取カロリー制限食を希望する方には定められたカロリーで食事を提供した。

また、毎月開催する給食会議において、利用者から要望を伺い給食メニューを作成し、なつどまり管理栄養士の監修を受け食事を提供した。

(7) 送迎体制

送迎車両3台体制で利用者の送迎を行った。

| コース名   | 行き先         |
|--------|-------------|
| Aコース   | 東和、小湊       |
| Bコース   | 内童子、間木      |
| C、Dコース | 清水川、狩場沢、東北町 |

(8) 実習生等の受入れ

| 区分 | 受入期間                        | 人数 | 学校等        |
|----|-----------------------------|----|------------|
| 実習 | 6月17日～6月28日(10日間)<br>GH宿泊体験 | 1  | 青森県立七戸養護学校 |

(9) 苦情解決事業及び虐待防止対応

毎月1回、第三者委員と面談する機会を設けたほか、随時相談を受けることができる体制であることを説明して利用を促した。なお、実施にあたっては、虐待防止対応規程と連動し対応した。

| 区分   | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|---|
| 受付件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0 |
| 解決件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0 |
| 繰越件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0 |

(10) 健康管理

次亜塩素酸ナトリウム水溶液及び消毒用アルコールによる施設内消毒を実施した。手洗いについては定期的に手洗い動画を活用し意識付けするとともに、アルコール消毒液による手指消毒の励行を行った。

また、感染症予防として事業所内で使用する布マスクを配布し、マスク着用の習慣化に努めた。

(11) 安全管理・防災対策

年2回避難及び消火訓練を実施したほか、風水害や湾内の津波を想定した避難訓練及び地域の避難場所の確認を実施し、非常時の対応に備えた。

歩行が不安定な利用者の増加に伴い、玄関の階段へ手摺を設置するなど事業所内外

での事故防止に努めた。

また、暴風警報時及び大雪警報時には繰上送迎を実施し、安全に帰宅できる対策を実施した。

| 避難訓練<br>実施状況 | 就労サポートセンター<br>はくちょう | グループホームスワンハイム |        |        |
|--------------|---------------------|---------------|--------|--------|
|              |                     | 第1            | 第2     | 第3     |
| 第1回          | 9月18日               | 11月2日         | 10月30日 | 10月26日 |
| 第2回          | 2月17日               | 1月22日         |        |        |

(12) 地域貢献・地域交流

- ① 平内町白鳥を守る会が主催する浅所海岸清掃奉仕活動に利用者及び職員が参加した。なお、例年2回実施されるが、4月については非常事態宣言下であり参加を見送った。冬期間においては、浅所海岸の除雪作業も行った。
- ② ハクチョウのまち再生事業（平内町教育委員会）実行委員会にオブザーバーとして参画した。
- ③ 東和保育園との交流については感染リスク回避のため直接の交流を避け、グラウンドの開放や事業所製品の贈呈を通して関係の維持に努めた。
- ④ 地域貢献の一環として、「利用者負担金等軽減制度」を設け、地域生活を希望する障害者の社会参加を促した。（令和2年度利用者2人）

(13) ボランティアの受入れ

| 受入人数 | 延べ日数 | 備考                   |
|------|------|----------------------|
| 2人   | 86日  | 作業支援補助、余暇活動の支援（将棋相手） |

(14) 所内会議

| 会議名        | 回数   | 備考                          |
|------------|------|-----------------------------|
| 就労・生産支援会議  | 毎月1回 | 利用者支援及び生産活動について協議           |
| GH（世話人）会議  | 毎月1回 | 共同生活を営むための相談、日常生活上の援助について協議 |
| 給食会議（利用者）  | 毎月1回 | 嗜好に合わせた献立、食生活における注意点の協議伝達   |
| 事業所会議      | 毎月1回 | 施設長からの指示事項ほか、協議伝達など         |
| モニタリング調整会議 | 年2回  | 利用者の生活支援、作業支援について、個別支援計画を策定 |

(15) 職員研修関係

事業所運営に必要な外部研修に職員を参加させるとともに、職員の支援スキル向上、業務効率向上を目的にオンライン研修の受講やDVDを活用した所内研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

(16) 広報関係

事業所リーフレット及び広報紙（年3回発行）を作成し、関係機関及び団体等に配布した。また、ホームページ等により事業所のPRに努めた。